

中学校等避難所空調設備設置工事（大沼中学校）

図面番号	図面名称	縮尺(A1)	図面番号	図面名称	縮尺(A1)
共通-01	特記仕様書 1	-	E-01	廃番	
共通-02	特記仕様書 2	-	E-02	廃番	
共通-03	特記仕様書 3	-	E-03	外構図（改修）	1/500
共通-04	特記仕様書 4	-	E-04	受変電設備 単線結線図・機器外形図（改修）	-
共通-05	特記仕様書 5	-	E-05	受変電設備 単線結線図・機器外形図（撤去）	-
共通-06	特記仕様書 6 電気設備工事	-	E-06	幹線・動力設備 1階平面図（改修）	1/100
共通-07	特記仕様書 7 機械設備工事	-	E-07	動力分岐盤負荷表	-
共通-08	特記仕様書 8 機械設備工事	-	E-08	照明器具姿図（改修）	-
共通-09	特記仕様書 9 機械設備工事	-	E-09	電灯設備 1階平面図（改修）	1/100
			E-10	電灯設備 1階平面図（撤去）	1/100
A-01	案内図・配置図	1/500			
A-02	仕上表（改修前・改修後）	---	M-01	廃番	
A-03	体育館1階平面図（改修前・改修後）	1/100	M-02	廃番	
A-04	立面図（改修前・改修後）	1/100	M-03	廃番	
A-05	断面詳細図（改修前・改修後）	1/30	M-04	空調設備 機器表	-
A-06	アリーナ展開図（改修前・改修後）	1/100	M-05	空調設備 1階配管平面図	1/100
A-07	建具キープラン、建具姿図（改修前、改修後）	1/100	M-06	空調設備 配管立面図	1/100
A-08	空調機屋内機、屋外機架台・基礎詳細図	1/20			
A-09	空調機防球ガード、架台詳細図	1/20			
A-10	外構工事平面図（改修前・改修後）	1/300			
A-11	外構施設詳細図（改修前・改修後）	1/30、1/50			
A-12	建築仮設計画図	1/100			
A-13	外構仮設平面図	1/400、1/40			
A-14	体育館スロープ新設計画平面図、立面図	1/40			
A-15	体育館スロープ新設計画断面図、詳細図	1/30			
S-01	構造設計特記仕様	-			
S-02	鉄骨構造標準図（1）	-			
S-03	1階平面図（改修後）	1/100			
S-04	鉄骨架台詳細図（改修後）	1/40			

工 事 名 中学校等避難所空調設備設置工事(大沼中学校)

特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所 春日部市大沼六丁目75番地
2. 敷地面積 31.704m2
3. 工事種目 (建物概要) 体育館 S造1F (1.087㎡ 施設台帳上)

4. 工事内容
・体育館アリーナに空調機を設置する。 ・体育館アリーナに換気扇を設置する。
エリヤ空調機(ベア) 6台 有圧戻 2台
・空調機設置に伴う建築工事、電気設備工事。
・換気設備設置に伴う建築工事、電気設備工事。
・既存キュービクル式受変電設備を撤去し、新設する。(コンクリート基礎再利用)
・アリーナの網製建具に受電防止フィルム(遮熱、UVカット性能付き)を貼る。

5. 工 期 契約工期 契約書による
主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間 担当者と協議による
現場代理人の現場への常駐を要しない期間 担当者と協議による
現場施工期間 担当者と協議による

6. 工事範囲
※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
また、本工事の目的を達成するために通常必要とされる業務、工事は本契約に含まれる。

II 建築改修工事仕様
(1) 質問回答書、本特記仕様書(改修)及び図面に記載されていない事項は、以下による。
「春日部市建築工事特別共通仕様書」
国土交通省大臣官庁告示第94号「建築改修工事」
「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)

Table with columns: 章, 項目, 特記事項. It lists various technical specifications and conditions for construction work, including safety measures, material quality, and environmental considerations.

Table with columns: 項目, 内容. It contains detailed specifications for materials like stone and timber, construction drawings, and chemical substance concentrations, along with performance requirements.

Table with columns: 項目, 内容. It details general requirements, work recording, and safety measures. It includes a table for design coordination (設計協力メーカー) listing various subcontractors like air conditioning and electrical equipment.

② 仮設工事	1 騒音・粉じん等の対策	・防音パネル ・防音シート 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ※図示	[2.1.3]
	② 足場等	「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における2の(1)手すり設置方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場 ・設置する(設置範囲・図示) ・設置しない 防護ネット等 ・設置する(設置範囲・図示) ・設置しない 内部足場 ・設置する(※脚立、足場板等・図示) ・設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 種別(・A種・B種・C種・D種・E種) C種:利用可能なエレベーター(・図示) D種:利用可能な階段(・図示・打合せによる)	[2.2.1][表2.2.1]
③ 既存部分の養生	既存部分 養生の方法(※ビニルシート、合板等) 既存家具、既存設備等 養生の方法(※ビニルシート等) 既存ブラインド、カーテン等 養生の方法(※ビニルシート等) 保管場所(・図示・図示) 固定された備品、机、ロッカー等の移動(・図示・図示)	養生の方法(※ビニルシート、合板等) 養生の方法(※ビニルシート等) 養生の方法(※ビニルシート等) 保管場所(・図示・図示)	[2.3.1]
4 仮設間仕切り	仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所・図示 仮設間仕切りの種別と材質等	種別 下地 仕上げ(厚さmm) 塗装 充填材 ・A種 ・木 ・せつこうボード(9.5mm) ・無し ※有り ・B種 ・軽量鉄骨 種類() ・片面 ・C種 合板(9.0mm) 材種() ※C種 単管 防災シート	[2.3.2][表2.3.1]
5 監督員事務所	規模 ・既存建物内の一部を使用 ・構内に新設 ※設置しない(下記備品のみ用意する) 備品(名分相当) 机 ・椅子 ・書櫃 ・黒板 ・掛時計 ・寒暖計 ・長靴 ・両合羽 ・保護帽 ・懐中電灯 ・墜落制止用器具 ・軍手 ・衣類ロッカー ・冷暖房機器 ・消火器 ・湯沸器 ・茶器 ・掃除用具 ・電話機 ・FAX ・電子メール通信機器 ・スキャナー ・プリンター	※設置する([1.1.12]による表示・要○不要) ・設置しない [2.4.1][1.1.12]	[2.4.1]
⑥ 現場表示板	構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる (●有償・無償)	※設置する([1.1.12]による表示・要○不要) ・設置しない [2.4.1][1.1.12]	[2.4.1][1.1.12]
⑦ 工事用水	構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(別途施設調整を行うこと)	※設置する([1.1.12]による表示・要○不要) ・設置しない [2.4.1][1.1.12]	[2.4.1][1.1.12]
⑧ 工事用電力	※図示	※設置する([1.1.12]による表示・要○不要) ・設置しない [2.4.1][1.1.12]	[2.4.1][1.1.12]
⑨ 工事用搬入路	※図示	※設置する([1.1.12]による表示・要○不要) ・設置しない [2.4.1][1.1.12]	[2.4.1][1.1.12]
⑩ 仮囲い	※設置位置等は監督員の指示による ○図示 図示の有無に関わらず、監督員と協議の上、必要に応じ適切に配置し的確に対応すること。	※設置する([1.1.12]による表示・要○不要) ・設置しない [2.4.1][1.1.12]	[2.4.1][1.1.12]
⑪ 交通誘導員	必要に応じ搬入路付近に交通誘導員を配置する。 配置箇所 ●監督員の指示による ○図示	※設置する([1.1.12]による表示・要○不要) ・設置しない [2.4.1][1.1.12]	[2.4.1][1.1.12]
12 快適トイレ	仕様 ※図示	※設置する([1.1.12]による表示・要○不要) ・設置しない [2.4.1][1.1.12]	[2.4.1][1.1.12]
A 仮設物	仮設物の位置・仕様・車両の進入方法等、施設内の車両の通行路について、 施工前に必ず監督員、施設管理者と協議すること。	※設置する([1.1.12]による表示・要○不要) ・設置しない [2.4.1][1.1.12]	[2.4.1][1.1.12]
B 火元責任者	火災防止に配慮し、火元責任者を配すること。	※設置する([1.1.12]による表示・要○不要) ・設置しない [2.4.1][1.1.12]	[2.4.1][1.1.12]
C その他	○仮囲い等は現場の状況に合わせて適宜計画すること。 ○ゲート等の位置は監督員と協議の上、必要に応じて適切な位置に移動すること。 ○仮設材の位置・仕様・車両の通行路と進入方法等について、施工前に必ず監督員と協議すること。 ○近隣や施設の行事予定を把握し、工事車両の入場計画を立てること。	※設置する([1.1.12]による表示・要○不要) ・設置しない [2.4.1][1.1.12]	[2.4.1][1.1.12]

A 解体施工	○屋外設備等	フェンス等工物の撤去 ○行う(※図示) ・行わない <3.10.>	
	○樹木等	樹木の伐採伐根及び移植 ●図示 ○協議による <3.11.1>	
B 建設廃棄物の処理	① 一般事項	※受注者は、「資源の有効な利用の促進に関する法律(資源有効利用促進法)」等に基づき、次の対象工事について、工事着手前に本工事に係る「再生資源利用(促進)計画書」及び「工事登録証明書」を建設副産物情報交換システム(COBRIS)により作成し、施工計画書に含め各1部提出する。 また、工事完成後速やかに計画の実施状況(実績)について、「再生資源利用(促進)実施書」及び「工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を保存する。 (a) 再生資源利用計画書(実施書)の作成対象工事(下記のいずれかに該当する工事) (1) 500m ³ 以上の土砂を搬入する工事 (2) 500t以上の砕石を搬入する工事 (3) 200t以上の加熱アスファルト混合物を搬入する工事 (4) 最終工事請負金額が100万円以上の工事 (計画書については、当初工事請負金額が100万円以上の工事) (b) 再生資源利用促進計画書(実施書)の作成対象工事(下記のいずれかに該当する工事) (1) 500m ³ 以上の建設発生土を搬出する工事 (2) アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊、及び建設発生木材の合計で200t以上搬出する工事 (3) 最終工事請負金額が100万円以上の工事 (計画書については、当初工事請負金額が100万円以上の工事)	[1.1.12]
	② 再資源化等(再資源化及び削減)	建設廃棄物の種類 備考 ○コンクリート ・コンクリート及び鉄から成る建設資材 ・木材 ○アスファルトコンクリート ○金風類 ・建設泥土 ・小形二次電池 ○蛍光灯及びHIDランプ ・硬質塩化ビニル管及び継手 ○ガラス ・木材(削減)	<4.4.1>
3 再資源化し、現場で利用する建設廃棄物	建設廃棄物の種類 数量 備考	<4.4.1>	
4 産業廃棄物広域認定制度の活用	建設廃棄物の種類 備考	<4.4.2>	
5 最終処分	建設廃棄物の種類 備考	<4.4.3>	
⑥ 処理に注意を要する建設廃棄物	建設廃棄物の種類 備考 ○石綿含有せつこうボード ・ひ素・カドミウム含有せつこうボード ・上記以外のせつこうボード ・CCA処理木材	<4.5.1>	
⑦ 舗装版切断時に発生する濁水の処理	廃棄物の処理 ・監督員と協議 (濁水の処理) 中間処理施設を選定する場合には事前に監督員の承諾を得るものとする。 種類 汚泥 (共通事項) 1 受注者は、舗装版切断作業を行いつつ濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「マニフスト」という。)により管理するものとする。 (提出書類等) 1 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2 受注者は、工事完成後速やかにマニフストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。 (その他) 受注者は、バキューム式以外の工法(舗装版切断時に濁水を生じない等)を使用する場合には、事前に発注者と協議するものとする。	<4.5.1>	

C 特別管理産業廃棄物の処理	1 施工調査	※特別管理産業廃棄物の調査を次により行う。 <5.1.2> (1)特別管理産業廃棄物の使用状況について、設計図書及び目視により製造所名、製造年、型式、種類、数量等を調査する。 (2)特別管理産業廃棄物に付した、収集運搬業者、処分業者、回収業者、産業廃棄物処理施設、処分条件等を調査する。 (3)調査結果は調査にとりまとめ、監督員に提出する。	<5.1.2>																							
	② 分析調査	分析調査を行う特別管理産業廃棄物の種類 採取する部位・箇所数 備考 ・PCB含有シーリング 部位・図示 分析調査(第一次判定) 箇所数: 箇所 ・PCB含有シーリング 部位・図示 分析調査(第二次判定) 箇所数: 箇所 ・ 部位・図示 箇所数: 箇所 ・ 部位・図示 箇所数: 箇所 ・PCB含有シーリング分析調査 ・監督員と協議 <5.1.4> ・PCBを含む機器の微量PCBの分析調査 <5.1.4> ・絶縁油のPCB含有量の分析調査 「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法(平成4年7月3日厚生省告示第192号)」又は「絶縁油中の微量PCBに関する簡易測定法マニュアル(環境省)」により行う。 ・ダイオキシン類のサンプリング調査 「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類暴露防止対策要綱(平成13年4月25日付基発第401号)」により行う。 <5.1.4>	<5.1.2>																							
3 特別管理産業廃棄物の処理	特別管理産業廃棄物の種類 備考 ・塵石綿等 ・PCBを含む機器類 ・PCB含有シーリング材 ・廃油 ・廃酸/廃アルカリ ・ダイオキシン類	<5.4.1>																								
4 PCBを含む機器類	処理施設 ・監督員と協議 引渡しを要する機器類 <5.4.1>	<5.4.1>																								
5 PCB含有シーリング材	除去処理工事 除去範囲 ※図示 撤去方法 ・「標準施工要領書(日本シーリング工業協会/日本シーリング材工業会)」による。 <5.4.1>	<5.4.1>																								
6 ダイオキシン類	廃棄物の焼却施設の解体 解体方法 処分方法 <5.4.1>	<5.4.1>																								
D 石綿含有建材の除去及び処理	① 石綿含有建材の事前調査	石綿含有建材の事前調査 <1.4.1> 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督員に報告する。 調査範囲 ○本工事施工範囲・図示 貸与資料(石綿含有建材調査結果報告書) 設計書に記載がない場合、「みなし」として報告、施工する。	<1.4.1>																							
	② 石綿含有分析調査	分析による石綿含有建材の調査 <1.4.1> 分析対象 アモサイト、クリソタイル、クロソライト、アクチノライト、アンソフイライト、トレモライト 分析方法 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材 料 名</th> <th colspan="2">定性分析方法</th> <th colspan="2">定量分析方法</th> </tr> <tr> <th>JIS A 1481-1</th> <th>JIS A 1481-2</th> <th>JIS A 1481-3</th> <th>JIS A 1481-4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・75%防水(屋根)</td> <td>※ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>※ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>※ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> </tr> </tbody> </table> サンプル数 1箇所あたり3サンプル 吹付け材及び保温材等は ※10cm ³ /箇所 成形板は ※100cm ² /箇所 採取箇所 ・図示 分析結果については監督員に提出すること。 「9 環境配慮改修工事」による ○近隣説明及び諸官庁への届出は受注者が行い、事前に監督員と協議をすること。	材 料 名	定性分析方法		定量分析方法		JIS A 1481-1	JIS A 1481-2	JIS A 1481-3	JIS A 1481-4	・75%防水(屋根)	※ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・	※ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・	※ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所
材 料 名	定性分析方法			定量分析方法																						
	JIS A 1481-1	JIS A 1481-2	JIS A 1481-3	JIS A 1481-4																						
・75%防水(屋根)	※ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所																						
・	※ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所																						
・	※ 箇所	・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所																						
③ 石綿粉じん濃度測定																										
④ その他																										

E 特殊な建設副産物の処理	1 施工調査	分析調査を行う特殊な建設副産物の種類 採取する部位・箇所数 備考 ・ 部位・図示 箇所数: 箇所 ・ 部位・図示 箇所数: 箇所 ・ 部位・図示 箇所数: 箇所 ・ 部位・図示 箇所数: 箇所	<7.1.3>
	2 回収及び処分	回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類 備考 ・ フロン(冷媒) ・ 建材用断熱材フロン ・ ハロン ・ イオン化式感知器 ・ 六ふっ化硫黄(SF6)ガス ・ PFO5(ペルフルオロ(オクタン-1-イル)酸) ・ 特定化学物質() ・ その他の特殊な建設副産物()	<7.3.1>
回収又は処分 ・ 機械設備図による			
目付	工事名称 中学校等避難所空調設備設置工事(大沼中学校)	図面No. 共通-02	
縮尺	図面名称 特記仕様書2		
一			

⑦ 塗装改修工事	① 材料	<p>屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ [7.1.3]</p> <p>防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。(箇所：)</p> <p>塗替えR品種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す。・図示 [7.2.1~7]</p> <p>下地調整</p> <table border="1"> <tr> <th>下地面の種類</th> <th>下地調整の種類</th> <th>塗替え</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>※不透明塗料塗りの場合はRB種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>・RA種(注) ※RB種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>・RA種(注) ※RB種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面(鋼製建具)</td> <td>・RA種 ※RB種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>珪藻土・せっこうフラスコ面</td> <td>・RA種 ※RB種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP以外)</td> <td>・RA種 ※RB種</td> <td>・行う</td> <td>・行わない</td> </tr> <tr> <td>ALCパネル面</td> <td>—</td> <td>・行う</td> <td>・行わない</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>・RA種(注)</td> <td>・行う</td> <td>・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP)</td> <td>・RA種(注)</td> <td>・行う</td> <td>・行わない</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及びその他ボード面</td> <td>・RA種 ※RB種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>(注)DP以外からDPへ塗替えする場合の下地調整は、既存塗膜の種類及び劣化状況に応じてRA種(既存塗膜全除去)又はRB種(既存塗膜一部除去)を選定すること。</p>	下地面の種類	下地調整の種類	塗替え	ひび割れ部の補修	木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種	—	—	鉄鋼面	・RA種(注) ※RB種	—	—	亜鉛めっき面	・RA種(注) ※RB種	—	—	亜鉛めっき面(鋼製建具)	・RA種 ※RB種	—	—	珪藻土・せっこうフラスコ面	・RA種 ※RB種	—	—	コンクリート面(DP以外)	・RA種 ※RB種	・行う	・行わない	ALCパネル面	—	・行う	・行わない	押出成形セメント板面	・RA種(注)	・行う	・行わない	コンクリート面(DP)	・RA種(注)	・行う	・行わない	せっこうボード面及びその他ボード面	・RA種 ※RB種	—	—																																																																																																																																																							
	下地面の種類	下地調整の種類	塗替え	ひび割れ部の補修																																																																																																																																																																																																	
木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種	—	—																																																																																																																																																																																																		
鉄鋼面	・RA種(注) ※RB種	—	—																																																																																																																																																																																																		
亜鉛めっき面	・RA種(注) ※RB種	—	—																																																																																																																																																																																																		
亜鉛めっき面(鋼製建具)	・RA種 ※RB種	—	—																																																																																																																																																																																																		
珪藻土・せっこうフラスコ面	・RA種 ※RB種	—	—																																																																																																																																																																																																		
コンクリート面(DP以外)	・RA種 ※RB種	・行う	・行わない																																																																																																																																																																																																		
ALCパネル面	—	・行う	・行わない																																																																																																																																																																																																		
押出成形セメント板面	・RA種(注)	・行う	・行わない																																																																																																																																																																																																		
コンクリート面(DP)	・RA種(注)	・行う	・行わない																																																																																																																																																																																																		
せっこうボード面及びその他ボード面	・RA種 ※RB種	—	—																																																																																																																																																																																																		
② 下地調整	<p>下地面等 [7.3.2~7]</p> <table border="1"> <tr> <th>下地面等</th> <th>塗料の種類</th> <th>塗料の種類</th> <th>工程の種類</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗りの場合</td> <td>※A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>透明塗料塗りの場合</td> <td>・A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面(DP以外)</td> <td>—</td> <td>・A種</td> <td>・B種 ※C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面(DP)</td> <td>—</td> <td>・A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>—</td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>珪藻土面及びせっこうフラスコ面</td> <td>—</td> <td>・A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面</td> <td>—</td> <td>・A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP)及びひび割れ部</td> <td>—</td> <td>・A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面及びコンクリート面(DP)</td> <td>—</td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DPのみ)</td> <td>—</td> <td>・A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及びその他ボード面</td> <td>目地：縦目処理工法</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目地：縦目処理工法以外</td> <td>・A種</td> <td>※B種</td> </tr> </table> <p>錆止め塗料塗りの種類 [7.4.2、3]</p> <table border="1"> <tr> <th>素地面</th> <th>塗料の種類</th> <th>塗料の種類</th> <th>工程の種類</th> </tr> <tr> <td>SOP</td> <td>塗替え</td> <td>A種</td> <td>※C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>工程の種類は [表7.4.3]</td> <td>新規見え隠れ</td> <td>A種 ※A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>新規見え隠れ</td> <td>A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>新規見え隠れ</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>新規見え隠れ</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>塗替え</td> <td>7.4.2(1)(b)による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>新規</td> <td>7.4.2(1)(a)による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>D種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>E種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>F種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>G種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>I種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>J種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>K種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>L種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>M種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>N種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>O種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>P種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>Q種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>S種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>T種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>U種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>V種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>W種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>X種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>Y種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>Z種</td> </tr> </table>	下地面等	塗料の種類	塗料の種類	工程の種類	木部	不透明塗料塗りの場合	※A種	・B種		透明塗料塗りの場合	・A種	※B種	鉄鋼面(DP以外)	—	・A種	・B種 ※C種	鉄鋼面(DP)	—	・A種	※B種	亜鉛めっき面	—	・A種	・B種	珪藻土面及びせっこうフラスコ面	—	・A種	※B種	コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面	—	・A種	※B種	コンクリート面(DP)及びひび割れ部	—	・A種	※B種	押出成形セメント板面及びコンクリート面(DP)	—	・A種	・B種	コンクリート面(DPのみ)	—	・A種	※B種	せっこうボード面及びその他ボード面	目地：縦目処理工法	※A種	※B種		目地：縦目処理工法以外	・A種	※B種	素地面	塗料の種類	塗料の種類	工程の種類	SOP	塗替え	A種	※C種	鉄鋼面	工程の種類は [表7.4.3]	新規見え隠れ	A種 ※A種			新規見え隠れ	A種 ※B種			塗替え	・A種 ※B種			新規見え隠れ	・A種 ※B種			塗替え	・A種 ※B種			新規見え隠れ	・A種 ※B種			塗替え	7.4.2(1)(b)による			新規	7.4.2(1)(a)による				A種				B種				C種				D種				E種				F種				G種				H種				I種				J種				K種				L種				M種				N種				O種				P種				Q種				R種				S種				T種				U種				V種				W種				X種				Y種				Z種
下地面等	塗料の種類	塗料の種類	工程の種類																																																																																																																																																																																																		
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種	・B種																																																																																																																																																																																																		
	透明塗料塗りの場合	・A種	※B種																																																																																																																																																																																																		
鉄鋼面(DP以外)	—	・A種	・B種 ※C種																																																																																																																																																																																																		
鉄鋼面(DP)	—	・A種	※B種																																																																																																																																																																																																		
亜鉛めっき面	—	・A種	・B種																																																																																																																																																																																																		
珪藻土面及びせっこうフラスコ面	—	・A種	※B種																																																																																																																																																																																																		
コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面	—	・A種	※B種																																																																																																																																																																																																		
コンクリート面(DP)及びひび割れ部	—	・A種	※B種																																																																																																																																																																																																		
押出成形セメント板面及びコンクリート面(DP)	—	・A種	・B種																																																																																																																																																																																																		
コンクリート面(DPのみ)	—	・A種	※B種																																																																																																																																																																																																		
せっこうボード面及びその他ボード面	目地：縦目処理工法	※A種	※B種																																																																																																																																																																																																		
	目地：縦目処理工法以外	・A種	※B種																																																																																																																																																																																																		
素地面	塗料の種類	塗料の種類	工程の種類																																																																																																																																																																																																		
SOP	塗替え	A種	※C種																																																																																																																																																																																																		
鉄鋼面	工程の種類は [表7.4.3]	新規見え隠れ	A種 ※A種																																																																																																																																																																																																		
		新規見え隠れ	A種 ※B種																																																																																																																																																																																																		
		塗替え	・A種 ※B種																																																																																																																																																																																																		
		新規見え隠れ	・A種 ※B種																																																																																																																																																																																																		
		塗替え	・A種 ※B種																																																																																																																																																																																																		
		新規見え隠れ	・A種 ※B種																																																																																																																																																																																																		
		塗替え	7.4.2(1)(b)による																																																																																																																																																																																																		
		新規	7.4.2(1)(a)による																																																																																																																																																																																																		
			A種																																																																																																																																																																																																		
			B種																																																																																																																																																																																																		
			C種																																																																																																																																																																																																		
			D種																																																																																																																																																																																																		
			E種																																																																																																																																																																																																		
			F種																																																																																																																																																																																																		
			G種																																																																																																																																																																																																		
			H種																																																																																																																																																																																																		
			I種																																																																																																																																																																																																		
			J種																																																																																																																																																																																																		
			K種																																																																																																																																																																																																		
			L種																																																																																																																																																																																																		
			M種																																																																																																																																																																																																		
			N種																																																																																																																																																																																																		
			O種																																																																																																																																																																																																		
			P種																																																																																																																																																																																																		
			Q種																																																																																																																																																																																																		
			R種																																																																																																																																																																																																		
			S種																																																																																																																																																																																																		
			T種																																																																																																																																																																																																		
			U種																																																																																																																																																																																																		
			V種																																																																																																																																																																																																		
			W種																																																																																																																																																																																																		
			X種																																																																																																																																																																																																		
			Y種																																																																																																																																																																																																		
			Z種																																																																																																																																																																																																		

9 環境配慮改修工事	1 石綿粉じん濃度測定	<p>測定時期、場所及び測定点 [9.1.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点</th> </tr> <tr> <td>測定1</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2又は3点()点</td> </tr> <tr> <td>測定2</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>各2点()点</td> </tr> <tr> <td>測定3</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点()点</td> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td>出入口</td> <td>各1点()点</td> </tr> <tr> <td>測定5</td> <td>集じん・排気装置の設置の排出口 (処理作業室内の場合)</td> <td>各1点()点</td> </tr> <tr> <td>測定6</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>各2又は3点()点</td> </tr> <tr> <td>測定7</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2又は3点()点</td> </tr> <tr> <td>測定8</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>4方向各1点()点</td> </tr> <tr> <td>測定9</td> <td>処理作業室内</td> <td>()点</td> </tr> <tr> <td>測定10</td> <td>去後1週間以降</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界 ()点</td> </tr> </table> <p>さいたま市で測定を行う場合は市条例を遵守して実施すること。</p> <p>測定方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動測定器による測定 測定4.5 ※A 粉じん相対湿度計(デジタル粉じん計)、繊維状粒子粒子自動計測器(97A471A-1000)等、排気の粉じん濃度を迅速に計測できる機器にて測定 JIS K 3850-11に基づいた測定 <table border="1"> <tr> <th>測定4.5</th> <th>測定</th> <th>測定</th> </tr> <tr> <td>ろ過ろ過の直径(mm)</td> <td>25</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量(L/min)</td> <td>5</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間(min)</td> <td>30</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>240</td> </tr> </table>	測定時期	測定場所	測定点	測定1	処理作業室内	各2又は3点()点	測定2	施工区画周辺又は敷地境界	各2点()点	測定3	処理作業室内	各2点()点	測定4	出入口	各1点()点	測定5	集じん・排気装置の設置の排出口 (処理作業室内の場合)	各1点()点	測定6	施工区画周辺又は敷地境界	各2又は3点()点	測定7	処理作業室内	各2又は3点()点	測定8	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点()点	測定9	処理作業室内	()点	測定10	去後1週間以降	施工区画周辺又は敷地境界 ()点	測定4.5	測定	測定	ろ過ろ過の直径(mm)	25	47	試料の吸引流量(L/min)	5	10	試料の吸引時間(min)	30	120			240
	測定時期	測定場所	測定点																																															
測定1	処理作業室内	各2又は3点()点																																																
測定2	施工区画周辺又は敷地境界	各2点()点																																																
測定3	処理作業室内	各2点()点																																																
測定4	出入口	各1点()点																																																
測定5	集じん・排気装置の設置の排出口 (処理作業室内の場合)	各1点()点																																																
測定6	施工区画周辺又は敷地境界	各2又は3点()点																																																
測定7	処理作業室内	各2又は3点()点																																																
測定8	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点()点																																																
測定9	処理作業室内	()点																																																
測定10	去後1週間以降	施工区画周辺又は敷地境界 ()点																																																
測定4.5	測定	測定																																																
ろ過ろ過の直径(mm)	25	47																																																
試料の吸引流量(L/min)	5	10																																																
試料の吸引時間(min)	30	120																																																
		240																																																
2 石綿含有吹付け材の除去(レベル1)	本工事対象外																																																	
3 石綿含有保温材等の除去(レベル2)	本工事対象外																																																	
4 石綿含有成形板の除去(レベル3)	<p>除去対象範囲 〇図示</p> <p>石綿含有けい酸カルシウム板第一種の場合の隔離養生(負担不要)方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビニールシート等による養生を行う 除去した石綿含有成形板の処分 <ul style="list-style-type: none"> 〇石綿含有せっこうボード <ul style="list-style-type: none"> ※埋立処分(管理型最終処分場) 〇石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 <ul style="list-style-type: none"> ※埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設) 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設) 																																																	
5 石綿含有建築用仕上塗料等の除去(レベル3)	<p>除去対象範囲 〇図示</p> <p>工事前の試験施工 〇行う ・行わない</p> <p>除去工法 ()</p> <ul style="list-style-type: none"> 〇石綿含有建築用仕上塗料等の飛散防止 <ul style="list-style-type: none"> ※密封処理 ※遠隔化 ※固形化 〇埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設) 																																																	
6 PCB含有シーリング材処分	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>採取する部位・箇所数</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・PCB含有シーリング</td> <td>部 位 〇図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>箇所数: 箇所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・PCB含有シーリング</td> <td>部 位 〇図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>箇所数: 箇所</td> <td></td> </tr> </table> <p>詳細は監督員との協議による</p>	種類	採取する部位・箇所数	備考	・PCB含有シーリング	部 位 〇図示			箇所数: 箇所		・PCB含有シーリング	部 位 〇図示			箇所数: 箇所																																			
種類	採取する部位・箇所数	備考																																																
・PCB含有シーリング	部 位 〇図示																																																	
	箇所数: 箇所																																																	
・PCB含有シーリング	部 位 〇図示																																																	
	箇所数: 箇所																																																	
7 外断熱改修工事 G	本工事対象外																																																	
8 断熱・防露改修工事 G	<p>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放数量 [9.3.2~4]</p> <p>※F☆☆☆☆</p> <p>開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆</p> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> 断熱材打込み工法 <ul style="list-style-type: none"> 断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) 施工箇所 断熱材現場発泡工法 <ul style="list-style-type: none"> 断熱材の種類 ※A種1 ・A種1H 厚さ(mm) 25 30 施工箇所 〇図示 断熱材後張り工法 <ul style="list-style-type: none"> 断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) ・せっこうボード等を張り付けたパネルを使用 材質 厚さ(mm) 張り付け工法 <ul style="list-style-type: none"> 断熱材の張り付け工法 ・ビグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS) 断熱材へのボードの張付け工法 																																																	
9 屋上緑化改修工事 G	本工事対象外																																																	

10 透水性アスファルト舗装改修工事	適用範囲: 【武里南小学校: 駐車場】 [9.5.2~5、9]																											
	既存舗装の撤去及び再利用 ※図示																											
路床の材料	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>材 料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・建設汚泥から再生した処理土 G ・再生クラッシュラン C ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (改修標準仕様書表9.5.11による)</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・改修標準仕様書9.5.3(2)(ウ)による</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行う ・行わない <p>路床安定処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用する ・適用しない <p>安定処理の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・置き換え工法 () ・安定処理工法 <p>路床安定処理用添加材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>普通ポルトランドセメント</th> <th>高炉セメントB種 G</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・フライアッシュセメントB種</td> <td>・消石灰(・特号・1号)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・生石灰(・特号・1号)</td> <td>() kg/m³ (目標CBR ※3以上)</td> </tr> <tr> <td>添加量</td> <td colspan="2">目標CBRを満足する添加量の確認方法</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">安定処理土のCBR試験</td> </tr> </table> <p>・ジオテキスタイル</p> <p>単位面積質量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・60g/m²以上 <p>厚さ(mm)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0.5~1.0 <p>引張強さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 <p>透水係数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1.5×10⁻³ cm/sec以上 <p>試験</p> <p>路床土の支持力比(CBR)試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行う ・行わない <p>現場CBR試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行う ・行わない <p>路床締固め度の試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行う ・行わない <p>六価コロム溶出試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行う ・行わない <p>路盤</p> <p>路盤の構成及び厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示 <p>路盤材料(改修標準仕様書表9.7.3による種別)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 〇再生クラッシュラン A ・再生粒度調整砕石 G ・クラッシュラン鉄鋼スラグ G ・粒度調整鉄鋼スラグ G ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G <p>舗装の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示 <p>舗装の平坦性</p> <ul style="list-style-type: none"> ※着しく不陸がないもの <p>開粒度アスファルト混合物等の抽出試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行う ・行わない 	種 別	材 料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	・図示	・凍上抑制層	・建設汚泥から再生した処理土 G ・再生クラッシュラン C ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (改修標準仕様書表9.5.11による)	・図示	・フィルター層	・改修標準仕様書9.5.3(2)(ウ)による	・図示	種類	普通ポルトランドセメント	高炉セメントB種 G		・フライアッシュセメントB種	・消石灰(・特号・1号)		・生石灰(・特号・1号)	() kg/m ³ (目標CBR ※3以上)	添加量	目標CBRを満足する添加量の確認方法			安定処理土のCBR試験	
種 別	材 料	厚さ(mm)																										
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	・図示																										
・凍上抑制層	・建設汚泥から再生した処理土 G ・再生クラッシュラン C ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (改修標準仕様書表9.5.11による)	・図示																										
・フィルター層	・改修標準仕様書9.5.3(2)(ウ)による	・図示																										
種類	普通ポルトランドセメント	高炉セメントB種 G																										
	・フライアッシュセメントB種	・消石灰(・特号・1号)																										
	・生石灰(・特号・1号)	() kg/m ³ (目標CBR ※3以上)																										
添加量	目標CBRを満足する添加量の確認方法																											
	安定処理土のCBR試験																											
⑤ 舗装版切断時に発生する濁水の処理(舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書)	<p>濁水の処理</p> <p>1) 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。</p> <p>種類及び処理量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による <p>処理方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間処理後、最終処分場へ搬入(処理に焼却含まず) ・中間処理後、最終処分場又はセメント工場へ搬入(処理に焼却含む) <p>2) 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>共通事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥(油分を含む汚泥)として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 2) 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4) 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「マニフェスト」という。)により管理するものとする。 <p>提出書類等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2) 受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。 <p>その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。 2) 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。 3) 疑義が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。 																											

目付	工事名称	図面No.
	中学校等避難所空調設備設置工事(大沼中学校)	共通-04
縮尺	図面名称	
一	特記仕様書4	

電気設備工事特記仕様書

- 1 工事概要
1.1 工事名 建築工事特記仕様書による
1.2 工事場所 建築工事特記仕様書による
1.3 工期 建築工事特記仕様書による

- 1.4 工事科目 (○印の付いたものを適用する)

Table with 2 columns: Items (e.g., 電灯設備, 動力設備, 受変電設備) and Status (e.g., ・, ○, ●).

- 1.5 指定部分 ○ 無 ・有 (工期: 令和 年 月 日)
1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)
建築工事特記仕様書による

- 1.7 建物概要
建築工事特記仕様書による

- 1.8 工事概要
建築工事特記仕様書による

- 1.9 同時発注の関連工事 ※なし (ただし、工事対象エリアで施設管理委託受注者が作業を行う)

2 工事仕様

2.1 共通仕様

- (1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、春日市電気設備工事特別共通仕様書(以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(電気設備工編)(最新版)、公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工編)(最新版)、公共建築設備工事標準図(電気設備工編)(最新版)(以下「標準仕様書等」という。)及び監督員の指示に従い施工する。
(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
(3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。

- 2.2 特記仕様 (特記事項の選択項目は、○印のついたものがなければ※印を適用し、●印のものは適用しない。○印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。)

Main specification table with columns: 項目 (Item), 特記事項 (Remarks). Includes sections for materials, construction conditions, and safety.

① 2 金属電線の塗装

① 3 壁

① 4 地中電線路

① 5 回路的種別先行の表示

① 6 電線の接続

① 7 電線管の接続

① 8 接地工事

① 9 建設発生土の処理

② 0 再生砂・再生アスコン

② 1 耐震施工

露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。また、屋外で溶融垂鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。ただし、見えかかり部の塗装については監督員の指示による。

壁等の壁は、既存壁の壁と整合を極力図るものとする。

(1) 管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。

敷き均し土の管種別表。良質土、硬質ビニル電線管(VE)、耐衝撃性塩化ビニル管(HIVE)など。

(2) 地中電線路には、ケーブル埋設機及び保護シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の保護シートは図面特記による。

(3) 地中電線路の敷設は管路式とし、埋設深さは地表面(舗装する部分では路盤材下)から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。

ハンドホール、プルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、回路的種別、先行の表示を行う。

湿気の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。

屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじなし工法としてもよい。

漏電遮断機で保護されている電路と保護されていない電路のD種接地極が共用していない場合の接地線は、混触防止のため、緑色、緑・黄又は緑・色帯で区別する。

埋戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。構外搬出適切な処理する。

契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、使用できる。※使用できない。再生砂使用に先立ち、1購入あたり1検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。

設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 最新版」(独立行政法人建築研究所監修)による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。

(1) 設計用水平地震力 機器の重量 [kgf] に、設計用水平地震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用水平地震度は、次による。

設計用標準水平地震度表。設置場所(上階階、屋上及び塔屋、中間階、地下・1階)と機器種別(重要機器、一般機器)による。

【備考】(※1): 水槽類には、オイルタンク等を含む。重要機器: 配電盤・発電装置(防災用)・直流電源装置・交流無停電電源装置・交換機・火災報知器受信機・中央監視装置・太陽光発電装置

上階階の定義は次による。2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。(2) 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

② 2 あと施工アンカー 機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。(原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。)あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。

② 3 はつり及びあと施工アンカー打設 既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴欠け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてX線撮影調査を実施すること。電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。

② 4 改修部分の足場 本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。(1) 内部足場 ※ 脚立足場 (2) 外部足場 ※ 建築工事特記仕様書による

② 5 墜落制止用器具(フルハーネス型) ※使用を要する 墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン(平成30年6月22日付け基発0622第2号)による。●使用を要しない

② 6 施工計画書

※施工に先立ち、次の施工計画書を提出し監督員の承認を受ける ※総合施工計画書(工程・品質・安全・環境配慮・仮設計画等を含む) ※工種別施工計画書 ○電力設備工事 ○受変電設備工事 ・電力貯蔵設備工事 ・発電設備工事 ・通信、情報設備工事 ・中央監視制御設備工事 ・医療関係設備工事 ・昇降機設備工事 ※その他監督員が必要と認めるもの

② 7 アスベスト事前調査結果の報告

② 8 その他

全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石棉障害予防規則の事前調査を実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告する。

- (1) 施工に先立ち、建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承認を受ける。
(2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製作する。
(3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。
(4) 本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。
(5) 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。
(6) 改修工事等を施工する場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。
(7) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように締密に打合せを行うこと。
(8) 本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。
(9) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せて設定すること。
(10) 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。

2.3 工事別一般事項(特記事項選択項目は、○印のついたものを適用する)

Table with 2 columns: 項目 (Item), 特記事項 (Remarks). Lists specifications for lighting, power, lightning, and power equipment.

Table with 2 columns: 項目 (Item), 特記事項 (Remarks). Lists specifications for building information communication network equipment and power storage equipment.

Table with 2 columns: 項目 (Item), 特記事項 (Remarks). Lists specifications for fire alarm and evacuation equipment.

2.4 取付高さ 壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

Table showing mounting heights (取付高さ) in mm for various equipment like switches, outlets, and fire extinguishers.

3 その他

- 3.1 他工事との取合区分 建築工事特記仕様書による
3.2 図面上の縮尺 建築工事特記仕様書による
3.3 疑義 本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。
3.4 工事用図面 建築工事特記仕様書による

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書 建築工事特記仕様書による

機械設備工事特記仕様書

I 工事概要

- 1 工事名称 建築工事特記仕様書による
- 2 工事場所 建築工事特記仕様書による
- 3 工期 建築工事特記仕様書による
現場施工期間 建築工事特記仕様書による
- 4 建物概要 建築工事特記仕様書による
- 5 工事種目（●印を付いたものを適用する。）

工事種目	
● 空気調和設備	一式
● 換気設備	一式
○ 排煙設備	
○ 自動制御設備	
○ 衛生器具設備	
○ 給水設備	
○ 排水設備	
○ 給湯設備	
○ 消火設備	
○ 厨房機器設備	
○ ガス設備	
- 6 指定部分 ※無・有
対象部分： 工期：令和 年 月 日
- 7 主任技術者又は監理技術者の専任期間（建設業法により必要になった場合）
建築工事特記仕様書による
- 8 工事範囲 図示のとおり
- 9 機械設備工事概要 建築工事特記仕様書による
- 10 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない事項は、電気設備工事は春日部市電気設備工事特別共通仕様書により、建築工事は春日部市建築工事特別共通仕様書による。
- 11 同時期発注の関連工事 ※なし（ただし、工事対象エリアで施設管理委託受注者が作業を行う）

II 工事仕様

- 1 共通仕様

（１）この工事は特記仕様書、図面によるほか、春日部市機械設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）、公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（最新版）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督員の指示に従い施工する。

なお、市営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。

（２）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。

（３）法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。
- 2 特記仕様

（１）章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。

（２）特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものがなければ、※印を適用し、・印のものは適用しない。○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

章 項目 特記事項

① 機材等 本工事に使用する設備機材等は、設計図面に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注先を記載した報告書を監督員に提出すること。使用機材等については、7a)ト含有の有無を確認し、7a)トを含む機材は、使用しないこと。「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品目に該当する機材は、その判断基準、配慮事項を満たすこと。調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
建築工事特記仕様書による

② 電気保安技術者

③ 施工条件 施工時間 建築工事特記仕様書による

④ 技能士の適用 ・配管施工（配管工事） ・建築板金施工（風道制作及び取付け） ・熱絶縁施工（保温工事） ・冷凍空調和機器施工（冷凍空調機器の据付け）

⑤ 機材の検査及び試験、施工の検査及び試験 検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書及び特別仕様書による。

⑥ 監督員事務所 建築工事特記仕様書による

⑦ 官公署その他への届出手続等 工事の着手、施工、完成に当り、関係官公署などへの必要な届出手続等は受注者が代りし遅滞なく行う。

⑧ 工사용電力・水等 建築工事特記仕様書による

⑨ 工사용仮設物 すべて受注者の負担とし、構内につくることが ※できる ・できない

⑩ 足場・さんばし類 建築工事特記仕様書による ・本工事とする。

⑪ 建設発生土の処理 埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。 ・構外搬出適切処理する。

⑫ 埋め戻し土・盛土 ※根切土の中の良質土（但しコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類） ・山砂の類

⑬ 再生砂・再生砕石、再生アスコン使用 契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、使用できる。 ※使用できない。

再生砂の使用に先立ち、1購入あたり1検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。

⑭ 発生材の処理等 ※引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切処理する。（構外搬出処理費は ※本工事 ・別途）

(1) 引渡しを要するもの ()
(2) 買取処分をするもの ()
(3) 再生資源化を図るもの（ ・硬質塩化ビニル管 ・ ）
(4) 特別管理産業廃棄物 ()

※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調査を提出すること。

⑮ 容量等の表示 (1) 機器等の能力、容量等は表示された数値以上とする。
(2) 電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。

⑯ 配管 (1) 地中埋設配管（排水管を除く）
1) 地中埋設機（コンクリート製） ※要（図示の箇所） ・不要
2) 地中埋設紙（キャッツアイ） ※要（舗装部の分岐、曲部） ・不要
3) 埋設表示テープ（2倍折込み） ※要 ・不要

⑰ 耐震施工 設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）を参考とする。ただし、設計用地震力（水平及び鉛直）は次の設計用水平地震度K_v及び設計用鉛直地震度K_v（K_v／2）を用いて計算する。設計用水平地震度と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。

設置場所	耐震安全性の分類			
	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.5	1.0
	(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)
中間階	<2.0>	<1.5>	<1.5>	1.0
	1.5	1.0	1.0	0.6
1階及び地下階	(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.0)
	<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>
	1.0	0.6	0.6	0.4
	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)
		<1.5>	<1.0>	<1.0>

(注) () 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。
< > 内の数値は水槽類に適用する。

※上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階

中間階とは地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの（平屋建の場合は無し）重要機器は次のものを示す。

給水装置	排水装置	換気機器	空調機器	熱源機器
防火設備	監視制御設備	危険物貯蔵装置		
火を使用する設備 避難経路上に設置する機器				

⑰) ー) あと施工アンカー 機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。
施工は、（一社）日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。
金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。
接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。
(原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。)
あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。

18) 防露保温工事 標準仕様書第2編によるほか下記による。

空気調和設備工事の保温の種類	施工箇所	保温種別
ドレン管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ハ)・Ⅾ
	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅾ
	天井内、PS内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅾ
	浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	e3・(ハ)・Ⅾ

(注) 1. 冷媒管は、断熱材被覆銅管を使用し、外装は下記による。
屋内露出部 ※保温化粧カバー（※樹脂製 ・亜鉛メッキ鋼板製 ・SUS製）
屋外露出部 ※熔融アルミニウム亜鉛鉄板ラッキング ・SUSラッキング ・保温化粧カバー（※樹脂製 ・亜鉛メッキ鋼板製 ・SUS製）

2. 施工種別Bの材料及び施工順序4、5に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。
3. 機器類の保温材の種類は、(※グラスウール保温材 ・ロックウール保温材)とする。

19 防凍保温

20 塗装 下記の亜鉛メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。
※機械室、書庫、倉庫
下記の金属電線管は塗装を行う。
※屋外露出 ※多湿箇所 屋内露出（※見えかかり部 ・ ）

21 電線 表示なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。
電動ドリル等の刃が鉄削、金属配管等に接触したときに、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。

22 はつり及びあと施工アンカー打設 既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示した箇所について×線撮影調査を実施すること。
電動ドリル等の刃が鉄削、金属配管等に接触したときに、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。

23 管の埋設深さ (1) 公道上は、道路管理者の指定する深さとする。
(2) 構内車両通路では、路盤材下面から管の上端まで600mmとする。
(3) その他の場所では、地表面（舗装する部分では路盤材下面）から管の上端まで300mmとする。

24 既設管分岐・接続 既設管に接続・分岐する場合は、原則として新設時の接合方法として標準仕様書に規定された工法による。
やむを得ずそれ以外の工法を採用する場合は監督員の承諾を受ける。

25 絶縁継手の設置・種別 ※コンクリートの建築物に出入りする箇所付近の露出部配管 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分 ※50A以下は絶縁ユニオンとし、それ以上は絶縁フランジ ・全て絶縁フランジ

26 天井仕上げ区分 仕上表による

27 他工事との取合区分

28 施工図等の取扱い 施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に帰属するものとする。
建築工事特記仕様書による

29 保 険

30 配管識別 配管等の識別は、その方法等について監督員と協議のうえ行うこと。

31 墜落制止用器具（フルハーネス型） ※使用を要する 墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン（平成30年6月22日付け基発062第2号）による
・使用を要しない

32 施工計画書 ※施工に先立ち、次の施工計画書を提出し監督員の承認を受ける。
※総合施工計画書（工程・品質・安全・環境配慮・仮設計画等を含む）
※工種別施工計画書
○共通工事 ○空気調和設備工事 ・自動制御設備工事 ・給排水衛生設備工事 ・ガス設備工事 ・さく井設備工事 ・浄化槽設備工事 ・昇降機設備工事 ・機械式駐車設備工事 ・医療ガス設備工事
※その他監督員が必要と認めるもの

33 三相誘導電動機 三相誘導電動機はJIS C 4213（IE3）トランナーモーターとする。

34 そ の 他 完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表（名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等）を記載すること。

① 共通事項

② 改修部分の足場 本工事で単独に必要な足場は、下記より設ける。
(1) 内部足場 ※ 脚立足場 ・斜組足場 ・
(2) 外部足場 建築工事特記仕様書による

③ 既存部分養生・既存家具等養生 (1) 関係受注業者と共用部分
※別契約の関係受注業者が定着したものは無償で使用できる。
・本工事で負担とする。(種別は(2)による。)
(2) 本工事で単独で必要となる養生は、下記による。
※ビニールシート ・合板 ・

④ 備品等の移動 ・別途工事 ○本工事 ※接続配管等の取外し、接続は本工事

⑤ 仮設間仕切り 建築工事特記仕様書による

⑥ 撤去後機材の取扱い (1) 改修部分の機材は原則として撤去後新品に代替するものとし、再使用する場合は図示区分による。
(2) 撤去後再使用の指定がない機材のうち、撤去後使用価値を有するものは、現場発生品として監督員に報告する。
それ以外の機材は種類別に産業廃棄物として分別処分し、マニフェストを監督員に提出する。

⑦ 支持金物の再利用 (1) インサート金物 ・インサートの径毎に引張試験を行った場合は、再使用できる ※新品
(2) 形鋼支持金物等 ・再使用できる ※新品

8 フロン回収

⑨ 総合調整 ・全体再調整 ※改修部及び影響部のみ調整

⑩ 既設基礎類の解体はつり 建設機械は、原則として、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用すること。現場内で使用する重機等は、解体建築物の位置及び規模に応じた機種及び規格のものを選定すること。
粉じんの飛散等により周辺環境に影響を及ぼさないよう適宜散水や粉じん発生源を覆うなど環境対策に配慮すること。

⑪ アスベスト事前調査結果の報告 全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石棉障害予防規則の事前調査を実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告すること。

⑫ そ の 他 (1) 図面上の縮尺は、JIS A1版、A3版とし縮尺とする。
(2) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。
(3) 特に騒音振動など周辺に基大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。
(4) FF式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置についてはFF式温風暖房機の一時取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（一財）石油油燃焼機器保守協会）が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。

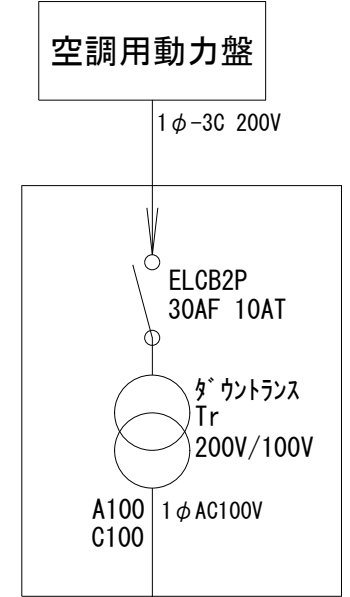
2023.9

設計年月日		縮尺		工事名称		図面名		図面番号	
		—		中学校等避難所空調設備設置工事（大沼中学校）		特記仕様書7 機械設備工事		共通-07	
春日部市 学校教育課 教育施設課									

● 空気調和設備	① 設計温湿度	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">外 気</th> <th colspan="4">屋 内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏 期</td> <td>36.9℃</td> <td>46.1%</td> <td>28℃</td> <td>9%</td> <td>26℃</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>冬 期</td> <td>0.6℃</td> <td>50.7%</td> <td>20℃</td> <td>9%</td> <td>20℃</td> <td>9%</td> </tr> </table> <p>※外気処理用エアコンの室内設定値は、夏期湿度50%とする。</p>		外 気		屋 内				温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏 期	36.9℃	46.1%	28℃	9%	26℃	9%	冬 期	0.6℃	50.7%	20℃	9%	20℃	9%
		外 気		屋 内																									
温度 (DB)		湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																							
夏 期	36.9℃	46.1%	28℃	9%	26℃	9%																							
冬 期	0.6℃	50.7%	20℃	9%	20℃	9%																							
② 総合試運転調整	<p>※本工事・別途</p> <p>風量調整 ※する ・しない 水量調整 ・する ※しない 騒音の測定 ○する ※しない 室内外空気の温湿度の測定 ※する ・しない 室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ・する ※しない</p>																												
3 煙道 10 ダンパー	<p>4 煙突 5 長方形ダクト 6 円形ダクト 7 風量測定口 8 チャンパー 9 吹出口及び吸込口ボックス</p>																												
⑪ 配管材料	<p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (3) プライン管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ (4) 冷媒管 ※断熱材被覆鋼管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。 (5) ドレン管 (屋外) ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ○硬質塩化ビニル管 V P ドレン管 (屋内) ※保温機能付空調用ドレン管 (SXDのACI'レハ'イ'相当品) ・耐火二層管 V P (F D P S - 1) ・配管用炭素鋼鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管 V P (消防協議事項: ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ 還管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管 (黒) Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・</p>																												
12 井 類 17 冷却塔	<p>13 温度計 14 圧力計 15 瞬間流量計 16 油面制御装置</p>																												
⑫ 空気熱源ヒートポンプ空調機	<p>標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 (2) 冷媒・HFC (R 4 1 0 A、R 3 2 又は R 4 0 7 C) (注1) R 4 1 0 A を採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R 3 2 を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆鋼管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針に掲げる成績係数を満たす機器とする。</p>																												

● 換気設備	1 長方形ダクト	<p>※低圧ダクト (重鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (重鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (重鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A 区分 ※B 区分) ・塩ビ製ダクト (・A 区分 ※B 区分)</p>									
	2 円形ダクト	<p>※スパイラルダクト (※重鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (V U) ・耐火二層換気管 (大臣認定品) ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無) (注) 1 使用区分は図示による。</p>									
3 風量測定口	<p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト</p>										
4 チャンパー	<p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p>										
5 ダンパー	<p>(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)</p>										
6 多湿箇所の排気ダクト	<p>(1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管 (V U) (防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火 V P) を使用できる。 ※浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) ・ (2) 水抜き管は (※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・) の排気ダクトには設ける</p>										
7 保 温	<p>下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト 仕様はN・(O)・XIとする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ※ (※厨房 ・湯沸室 ・) 用の隠蔽ぺい部ダクト (仕様はh・(イ)・IXとし範囲は図示による)</p>										
8 試運転調整	<p>風量調整 ※する ・しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ・する ※しない</p>										
● 自動制御	<p>1 中央監視制御装置 ・有り ※無し 2 構成・機能 図示による 3 電気計装用機材 使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</p>										
○ 排水設備	<p>A 計装制御 カードタイマーにより発停を制御する。仕様は別紙のとおりカードのメモリ書き込み、納品は本工事とする。</p>										
1 配管材料	<p>配管材料は ※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>雑排水配管</td> <td> 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む) ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P 厨房等の温排水 ※S G P (白) ・ 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・S G P (白) その他の部分 ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 </td> </tr> <tr> <td>汚水配管</td> <td> 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む) ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・排水用/カ-114 抄塗装鋼管 その他の部分 ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 </td> </tr> <tr> <td>共通</td> <td> 地中埋設部 ※RS-V U又はリサイクルV U ・V U ・卵形管 (ゴム輪接合) ※RE P-V U (軽荷重の場合) ・RF-V P又はリサイクルV P ・V P </td> </tr> <tr> <td>通気配管</td> <td> 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・S G P (白) その他の部分 ※リサイクルV P又はRF-V P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 </td> </tr> </table> <p>(注) 1. リサイクルV P、リサイクルV UはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-V P、RS-V U又は、RE P-V Uは標準仕様書第2編2. 1. 2. 6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はY 4 5度で行う。</p>	施工箇所	管 種 別	雑排水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む) ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P 厨房等の温排水 ※S G P (白) ・ 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・S G P (白) その他の部分 ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	汚水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む) ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・排水用/カ-114 抄塗装鋼管 その他の部分 ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	共通	地中埋設部 ※RS-V U又はリサイクルV U ・V U ・卵形管 (ゴム輪接合) ※RE P-V U (軽荷重の場合) ・RF-V P又はリサイクルV P ・V P	通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・S G P (白) その他の部分 ※リサイクルV P又はRF-V P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管
施工箇所	管 種 別										
雑排水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む) ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P 厨房等の温排水 ※S G P (白) ・ 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・S G P (白) その他の部分 ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管										
汚水配管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む) ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・排水用/カ-114 抄塗装鋼管 その他の部分 ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管										
共通	地中埋設部 ※RS-V U又はリサイクルV U ・V U ・卵形管 (ゴム輪接合) ※RE P-V U (軽荷重の場合) ・RF-V P又はリサイクルV P ・V P										
通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・S G P (白) その他の部分 ※リサイクルV P又はRF-V P ・V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管										
2 洗面器等の排水管											
3 満水試験継手	<p>3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口ソケット</p>										
4 樹の適用	<p>別紙樹表による。</p>										
<p>舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書 建築工事特記仕様書による</p>											

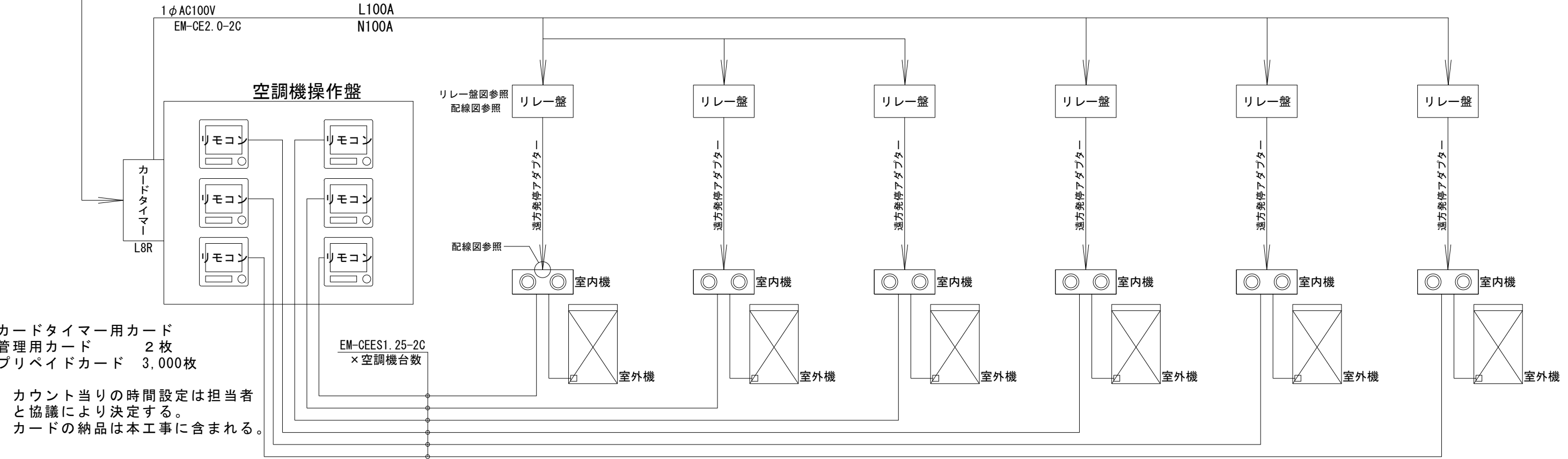
		参考工程表													
		月 日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
工 事 項 目		(10) (20) (30)	(10) (20) (31)	(10) (20) (30)	(10) (20) (31)	(10) (20) (31)	(10) (20) (30)	(10) (20) (31)	(10) (20) (30)	(10) (20) (31)	(10) (20) (30)	(10) (20) (31)	(10) (20) (28)	(10) (20) (31)	
学校運営		学校休業													
契約		契約締結													
書類作成		設計図書作成													
準備工事		工事現場準備													
共通仮設工事		仮設設備設置													
空調設備工事		空調機設置													
空調設備工事に伴う建築設備工事		配管工事													
空調設備工事		配管工事													
空調設備工事		配管工事													
空調設備工事		配管工事													
アリーナLED化工事		LED照明設置													
建築改修工事		建築改修工事													
受電設備工事		受電設備工事													
検査		検査													
		この工程表は参考であり、契約を拘束するものではない。学校関係者と協議の上、学校の意向を汲み、工程を決定すること。この工事は学校、放課後クラブを運営しながらの工事である。工程は両運営に配慮した計画とすること。設備発注は早期に実施し、工程の遅れが生じないようにすること。													



[動作]

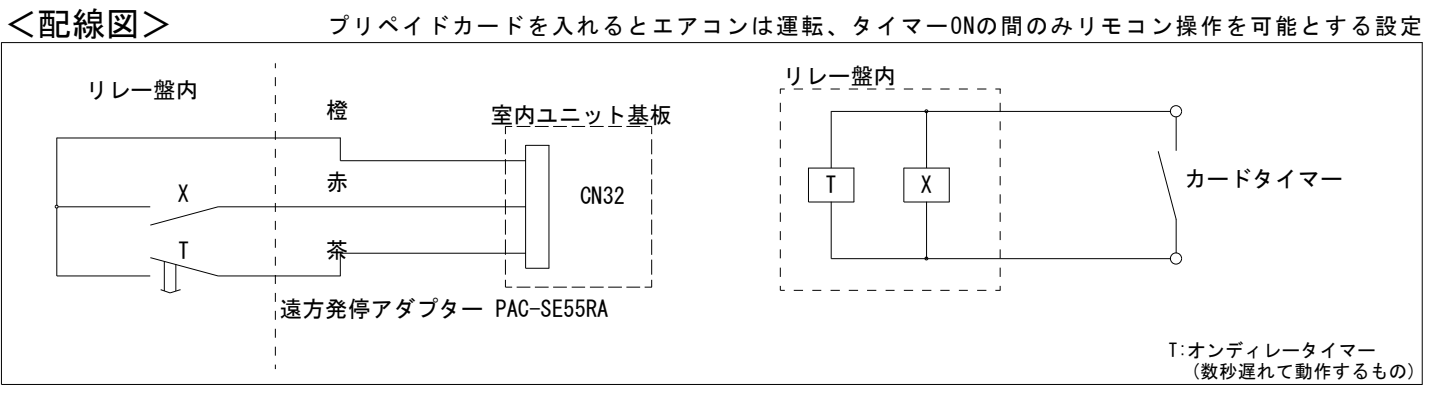
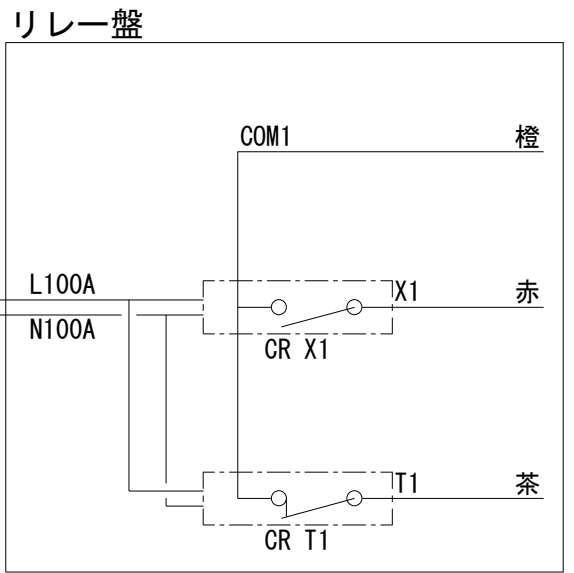
カードタイマー接点 オンディレイタイマー接点	状態	手元リモコンからの操作	
		運転/停止操作	その他設定(温度/風速など)
ON	タイマー制御/運転開始→	許可	許可
OFF(数秒遅れ)	リモコン制御	(オンディレイタイマー接点OFF後)	
OFF	タイマー制御/停止	禁止	停止
ON			

停止ボタンを押してもカードタイマーのカウントは停止しない。



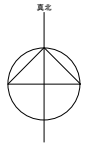
カードタイマー用カード
管理用カード 2枚
プリペイドカード 3,000枚

カウント当りの時間設定は担当者と協議により決定する。
カードの納品は本工事に含まれる。



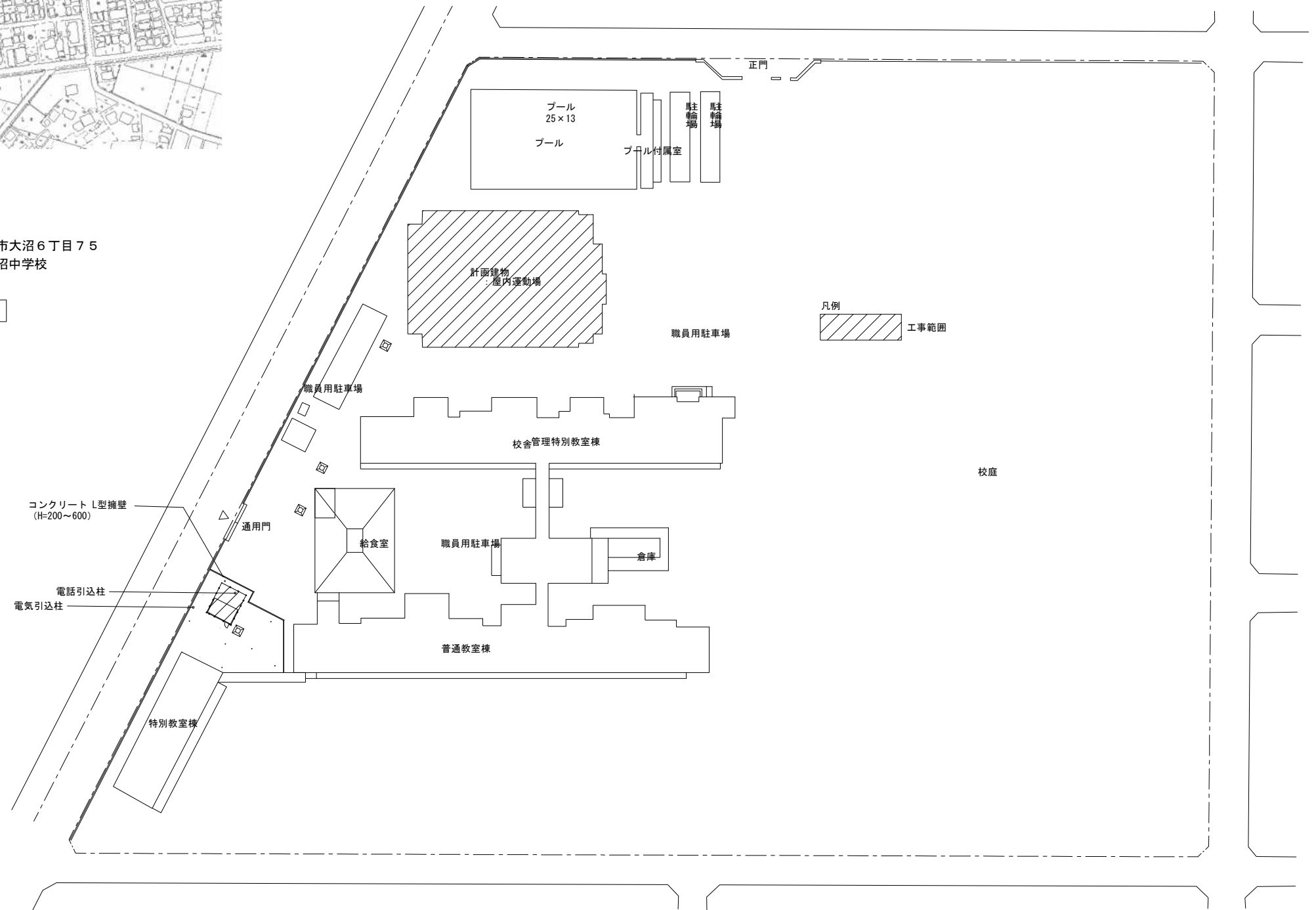
カードタイマー運転フロー

- ① カードタイマーにカードを差し込む
カードタイマーに設定された度数が引き落とされる。
カードタイマーからカードが自動で出てくる。
連続でカードを抜き差しすると設定された度数がその回数分、引き落とされ、カードタイマーに加算される。
カードタイマーに引き落とされた度数の清算はできない。
- ② 自動で全空調が稼働する。
設定(冷暖房、温度、風量)は前利用した運転時の設定を引き継ぐ。
リモコンの操作ロックが解除される。
リモコンで運転OFFにできるが、カードタイマーの残数は減り続ける。
- ③ カードタイマーの残数が0になると全空調が停止する。
リモコンの操作はロックされる。



工事場所：埼玉県春日部市大沼6丁目75
春日部市立大沼中学校

案内図 S=nonscale

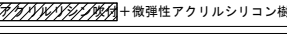
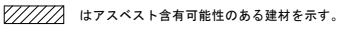


配置図 S=1:500

訂正	備考

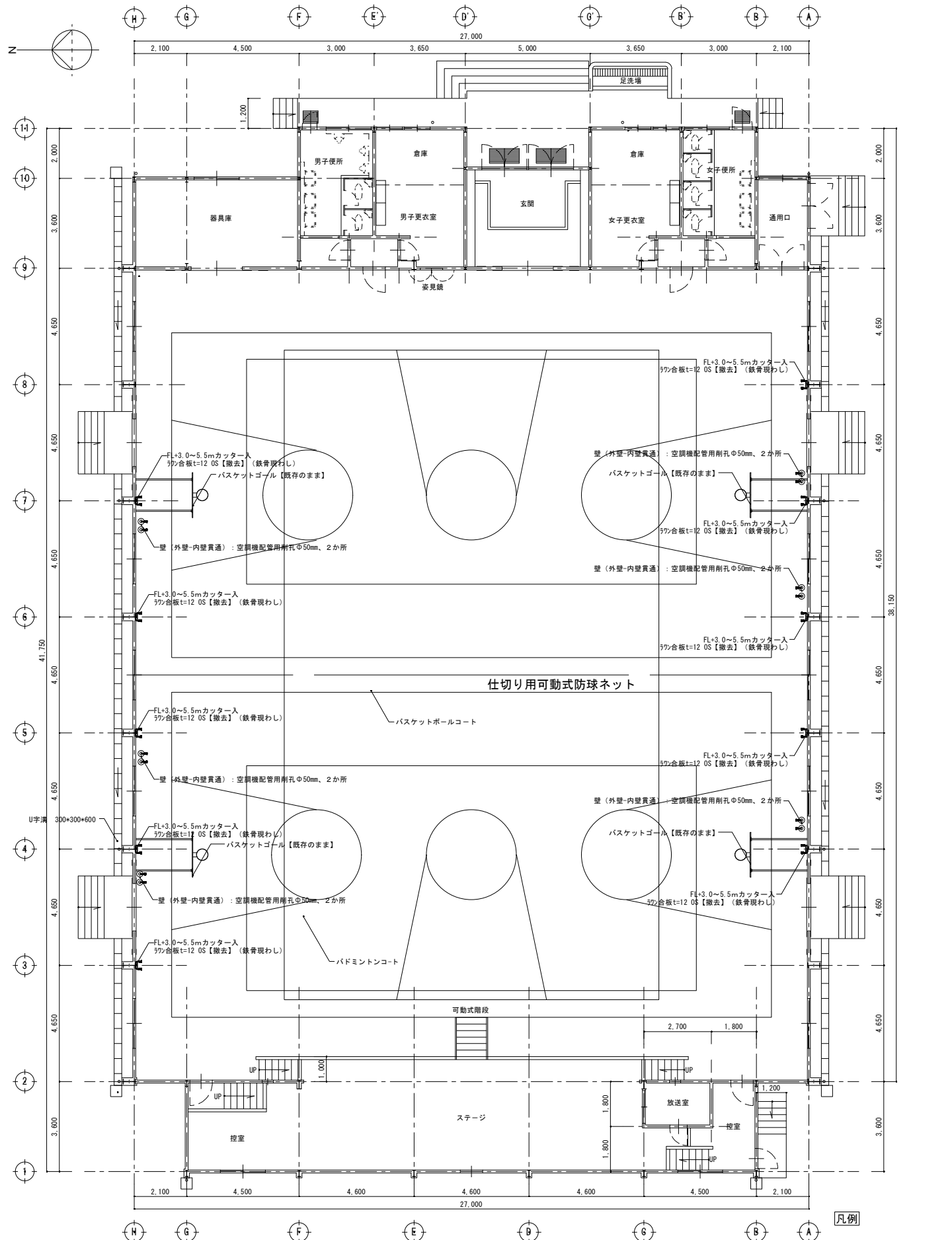
春日部市学校教育課
教育施設課

工事名称	中学校等避難所空調設備設置工事（大沼中学校）	図面番号	A - 01
図面名称	案内図、配置図	縮尺	1:500

外部仕上表		部 位	仕 上	部 位	仕 上	部 位	仕 上		
屋根	改修前	長尺カラー鉄板カワラ棒葺キ	ゴムアスファルト複合塗膜防水(透熱仕様) 下地:アスファルトルーフィング22kg 木毛板 t=25	玄関ポーチ	改修前	モルタル塗金ゴテ仕上、ノンスリップタイル66*150	ポーチ	改修前	角波カラー鉄板張り 28# 変性エポキシ樹脂錆止め塗料+耐侯性塗料塗り
	改修後	既存のまま			改修後	既存のまま		改修後	既存のまま
庇	改修前	長尺カラー鉄板カワラ棒葺キ	変性エポキシ樹脂錆止め塗料+耐侯性塗料塗り 下地:アスファルトルーフィング22kg 木毛板 t=25	外階段	改修前	モルタル塗金ゴテ仕上、ノンスリップタイル66*150	縦樋	改修前	硬質塩ビ100φ 3-ベンゾ可溶1液硬化型カチオン樹脂塗料2回 受金物 φ1200 内径:長尺カラー鉄板 28#
	改修後	既存のまま			改修後	既存のまま		改修後	既存のまま
バラベツト	改修前	鉄板 t=16	加工、変性エポキシ樹脂錆止め塗料+耐侯性塗料塗り、目地 チョコロール系コーキング	犬走り	改修前	敷砂利 t=50		改修前	
	改修後	既存のまま			改修後	既存のまま		改修後	
外壁	改修前	ラスシート張りモルタル剛毛引き	 +微弾性アクリルシリコン樹脂サーフェーサー+水性ふっ素樹脂系遮熱塗料仕上	軒裏	改修前	フレキシブルボード張り(目透シ張り) t=5 EP(2回塗り)		改修前	 はアスベスト含有可能性のある建材を示す。 アスベスト含有建材は本工事対象外の「放送室 天井(石膏ボード)」から検出。
	改修後	既存のまま(剛孔)	※剛孔に当たっては水循環式無振動ドリルを使用すること。		改修後	既存のまま		改修後	

内部仕上表													
階	室名		床		巾木	H	塗装	壁		天井	カーテンボックス	天井高	備考
			下地	仕上				塗装	仕上				
1階	男子更衣室	改修前	下地	コンクリート嵩上げ	ラワン	100	EP-G	LGS-65型下地	EP	LGS-65型下地	EP	2600	木製棚 2ヶ
		改修後	工事対象範囲外	下地									
	女子更衣室	改修前	下地	コンクリート嵩上げ	ラワン	100	EP-G	LGS-65型下地	V.P	ラスシート張り 30# 一部 LGS-65型 モルタル塗金ゴテ 一部 石膏板 t=12.5+けい酸加減板 t=5	EP	2600	木製棚 1ヶ
		改修後	工事対象範囲外	下地									
	倉庫	改修前	下地	モザイク塗金ゴテ 一部コンクリート嵩上	ラワン	100	EP-G	LGS-65型下地	EP	LGS-65型下地	EP	2600	
		改修後	工事対象範囲外	下地									
	倉庫	改修前	下地	モザイク塗金ゴテ 一部コンクリート嵩上	ラワン	100	EP-G	LGS-65型下地	EP	LGS-65型下地	EP	2600	木製スノコ【撤去】
		改修後	工事対象範囲外	下地									
	アリーナ	改修前	下地		ラワン	100	0.S	0.S	0.S	ラワン合板 t=12、t=5.5 【一部撤去】	0.S	2600	床下改メロ
		改修後	アリーナ 工事対象範囲	下地									
	控室A	改修前	下地		ラワン	100	EP-G	木脚縁	EP	石膏板 t=12.5+けい酸加減板 t=5	EP	2600	掃除用具入
		改修後	工事対象範囲外	下地									
控室B	改修前	下地		ラワン	100	EP-G	木脚縁	EP	石膏板 t=12.5+けい酸加減板 t=5	EP	2600		
	改修後	工事対象範囲外	下地										ブナフローリング t=18 特殊張り ウレタン湿気硬化塗料仕上 一部塩ビタイル貼り
改修前													
改修後													
改修前													
改修後													
改修前													
改修後													
改修前													
改修後													

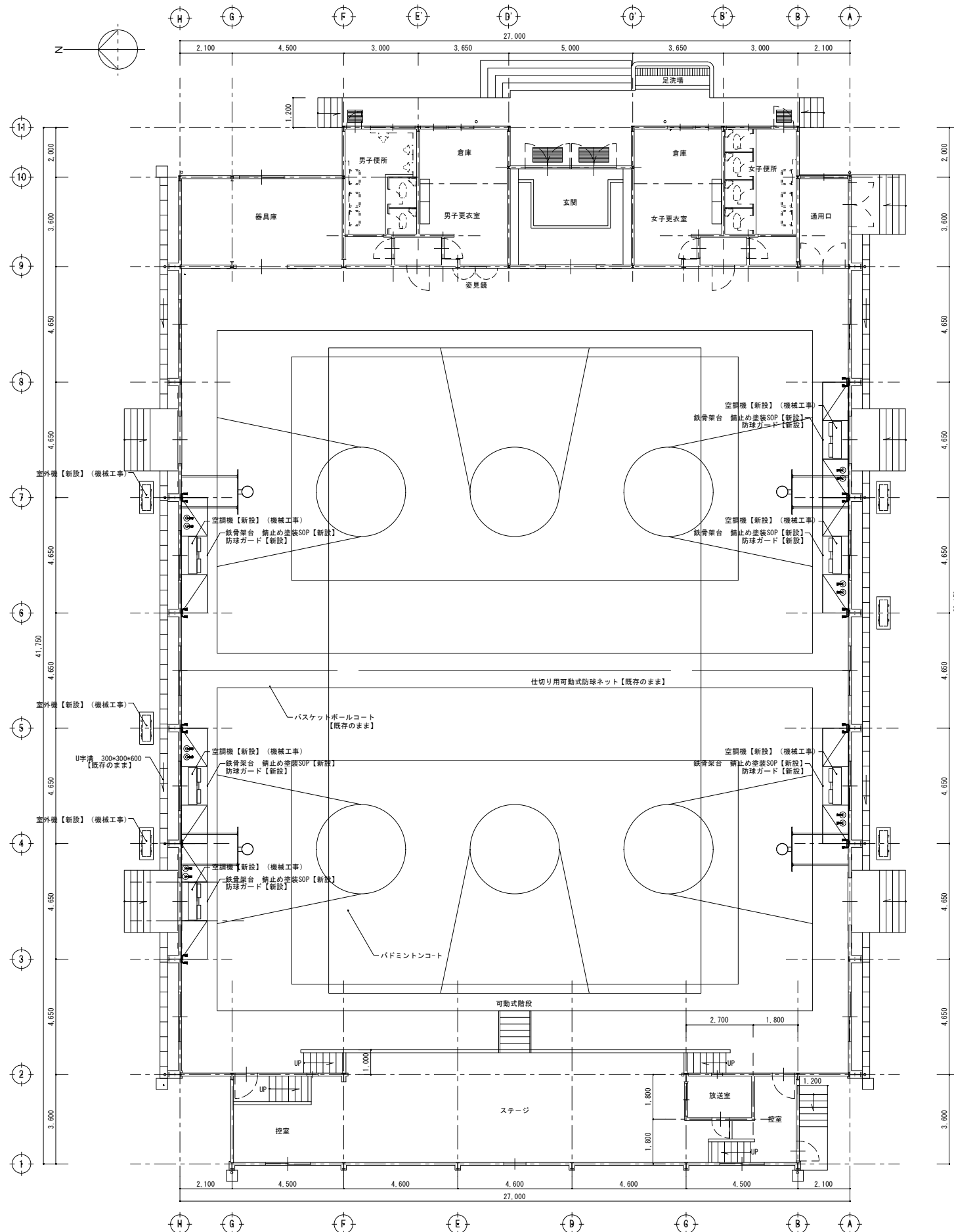
改修前



- ▲ 壁：合板カッター入れ撤去
- 壁（外壁-内壁貫通）：削孔φ50mm

改修前
1階平面図

改修後



- ▲ 壁：塩ビ回り縁【新設】
- スリーブ、止水【機械工事】

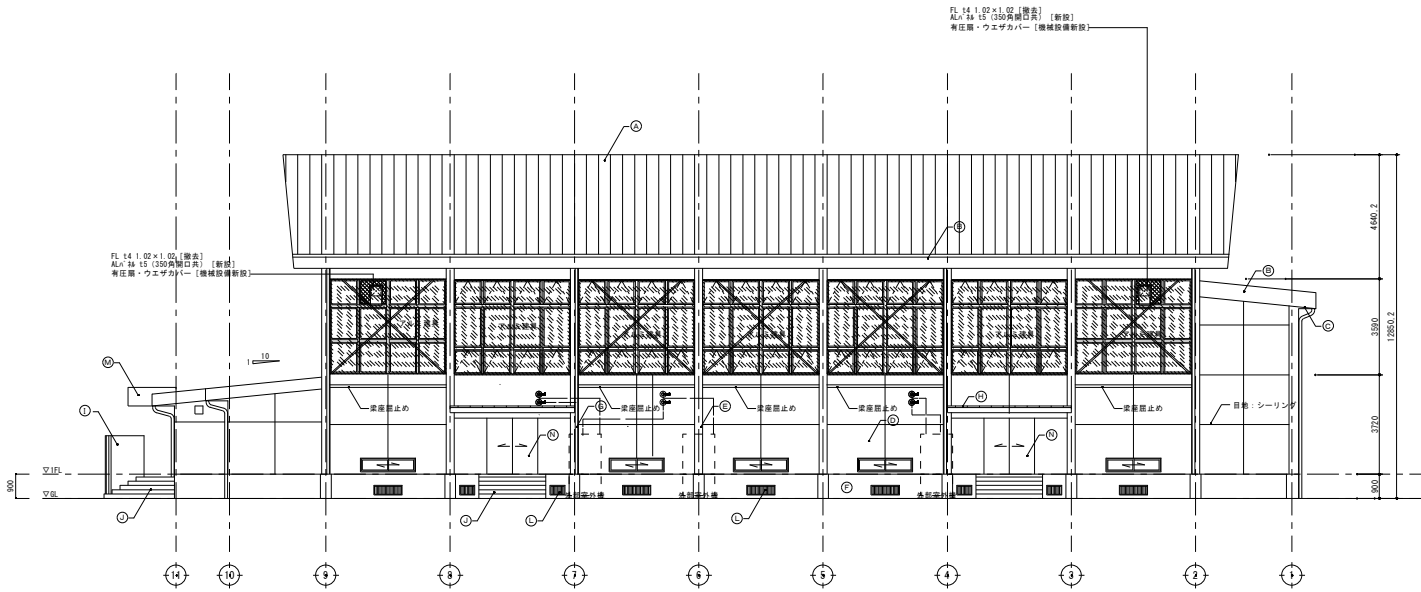
改修後
1階平面図

訂正	備考

春日部市学校教育課
教育施設課

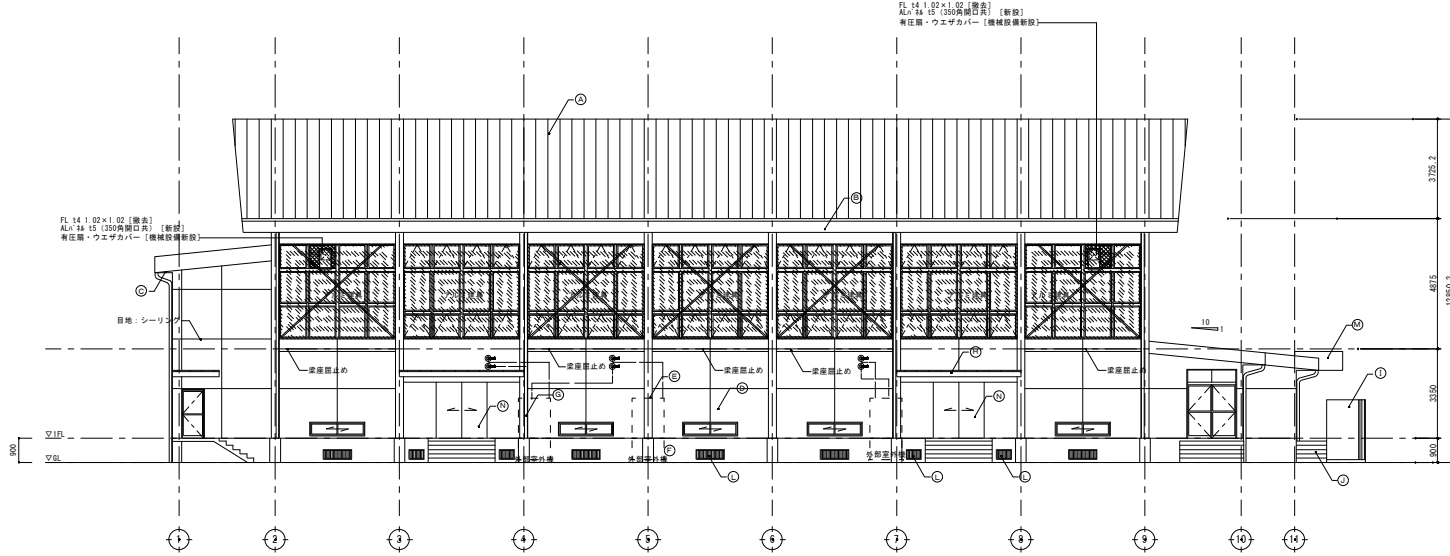
工事名称 中学校等避難所空調設備設置工事（大沼中学校）
図面名称 1階平面図（改修前・改修後）

図面番号 A-03
縮尺 A1:1/100
A3:1/200



北立面図 (改修前・後) 1/100

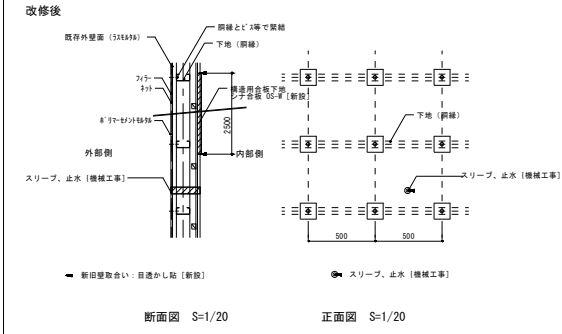
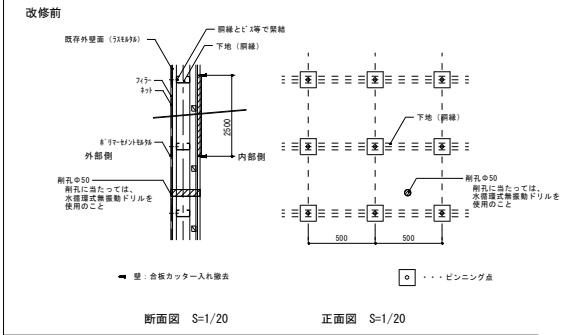
符号	内容
○	屋根
Ⓐ	下地補修の上、J122164複合遮熱防水 (遮熱仕様) t=2.0
Ⓑ	ボード
Ⓒ	ケレンの上 変性エポキシ樹脂塗止め塗料+耐傷性塗料変り
Ⓓ	軒裏
Ⓔ	フレキシブルボードt=5 EP
Ⓕ	外壁
Ⓖ	クラック補修の上、ラスモタル外壁剥落防止工法を行い、下塗料+機質性アクリルシリコン樹脂サーフェーサー+水性ふっ素樹脂系遮熱塗料仕上げ
Ⓗ	柱型
Ⓘ	クラック補修の上、ラスモタル外壁剥落防止工法を行い、下塗料+機質性アクリルシリコン樹脂サーフェーサー+水性ふっ素樹脂系遮熱塗料仕上げ
Ⓚ	外材木
Ⓛ	既存のまま
Ⓜ	壁種: 硬質塩化ビニル (3ペーパー) 液硬化型樹脂付樹脂塗料 2面
Ⓝ	ケレンの上 変性エポキシ樹脂塗止め塗料+耐傷性塗料変り
Ⓟ	足洗場
Ⓠ	既存のまま
Ⓡ	外階段
Ⓢ	既存のまま
Ⓣ	ガラス
Ⓤ	清掃
Ⓡ	換気口
Ⓢ	ケレンの上 変性エポキシ樹脂塗止め塗料+耐傷性塗料変り
Ⓣ	バルコニー
Ⓤ	ケレンの上 変性エポキシ樹脂塗止め塗料+耐傷性塗料変り
Ⓥ	ハンガーボード
Ⓦ	ケレンの上 変性エポキシ樹脂塗止め塗料+耐傷性塗料変り
※上記及び「アルミ建具」「屋根止め」「目地シーリング」は全て「既存のまま」とする。	
※ ● 壁 (外壁-内壁貫通) : 断孔Φ50mm、スリーブ、止水 (機械工事)	



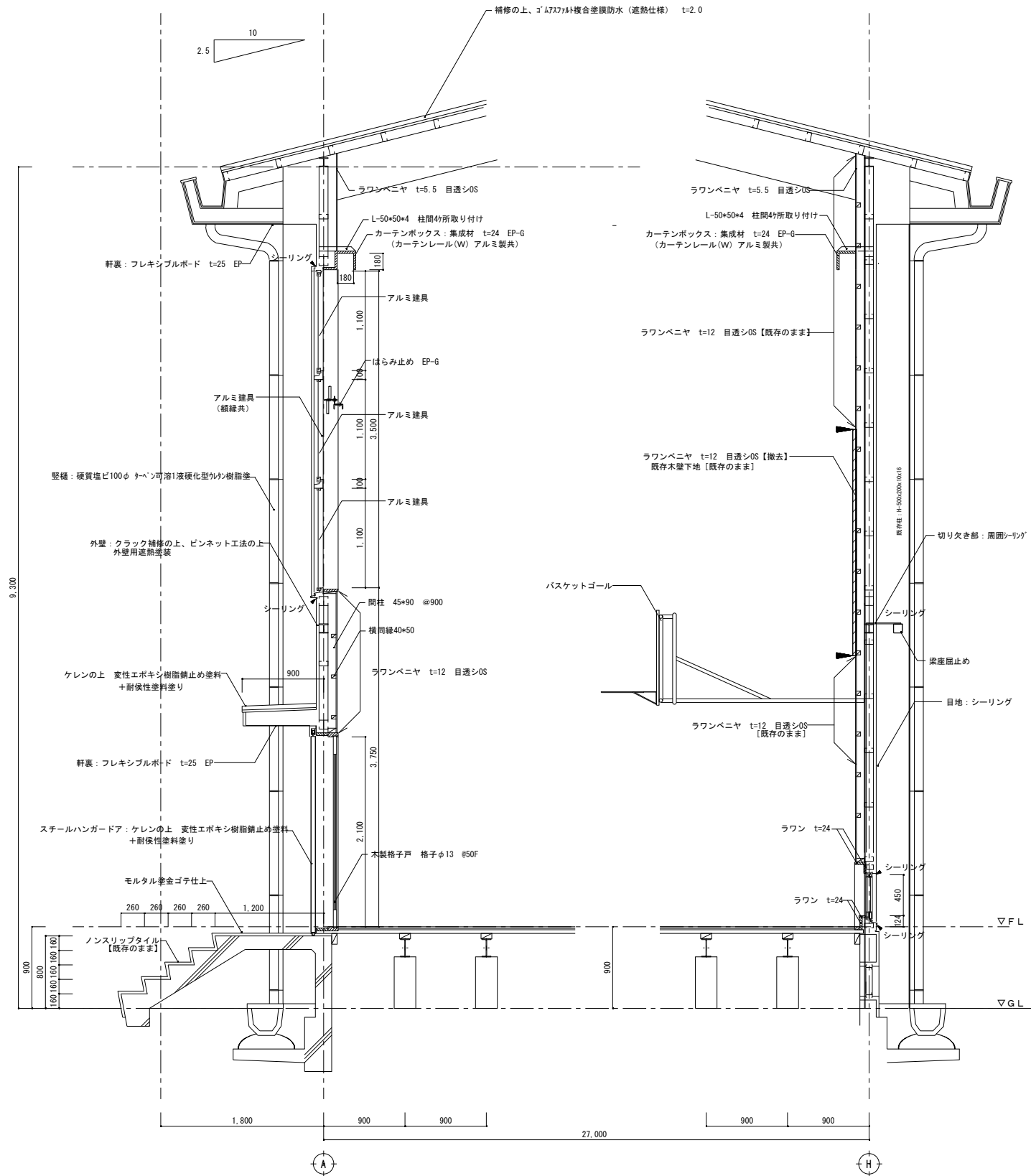
南立面図 (改修前・後) S=1/100

凡例
 ○ 改修前: 壁 (外壁-内壁貫通) : 断孔Φ50mm
 ● 改修後: スリーブ、止水 (機械工事)

ラスモタル外壁剥落防止外壁 S=1/20

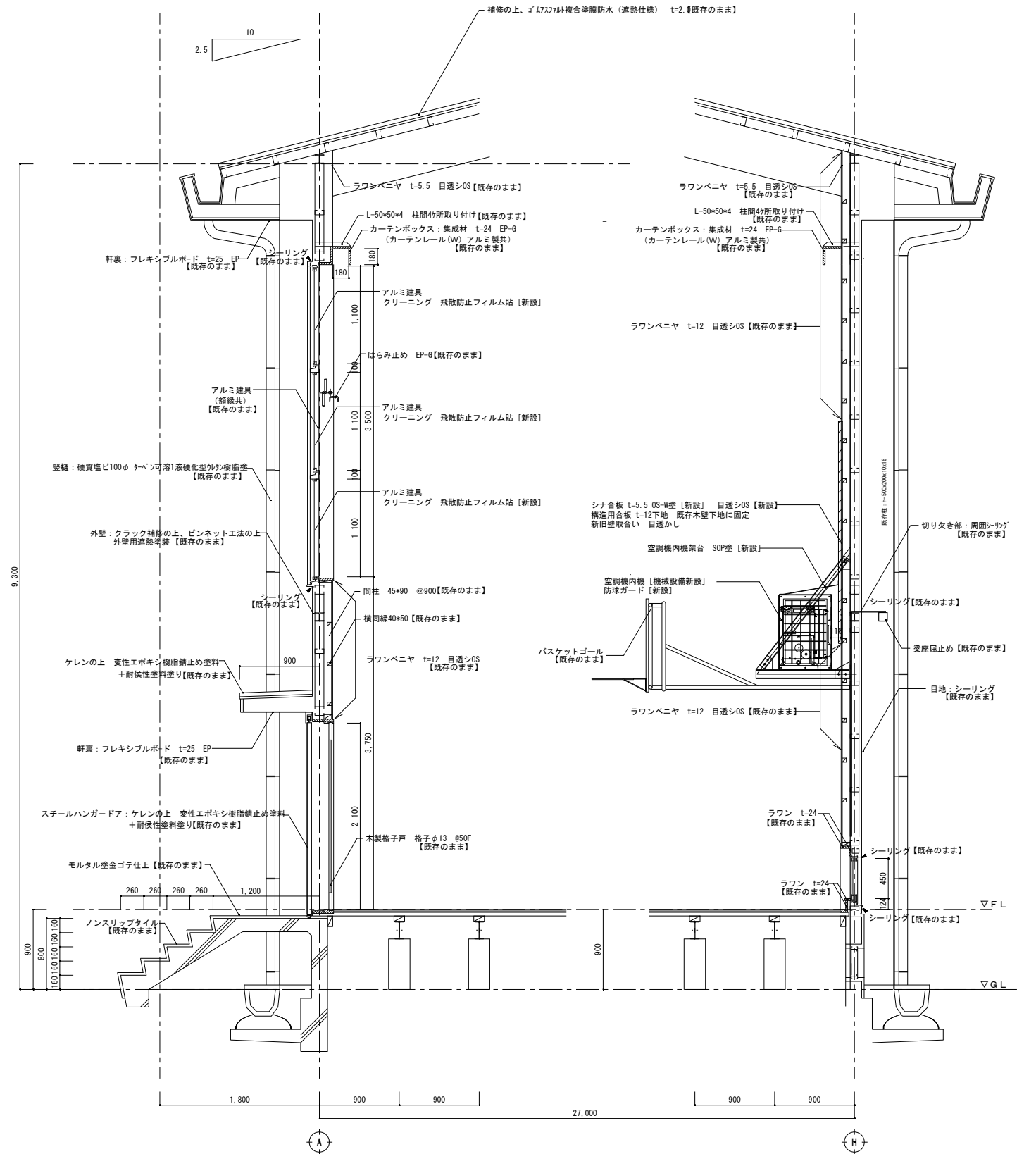


改修前



断面詳細図【改修前】

改修後



断面詳細図【改修後】

凡例

▲ カッター入れ

訂正

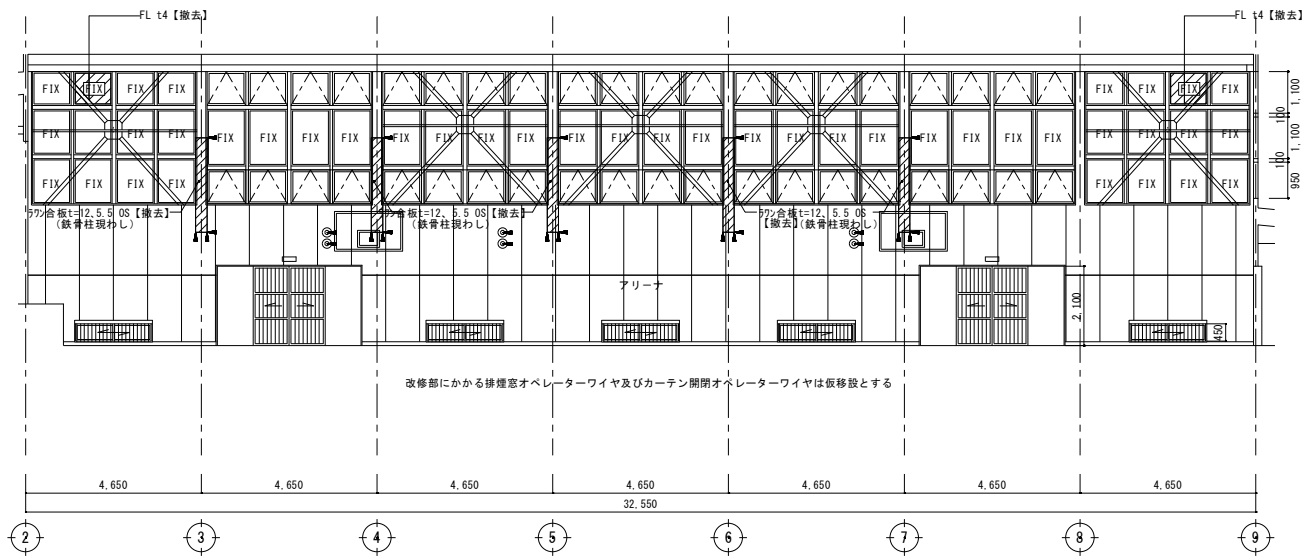
備考

春日部市学校教育
教育施設課

工事名称	中学校等避難所空調設備設置工事(大沼中学校)
図面名称	断面詳細図(改修前・改修後)

図面番号	A-05
縮尺	A1:1/30 A3:1/60

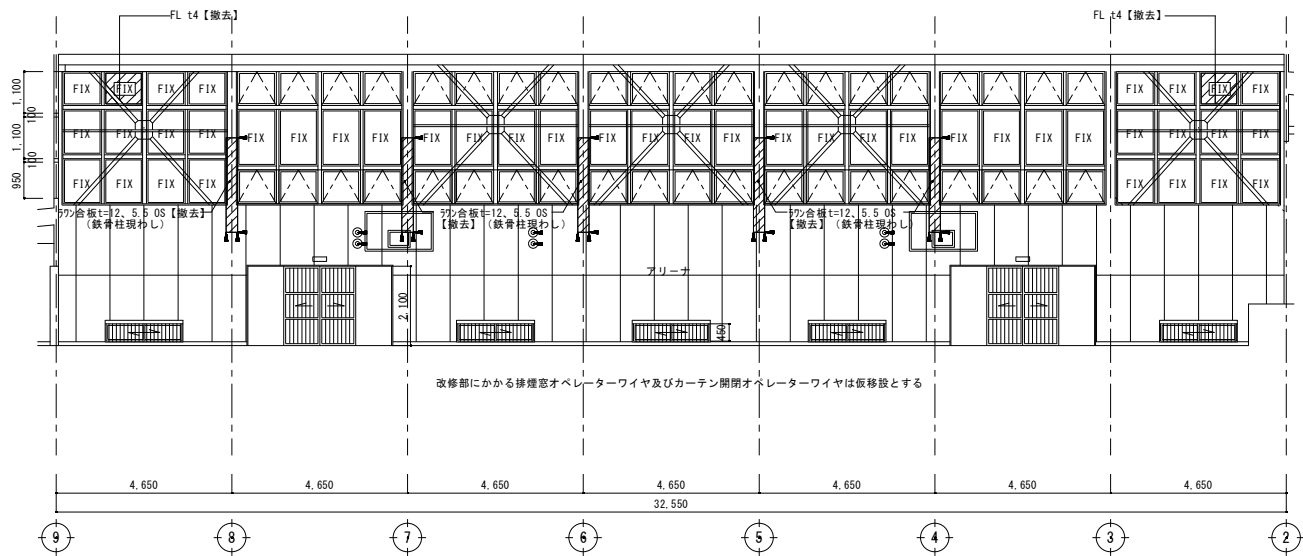
室名	アリーナ
床	ブナフローリング t=18 ウレタン塗気硬化塗料仕上
巾木	ラワンOS H=100
壁	ラワン合板 t=12.5.5 OS 【一部撤去】
天井	木毛板 t=25 アラウシ 継手ジョイナー取付
備考	カーテンボックス 移動式階段・床下改メロ



A

改修前

アリーナ展開図 S=1/100



C

凡例

■■■■ 改修範囲

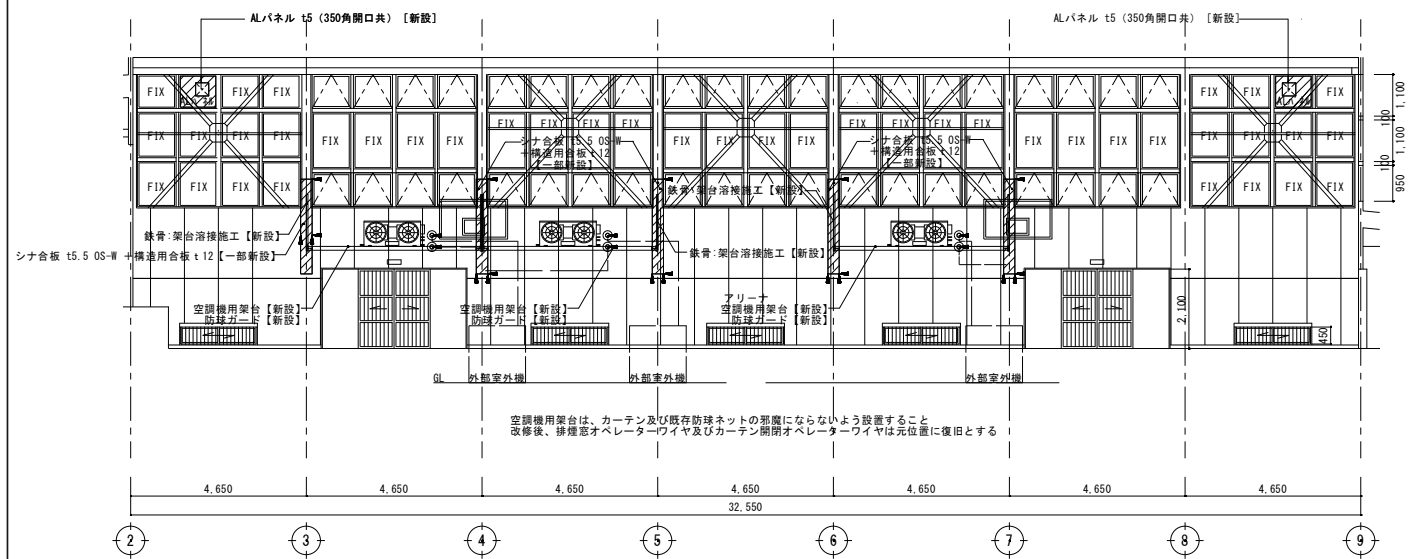
→ 壁：合板カッター入れ撤去

⊙ 壁（外壁-内壁貫通）：削孔Φ50mm

※建具ガラス面は全てクリーニング

※建具ガラス面は全てクリーニング

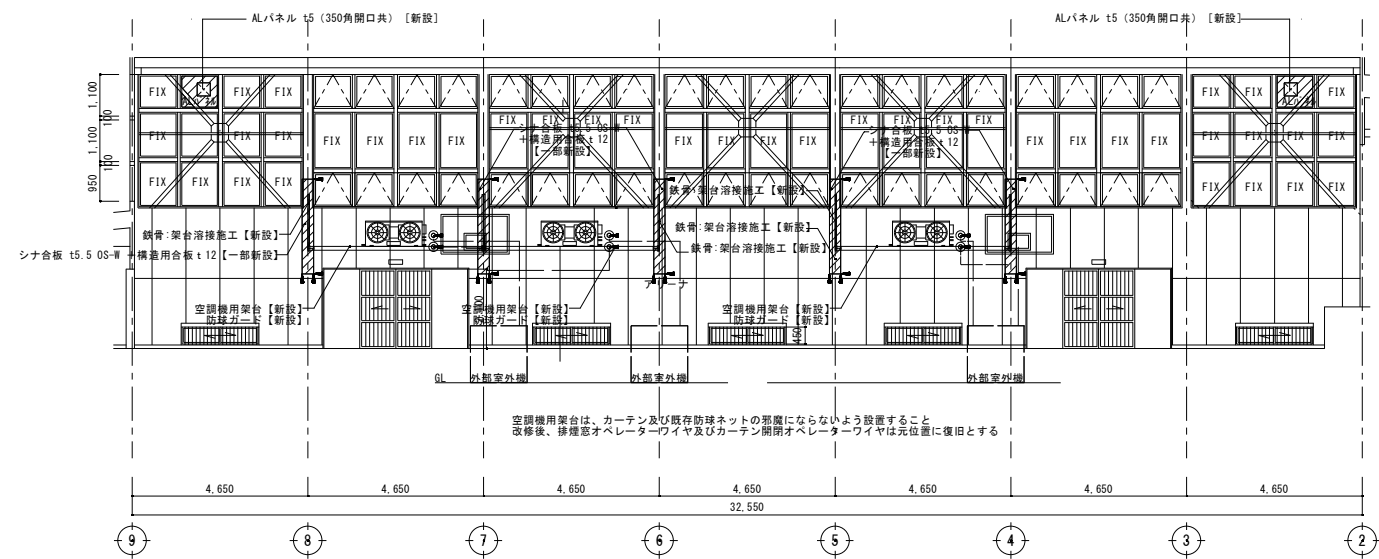
室名	アリーナ
床	ブナフローリング t=18 ウレタン塗気硬化塗料仕上【既存のまま】
巾木	ラワンOS H=100【既存のまま】
壁	ラワン合板 t=12.5.5 OS【既存のまま】 シナ合板 t5.5 OS-W +構造用合板 t12【一部新設】
天井	木毛板 t=25 アラウシ【既存のまま】 継手ジョイナー取付【既存のまま】
備考	カーテンボックス【既存のまま】 移動式階段・床下改メロ【既存のまま】



A

改修後

アリーナ展開図 S=1/100



C

凡例

■■■■ 改修範囲

→ 壁：塩ビ回り縁【新設】

⊙ スリーブ、止水【機械工事】

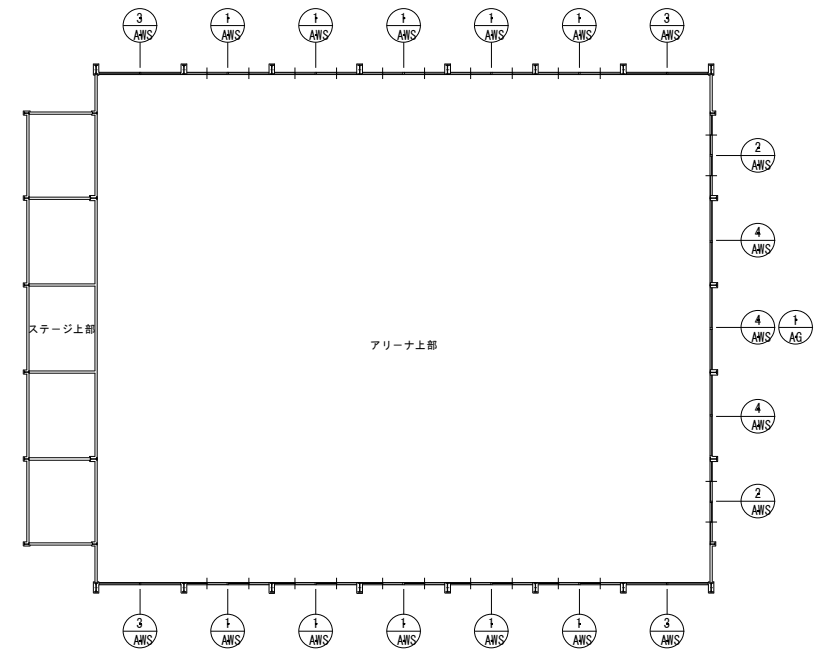
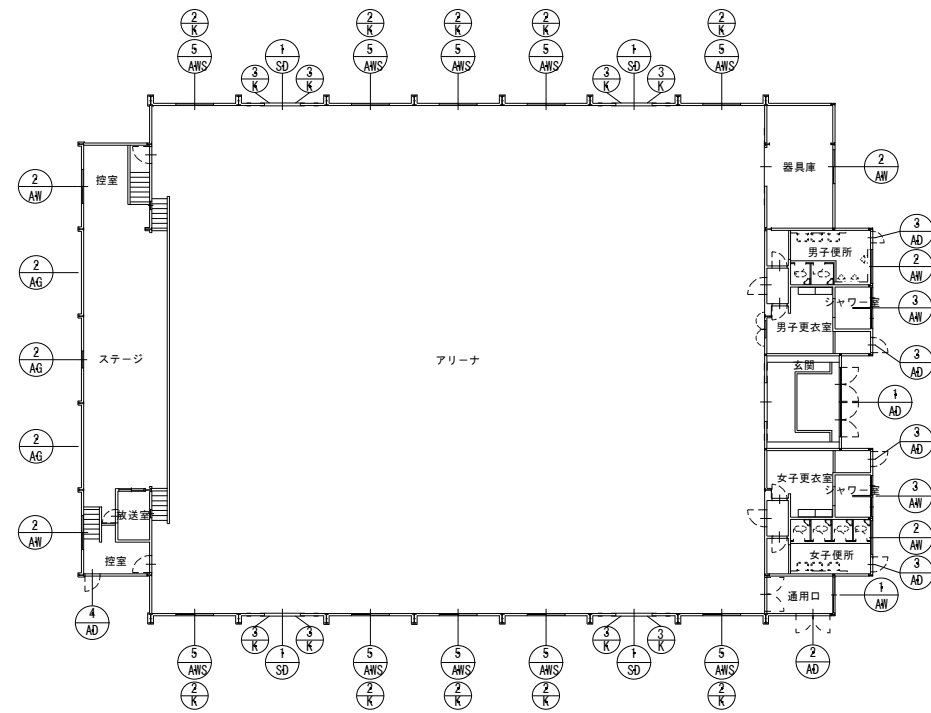
※建具ガラス面は全て遮熱ガラスフィルム貼り

訂正	
備考	

春日部市学校教育
教育施設課

工事名称	中学校等避難所空調設備設置工事（大沼中学校）
図面名称	アリーナ展開図（改修前・改修後）

図面番号	A-06
縮尺	A1:1/100 A3:1/200

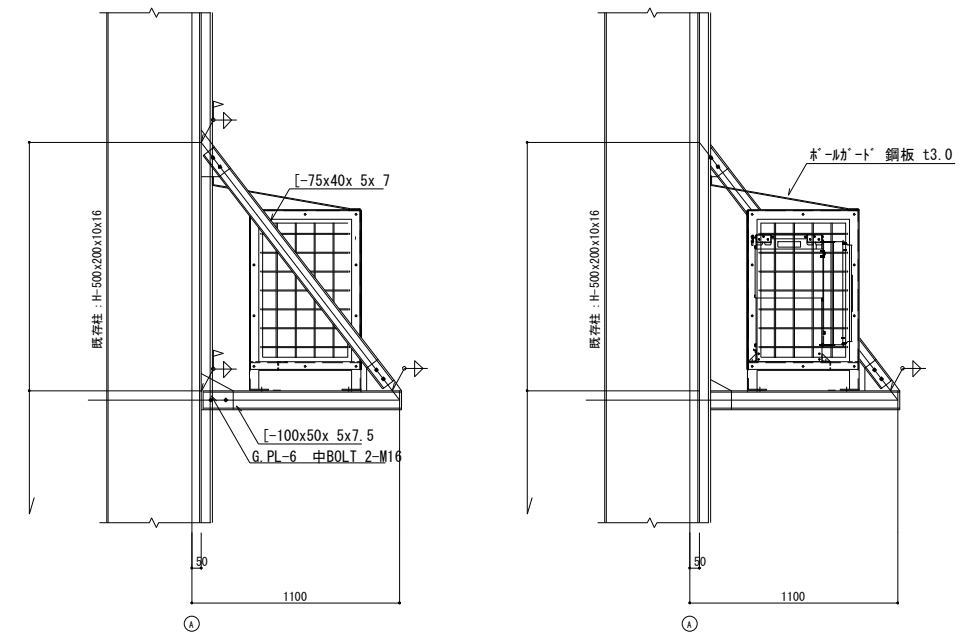
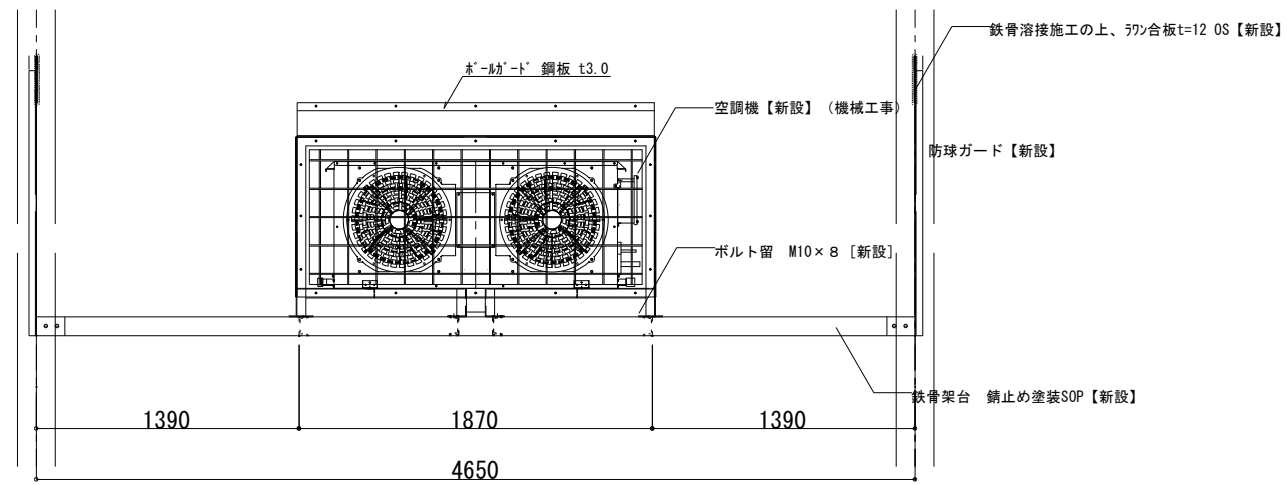
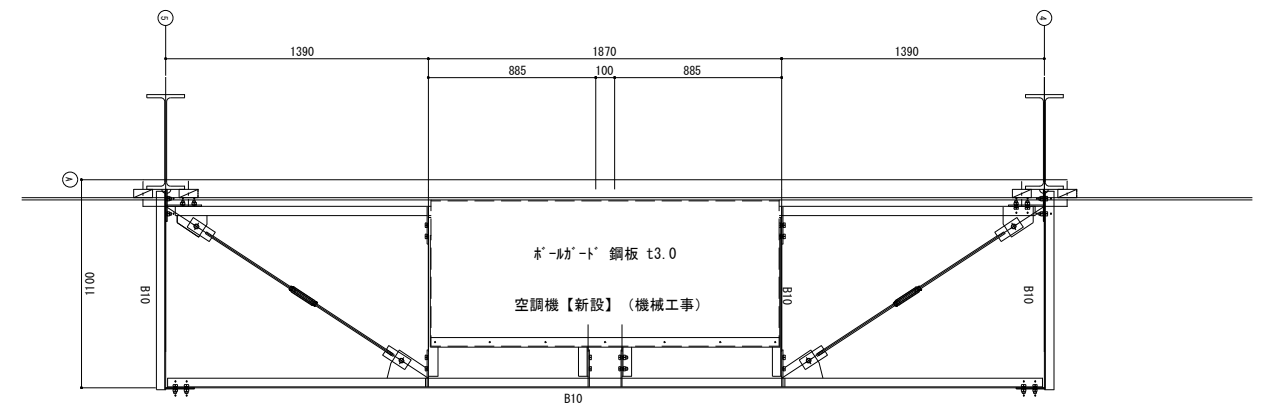
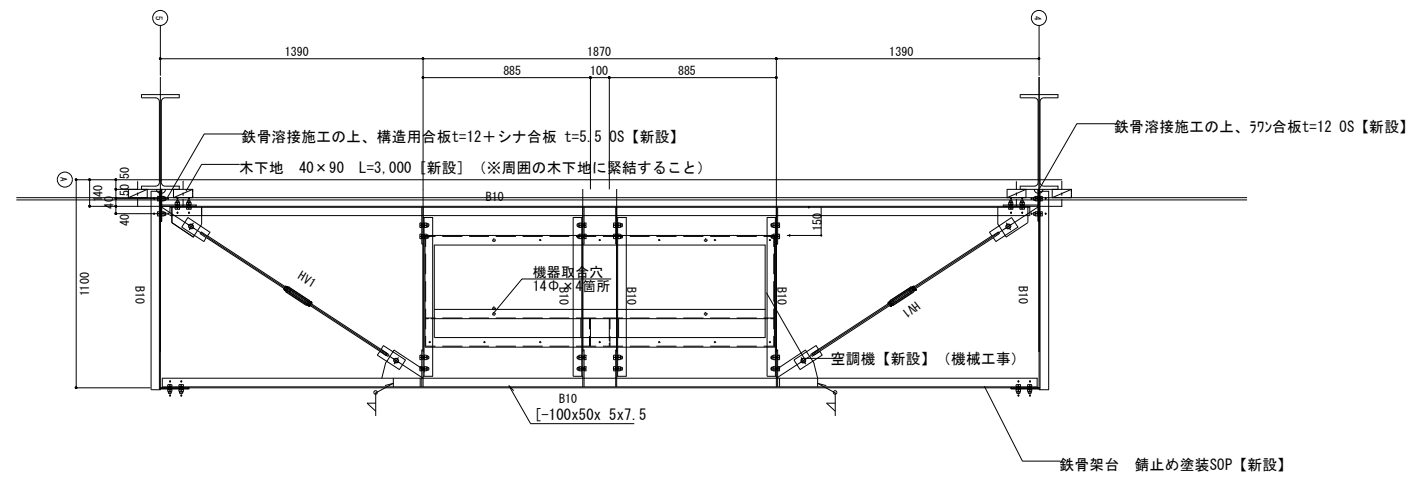


キープラン平面図 S=1/200

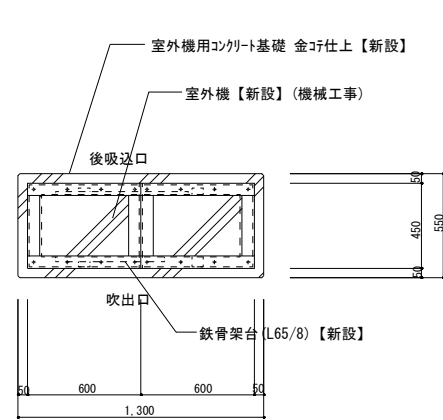
建具姿図 S=1/100

記号数量	① AD 1	② AD 1	③ AD 4	④ AD 1	① AW 1	② AW 5	③ AW 2	① SD 4
種別方式	アルミ製2連両開きドア	アルミ製両開きドア	アルミ製片開きドア	アルミ製片開きドア	アルミ製引違い窓	アルミ製引違い窓	アルミ製内倒し窓	スチール製ハンガードア
形状寸法	ガラス : ST5 ①: クリーニング、全面飛散防止フィルム貼【新設】	ランマガラス : FL3 扉ガラス : 網入6.8 ②: クリーニング、全面飛散防止フィルム貼【新設】	ランマガラス : ST6 扉ガラス : 型板ST4 ③: クリーニング、全面飛散防止フィルム貼【新設】	ガラス : 型ST6 ④: クリーニング、全面飛散防止フィルム貼【新設】	ガラス : 型ST6 ①: クリーニング、全面飛散防止フィルム貼【新設】	ガラス : 型板ST4 ②: クリーニング、全面飛散防止フィルム貼【新設】	ガラス : FL4 ③: クリーニング、全面飛散防止フィルム貼【新設】	
記号数量	① AMS 10	② AMS 2	③ AMS 4	④ AMS 3	⑤ AMS 10	① AG 1	② AG 3	② K 10
種別方式	アルミ製中段F1X突き出し連窓	アルミ製中段F1X突き出し連窓	アルミ製ハメコロシ窓	アルミ製ハメコロシ窓	スチール製引違い窓	アルミ製換気ガラリ	アルミ製換気ガラリ	スチール製床下換気孔
形状寸法	ガラス : FL4 ①: クリーニング、全面飛散防止フィルム貼【新設】 オペレーターワイヤ板移植後復旧	ガラス : FL4 ②: クリーニング、全面飛散防止フィルム貼【新設】	ガラス : FL4 ③: クリーニング、全面飛散防止フィルム貼【新設】 オペレーターワイヤ板移植後復旧 350角開口共 ALn 44 t5 はアリーナ全体で4箇所	ガラス : FL4 ④: クリーニング、全面飛散防止フィルム貼【新設】	ガラス : 型ST5 ⑤: クリーニング、全面飛散防止フィルム貼【新設】			

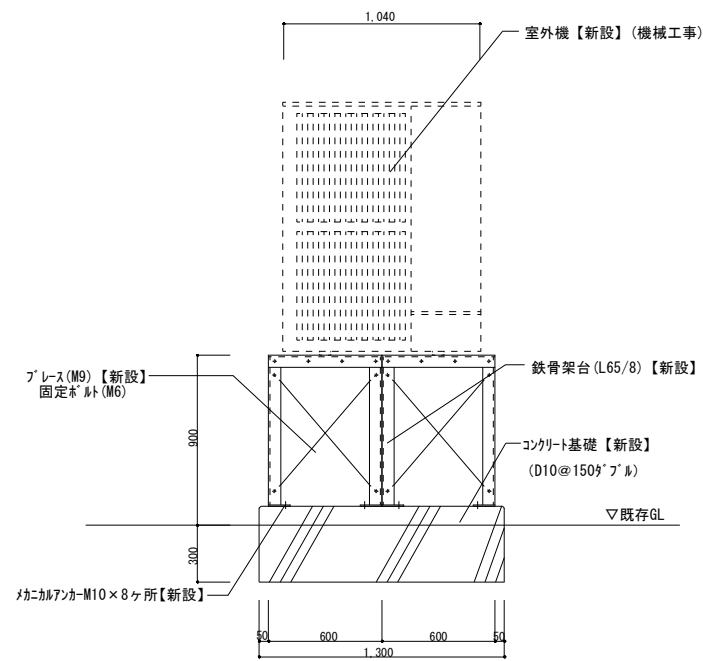
空調機鉄骨架台詳細図



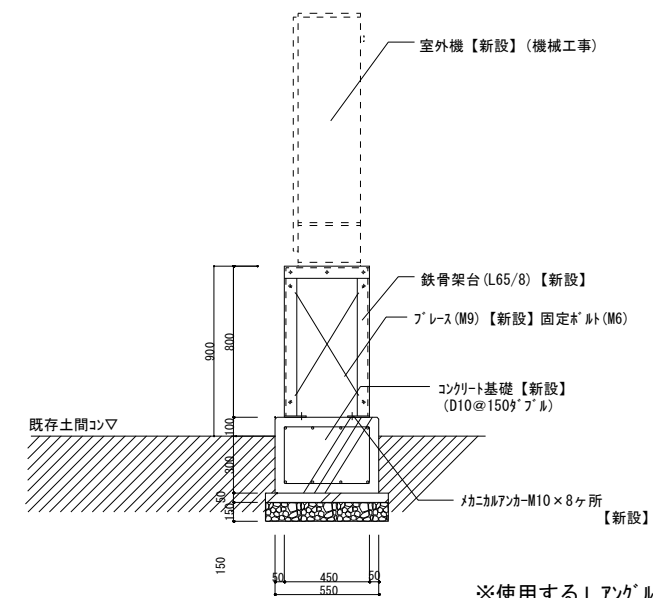
室外機廻り、コンクリート基礎・室外機用メッシュフェンス詳細図



平面図



正面図



側面図

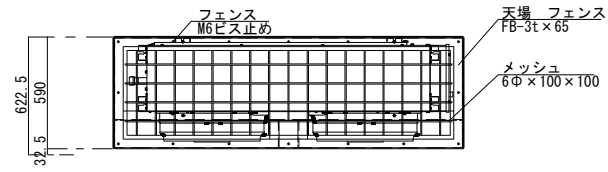
※使用する Lアングル・ブレースは溶融亜鉛メッキ塗装とする
コンクリート基礎は面取り仕上げとする

備考					

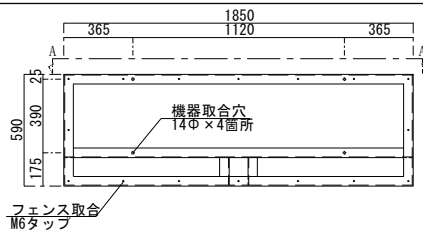
春日部市 学校教育
教育施設課

工事名称 中学校等避難所空調設備設置工事 (大沼中学校)
図面名称 空調機屋内機、屋外機架台・基礎詳細図

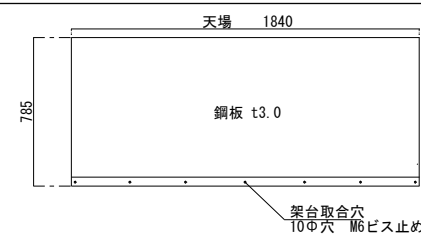
図面番号 A-08
縮尺 A1:1/20
A3:1/40



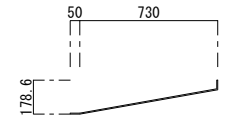
平面図



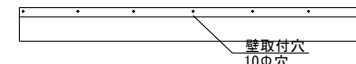
架台下部架構図



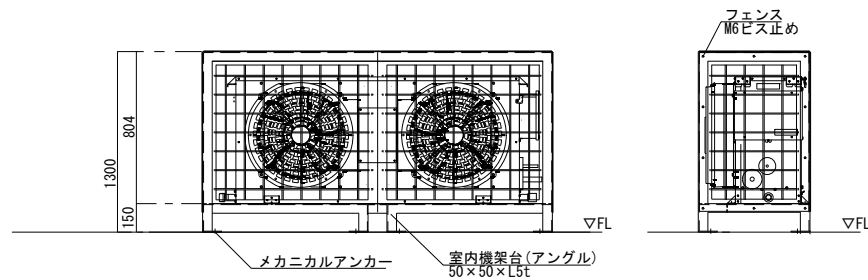
ホ-ルガード平面図



ホ-ルガード側面図

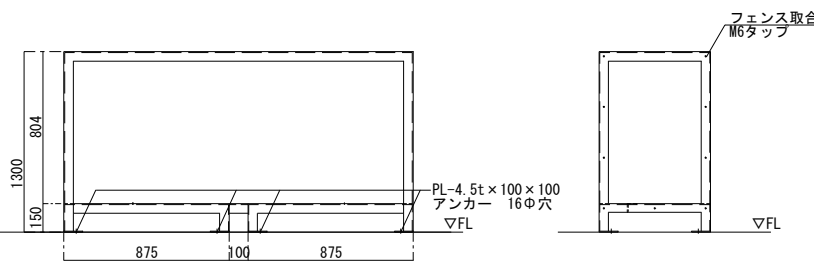


ホ-ルガード正面図



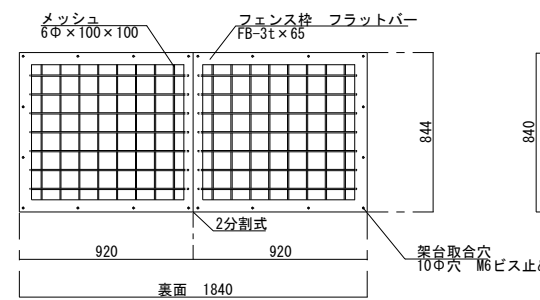
正面図

右側面図

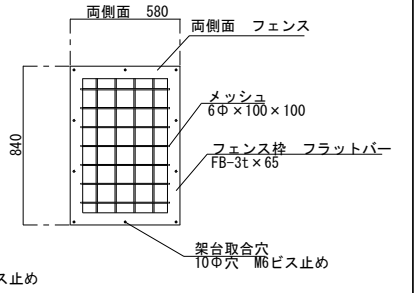


架台正面架構図

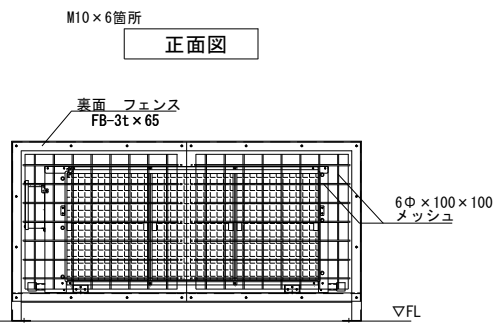
架台側面架構図



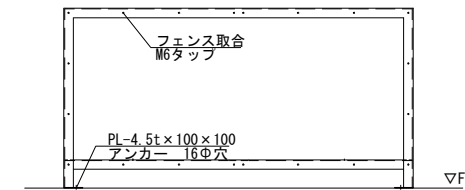
防球ガード正面図



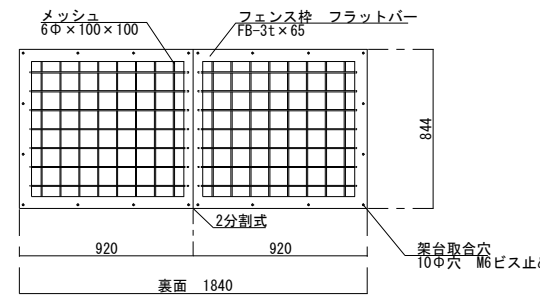
防球ガード側面図



背面図



架台背面架構図



防球ガード正面図

空調室内機・架台図姿図

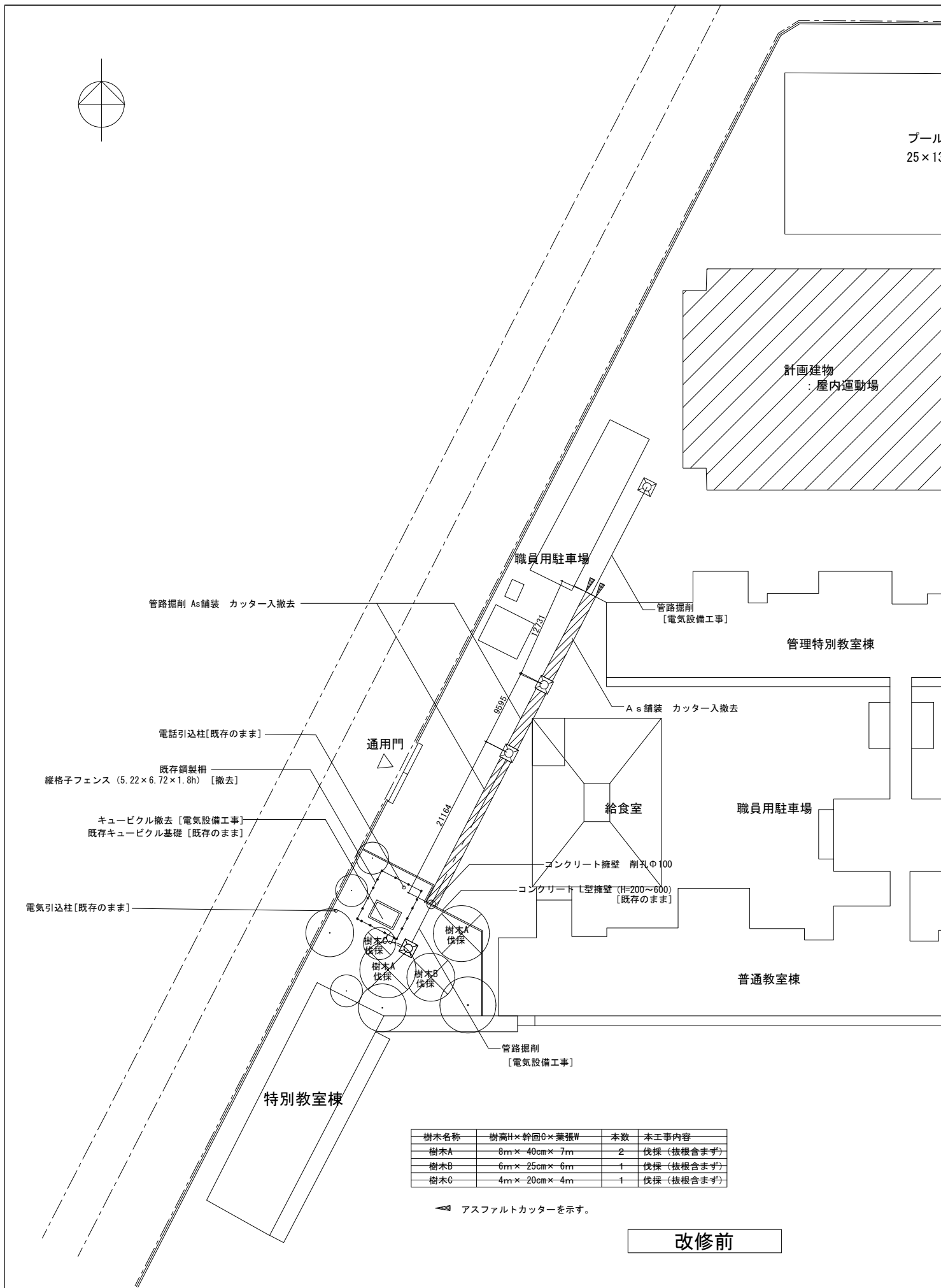
空調室内機 架台詳細図

空調室外機 防球フェンスメッシュ詳細図

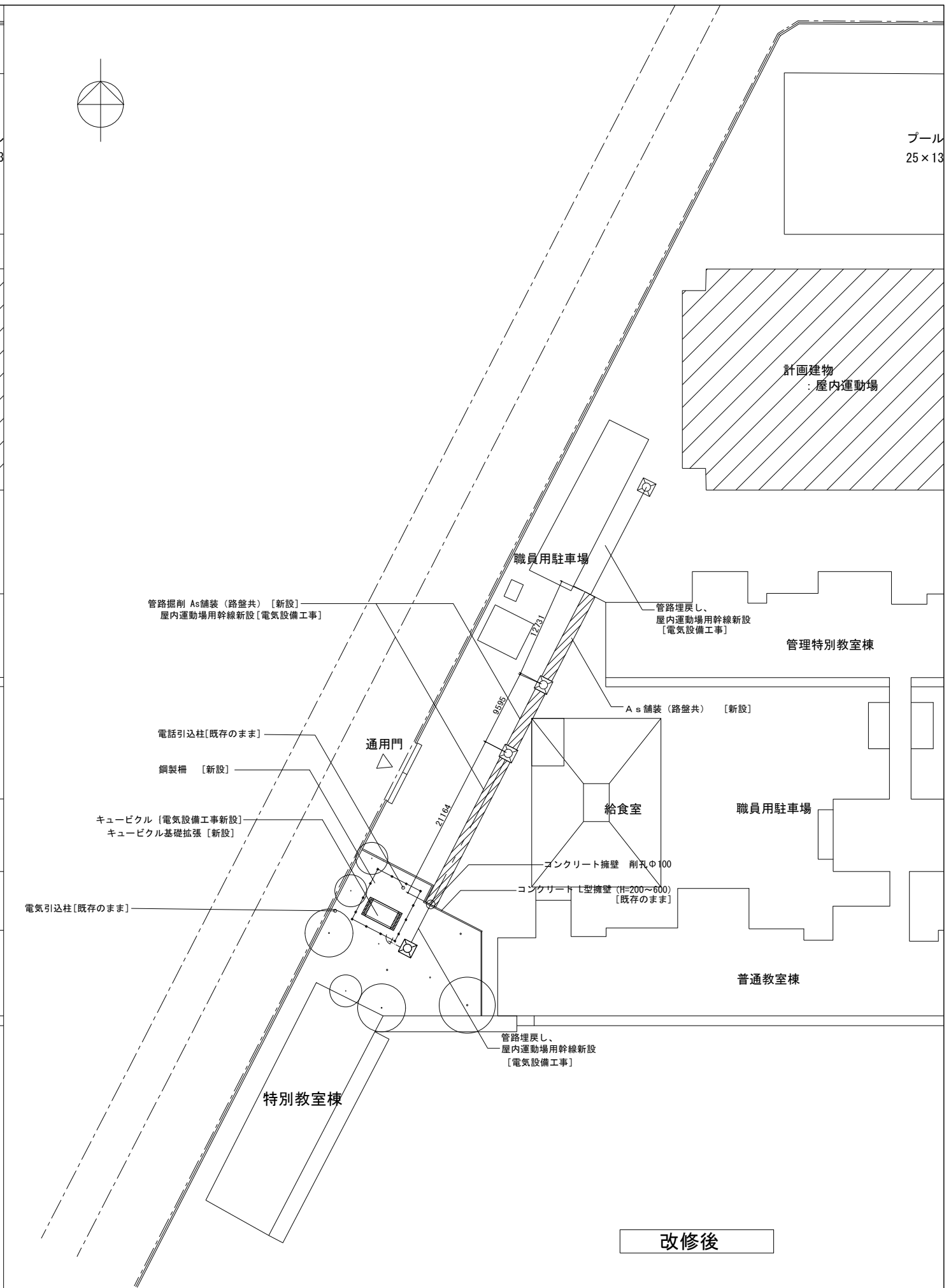
訂正	備考

春日部市 学校教育課
教育施設課

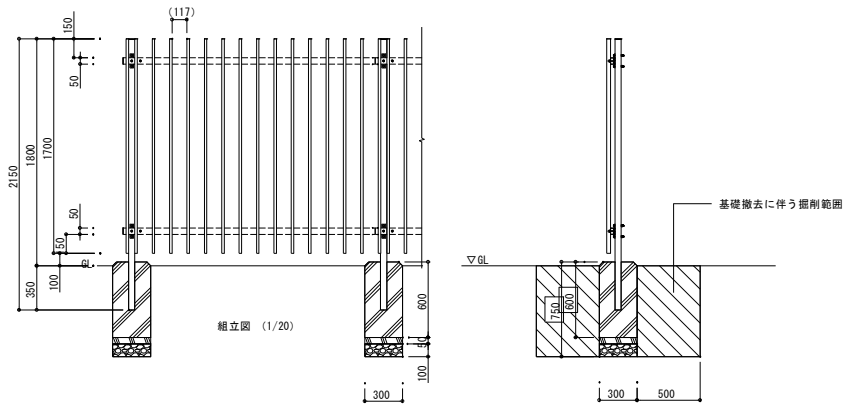
工事名称 中学校等避難所空調設備設置工事(大沼中学校)	図面名称 空調機防球ガード、架台詳細図	縮尺 A1: 1/20 A3: 1/40	図面番号 A-09
--------------------------------	------------------------	----------------------------	--------------



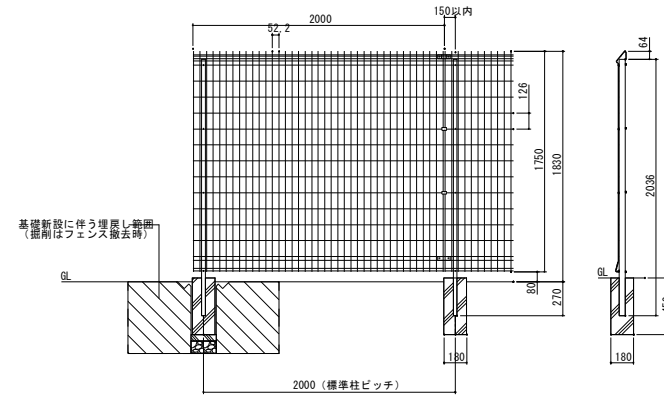
改修前



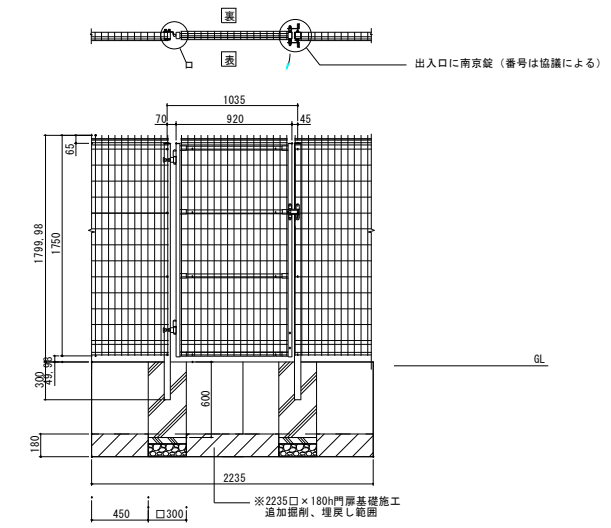
改修後



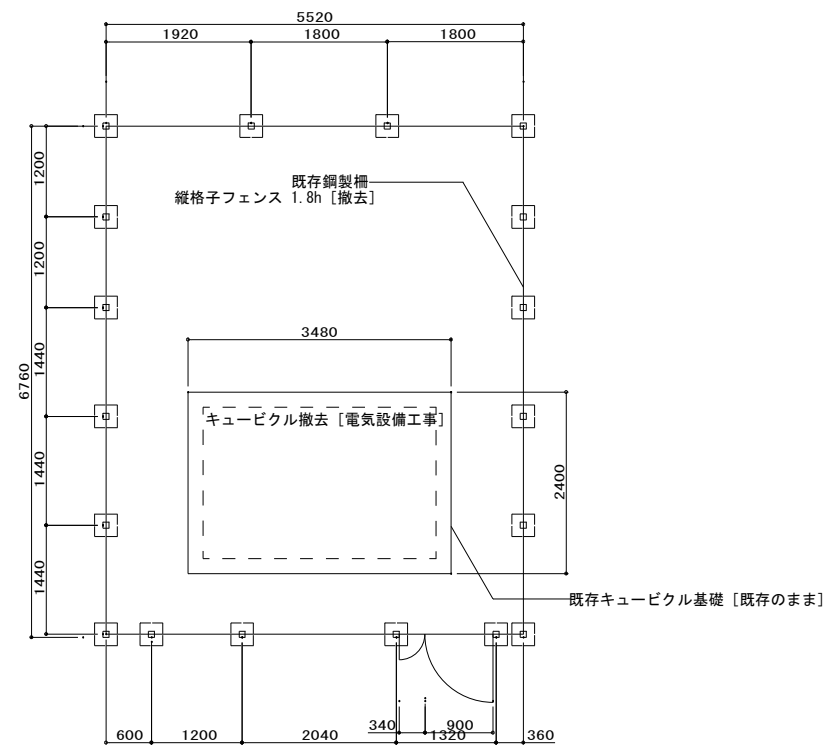
撤去キュービクルフェンス詳細図 S=1/30 (A1)



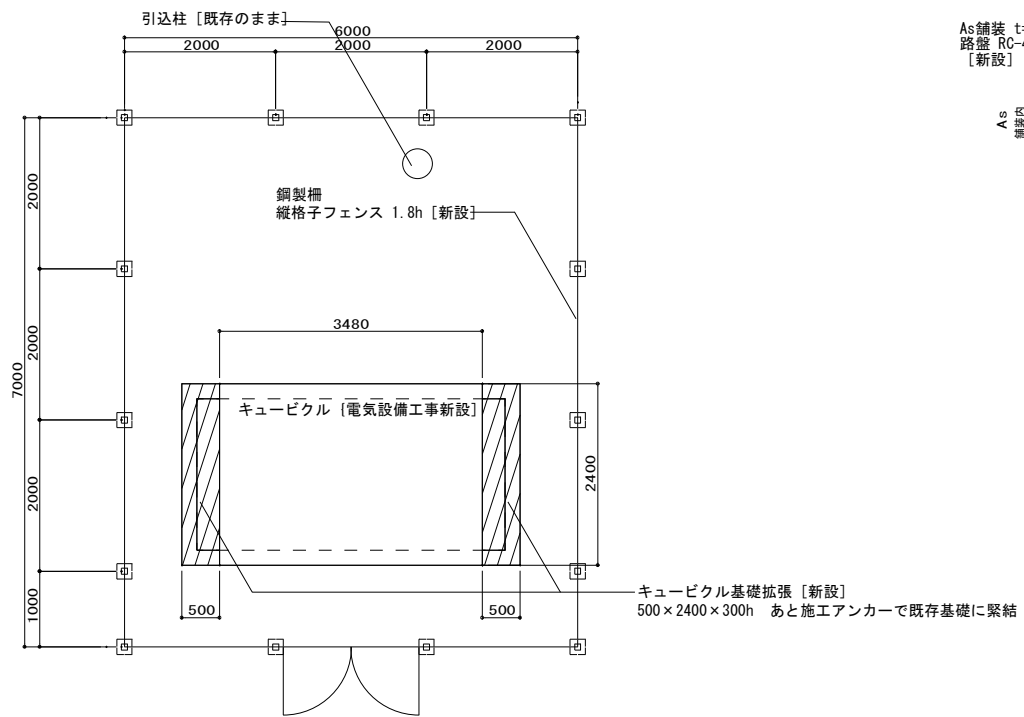
新設キュービクルフェンス詳細図 S=1/30 (A1)



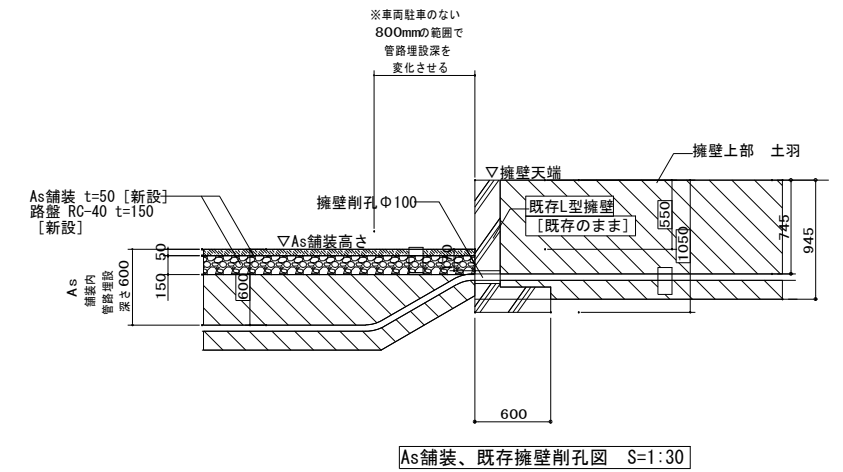
新設キュービクルフェンス門扉詳細図 S=1/30 (A1)



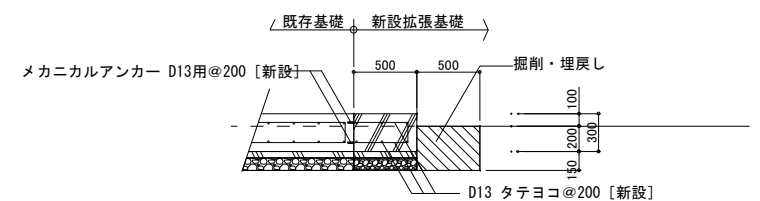
撤去キュービクルフェンス平面図 S=1/50 (A1)



新設キュービクルフェンス平面図 S=1/50 (A1)



As舗装、既存擁壁削孔図 S=1:30

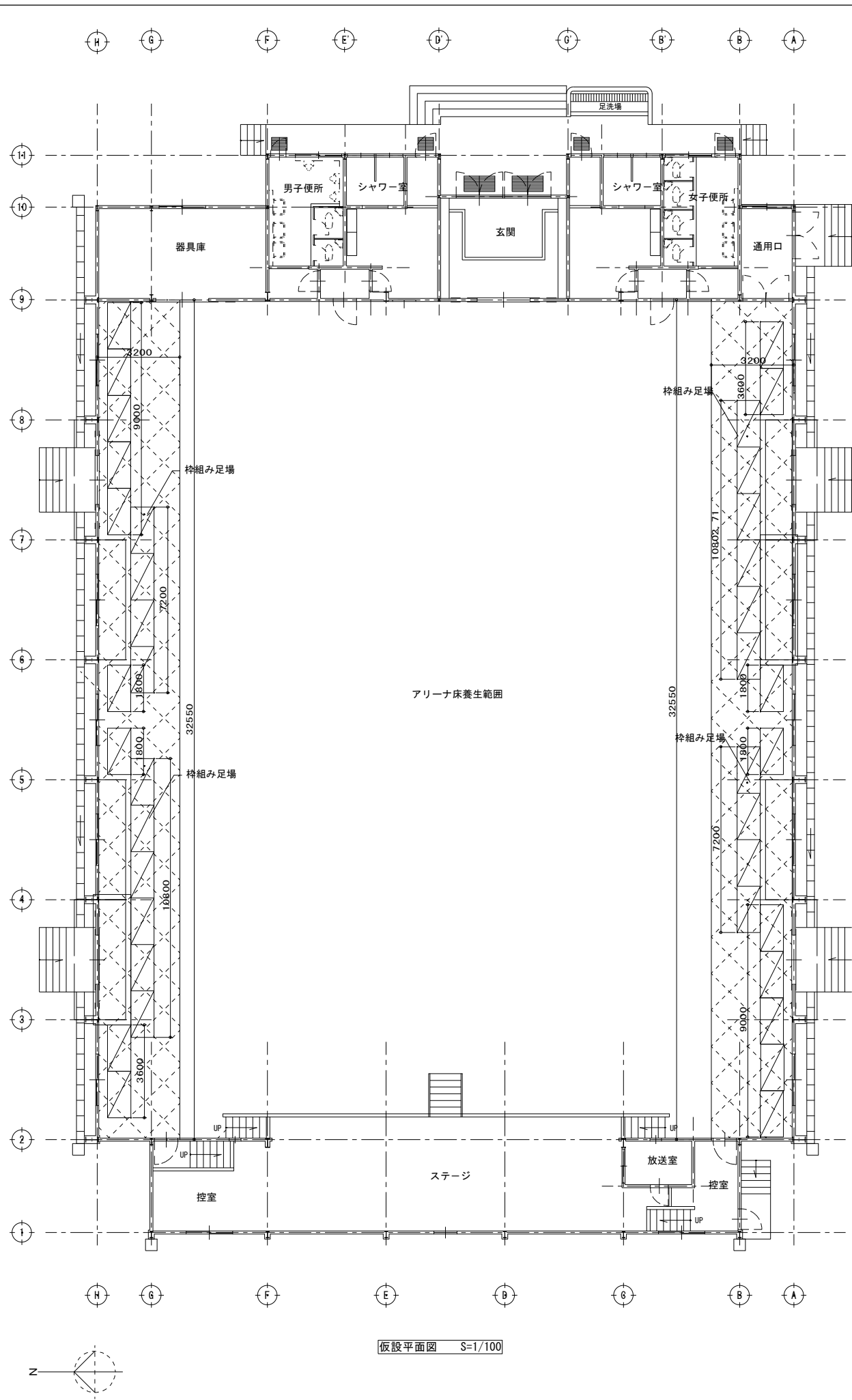


キュービクル基礎拡張詳細図 S=1/30 (A1)

訂正							

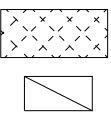
春日部市学校教育 教育部
教育施設課

工事名称	中学校等避難所空調設備設置工事 (大沼中学校)	図面番号	A - 11
図面名称	外構施設詳細図 (改修前・改修後)	縮尺	A1:1/30、1/50 A3:1/60、1/100

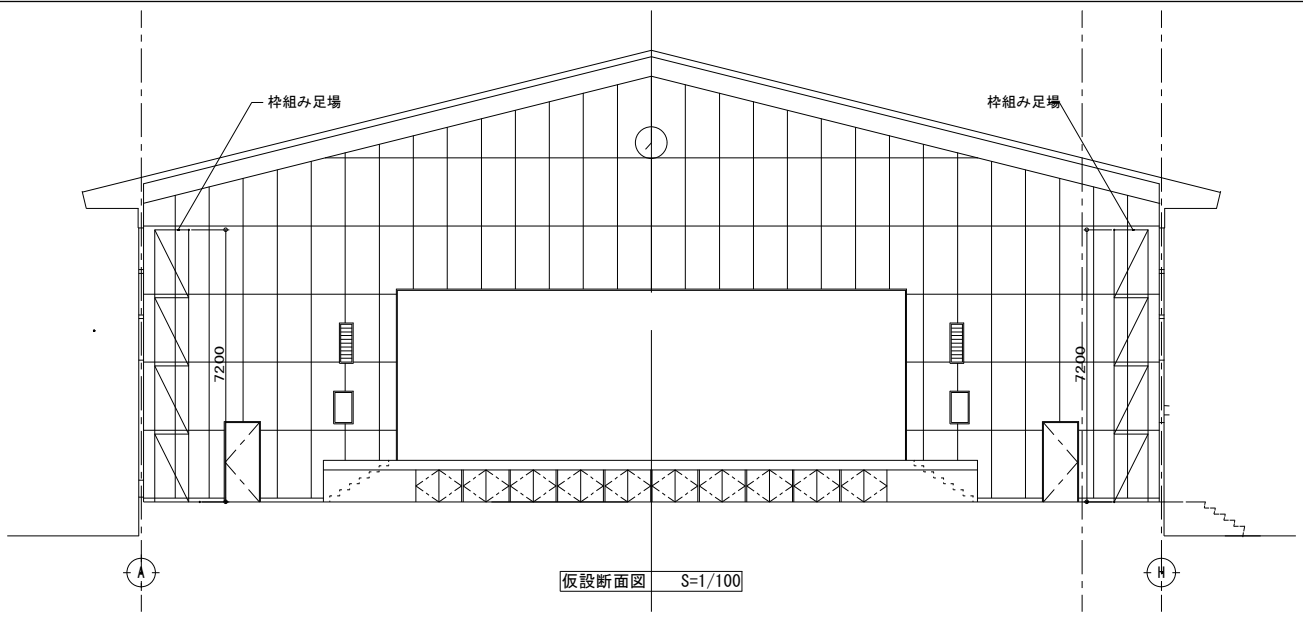


仮設平面図 S=1/100

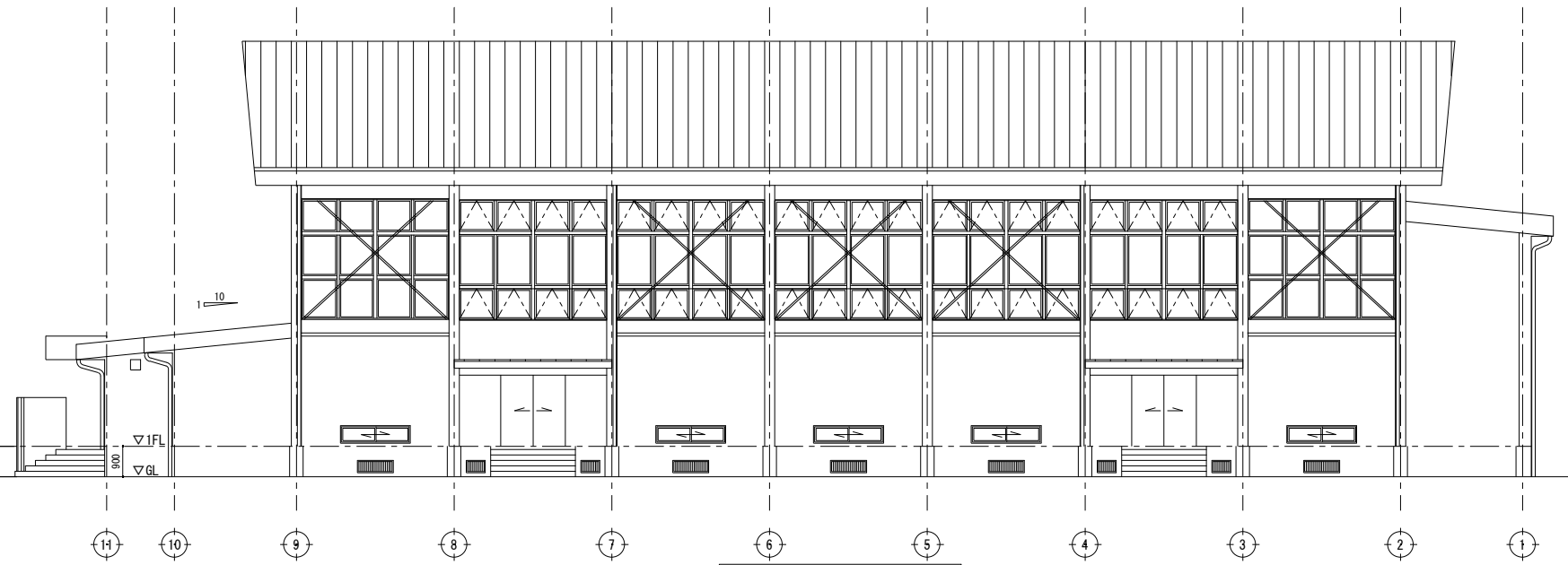
凡例



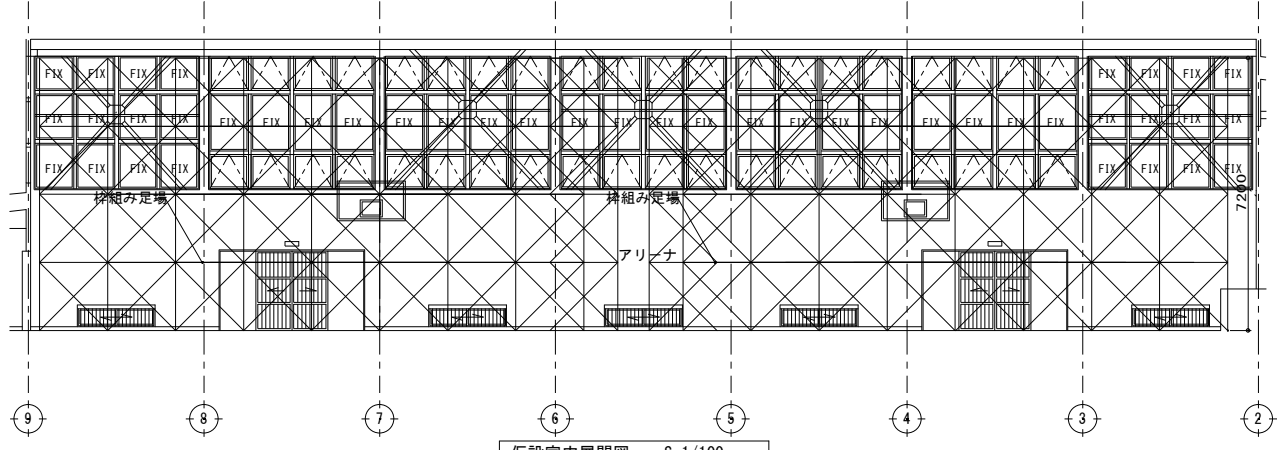
- アリーナ床養生範囲
- /// 枠組足場 (建地幅900) (養生メッシュシート付)



仮設断面図 S=1/100



仮設立面図 S=1/100



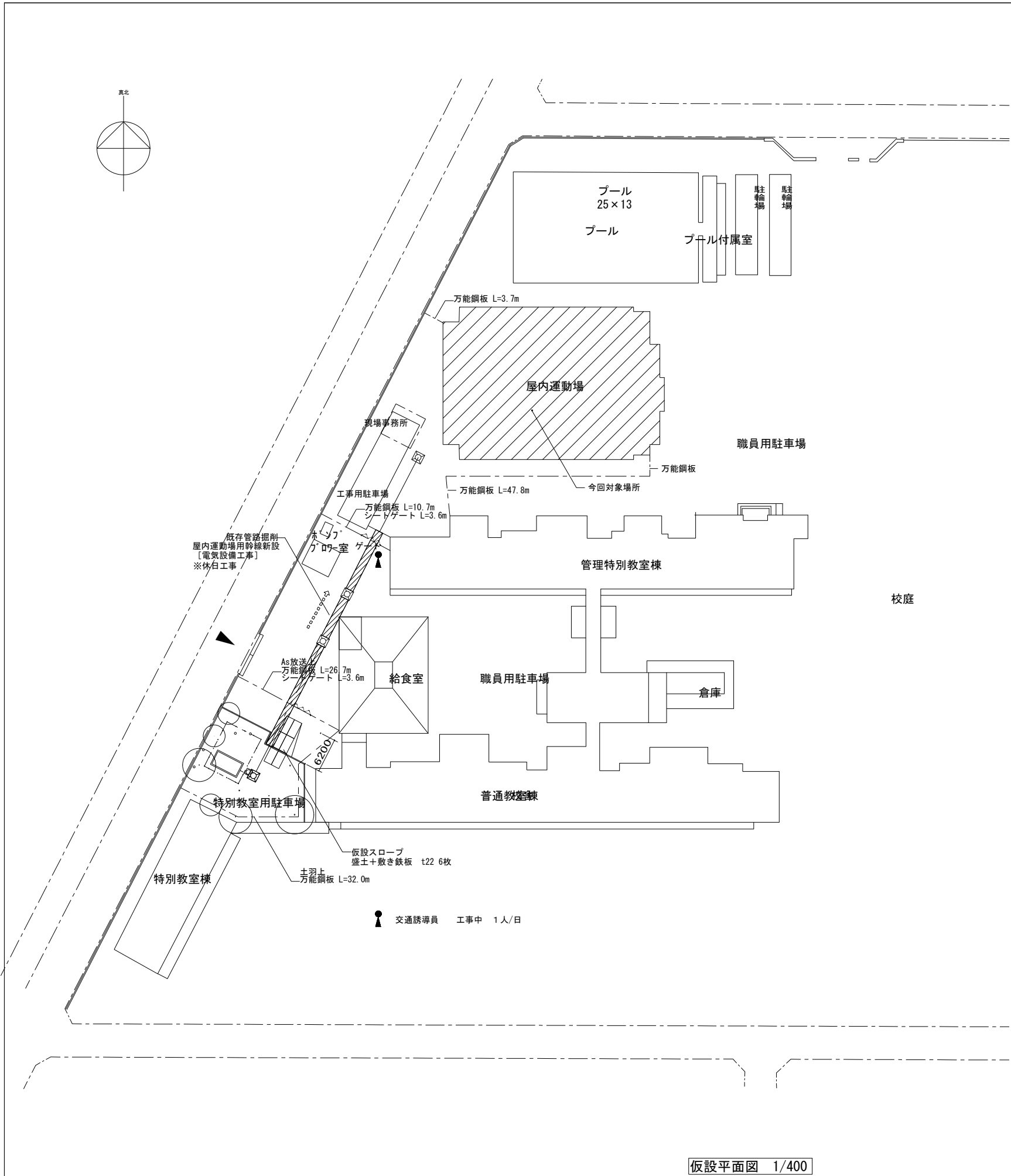
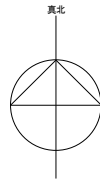
仮設室内展開図 S=1/100

訂正	備考

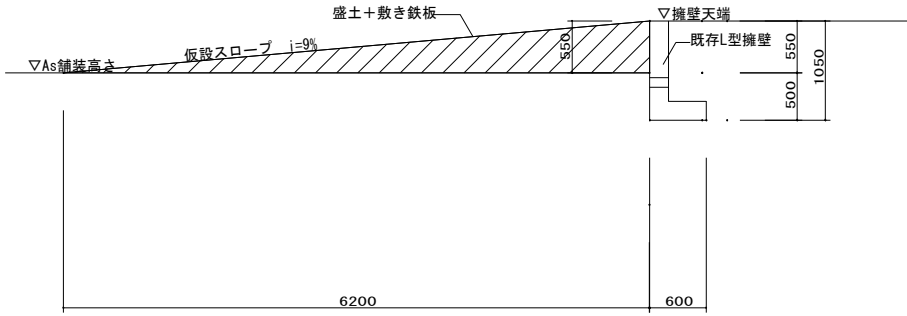
春日部市 学校教育委員会
教育施設課

工事名称 中学校等避難所空調設備設置工事(大沼中学校)
図面名称 建築仮設計画図

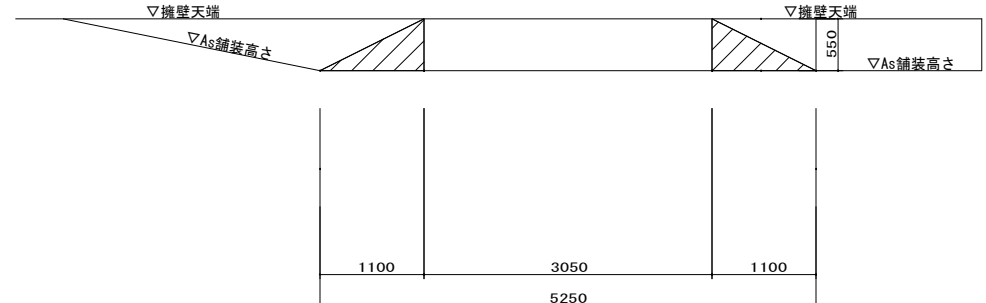
図面番号 A-12
縮尺 A1:1/100
A3:1/200



仮設平面図 1/400



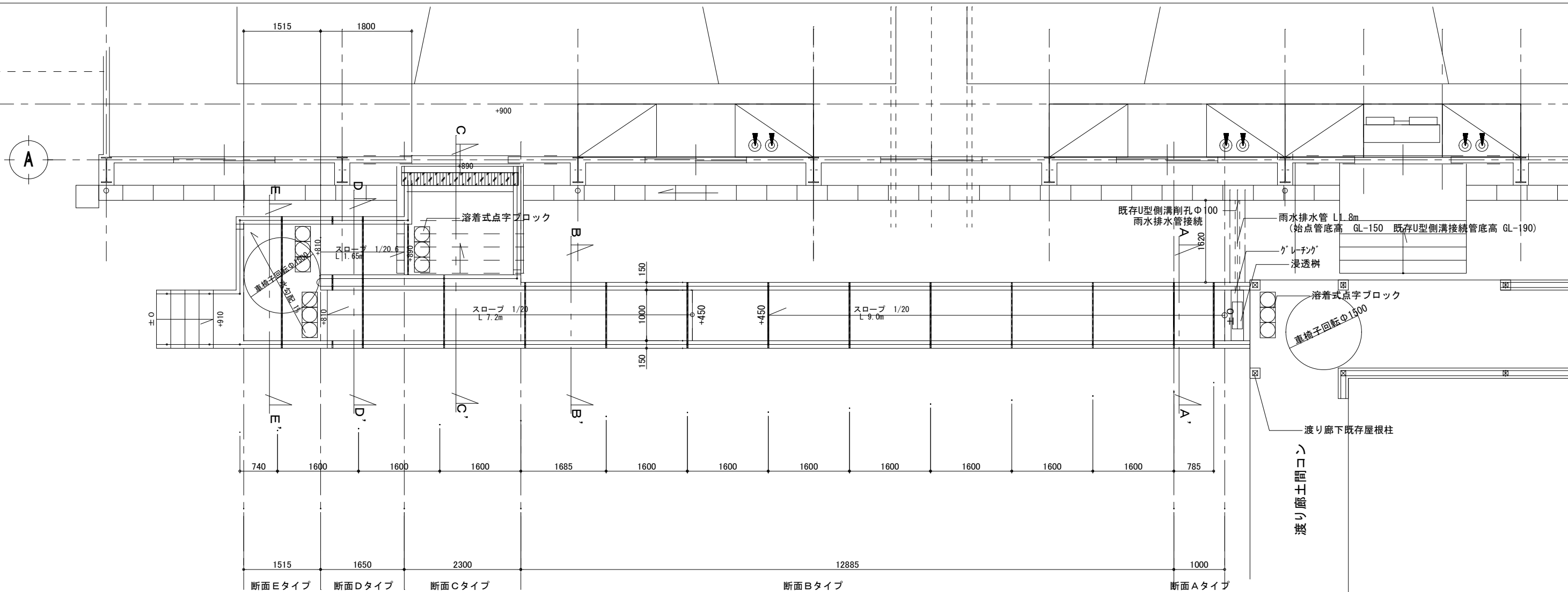
※盛土下にはブルーシートを敷き、As舗装を汚すことなく仮設養生すること
※仮設完了後の清掃を行うこと。
仮設スロープ側面図 S=1:40



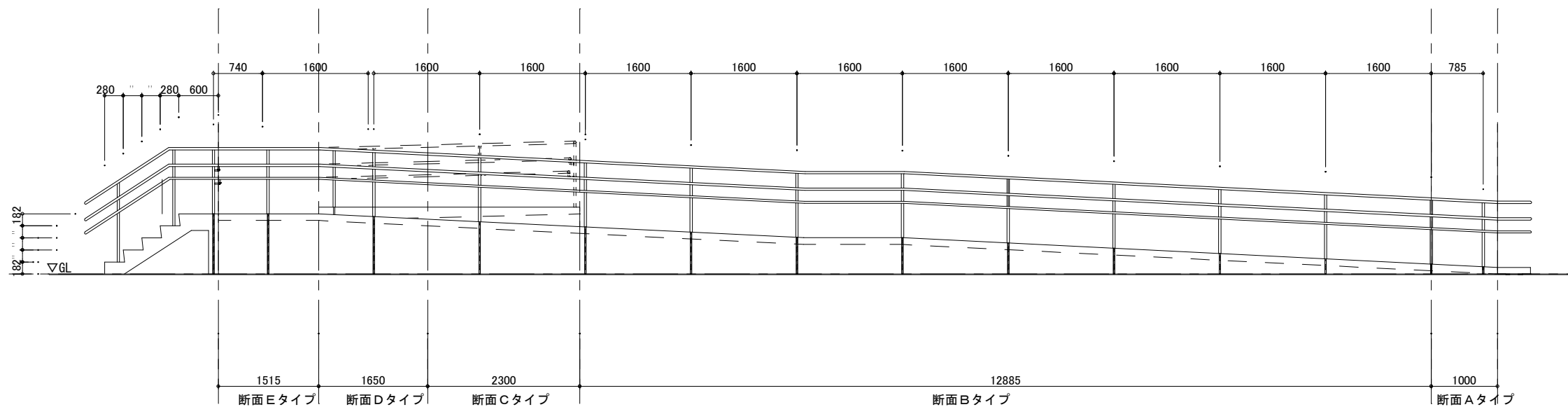
※盛土下にはブルーシートを敷き、As舗装を汚すことなく仮設養生すること
※仮設完了後の清掃を行うこと。
仮設スロープ正面図 S=1:40

凡例	
	正門 他 出入口
	改修工事建物を示す
	仮囲い ガードフェンス H=1.8m
	キャスターゲート W3.6m×H2.0m
	資材搬入経路
	交通誘導員

- 特記
1. 工事開始前に、学校・監督員と仮設計画について協議をすること。
 2. 工事車両は、事前に台数・駐車位置・出入位置について、学校・監督員と打合せを行うこと。
 3. 工事開始前に、学校・監督員と協議を行い施設の運営や行事に関しては協力すること。
 4. 校舎から体育館アリーナへの利用者動線を確保すること。
 5. 立入禁止区域及び安全対策等について、適宜掲示を行うこと。
 6. 仮設材設置の為にアスファルト面に開けた孔はアスファルトにて充填復旧すること。
 7. 外構通路部分などの工事による汚れ等は、作業終了時に都度清掃を行うこと。



平面図



立面図

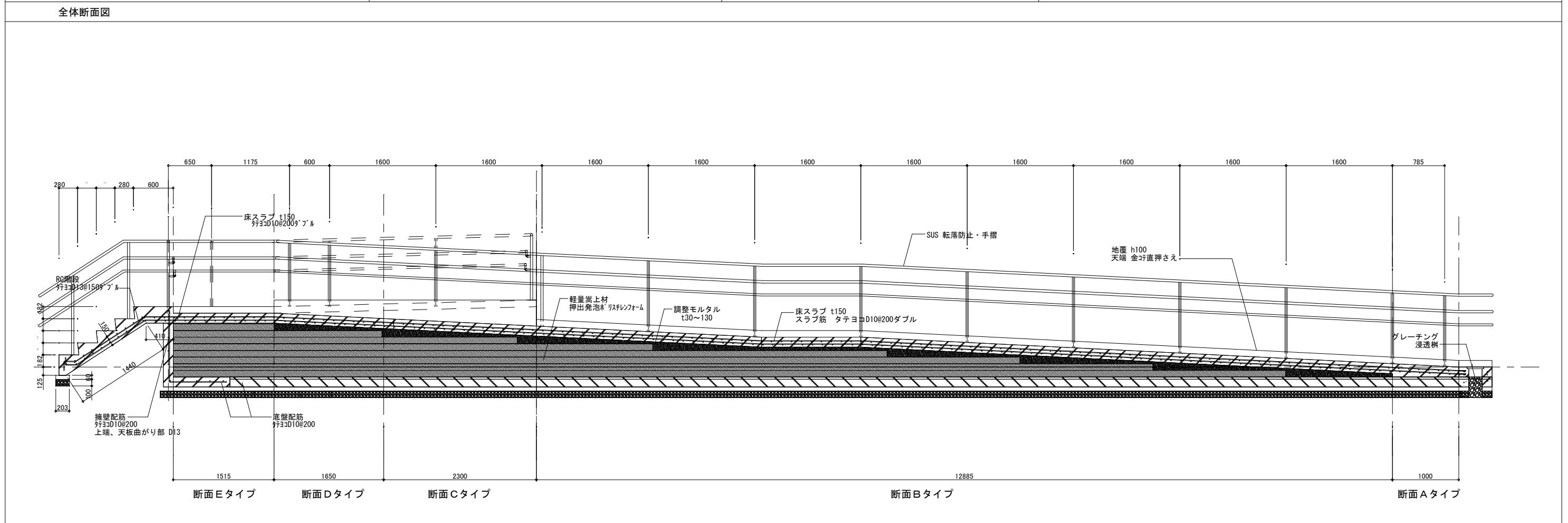
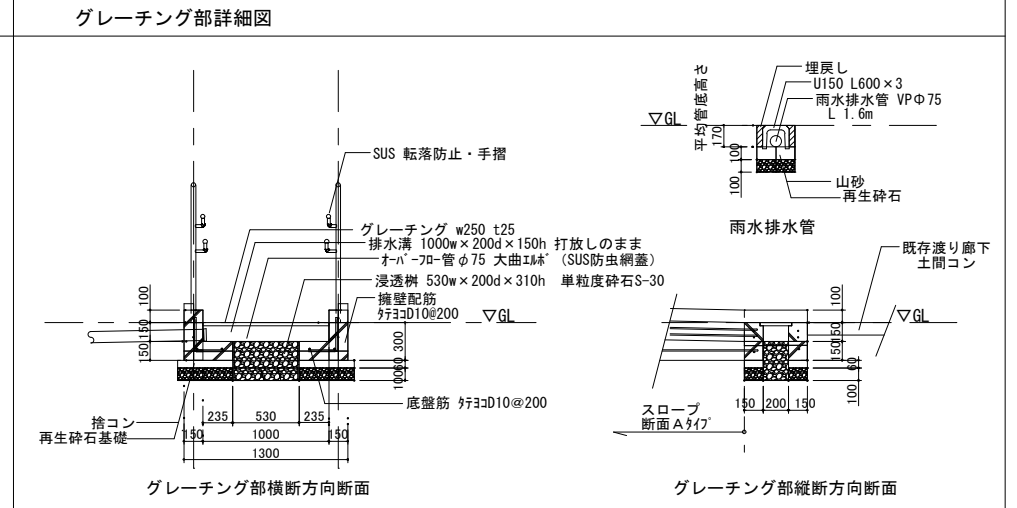
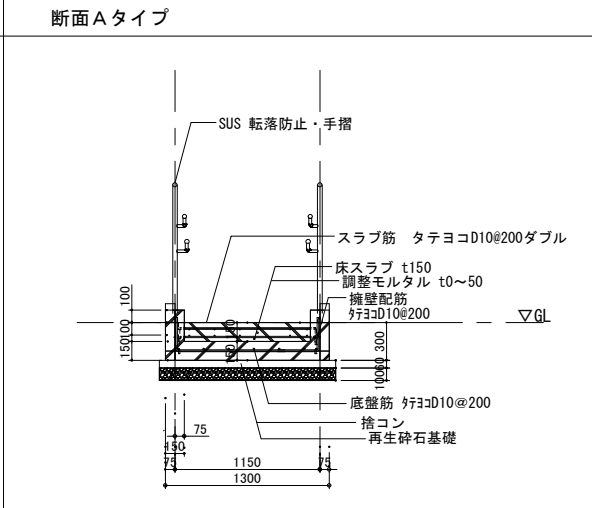
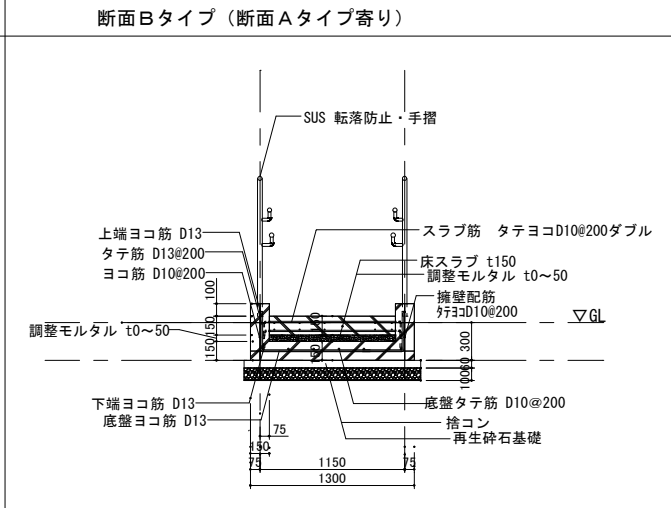
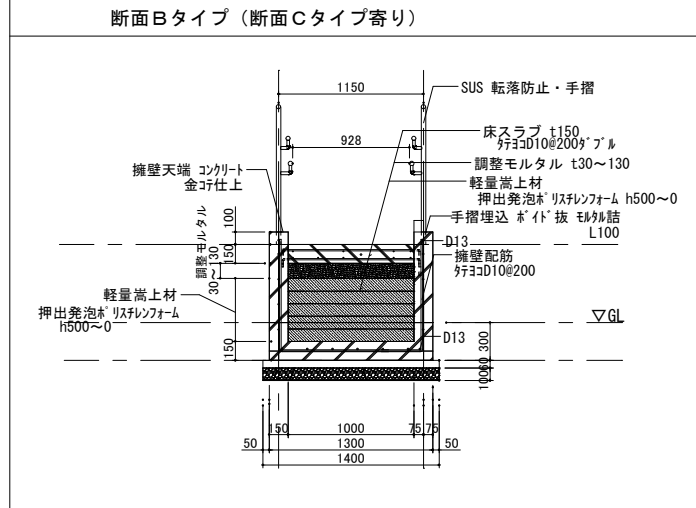
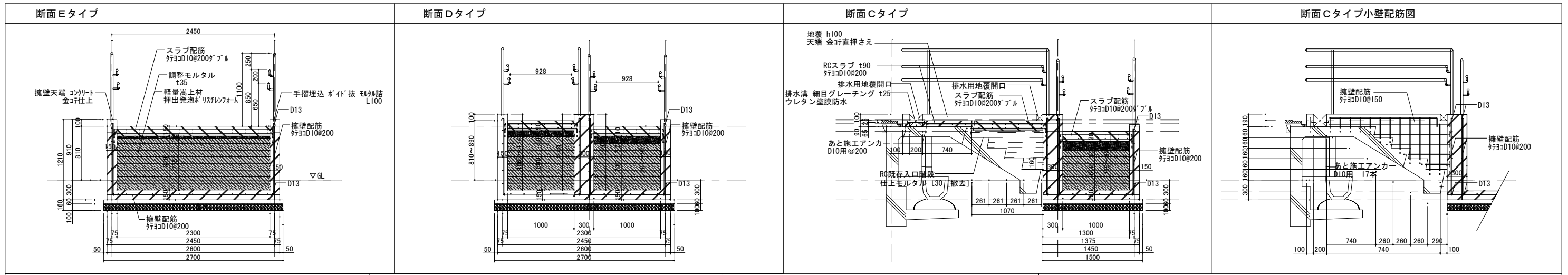
凡例、注記

- 誘発目地 PS-2 20×10
- 地覆表面はコンクリート直押さえ金コテ仕上とする。
- スロープ表面はコンクリート刷毛引き仕上とする。

訂正	備考

春日部市学校教育
教育施設課

工事名称	中学校等避難所空調設備設置工事（大沼中学校）	図面番号	A - 14
図面名称	体育館スロープ新設計画平面図、立面図	縮尺	A1:1/40 A3:1/80



鉄骨構造標準図 (1)

※修正箇所は下線を引くこと

1. 一般事項

(1) 材料及び検査

- (a) 構造設計仕様による
- (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
但し、ベースプレートの厚さは除く
- (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法・精度及びその他の結果を添付する

(2) 工作一般

- (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
- (b) 鋼管部材の分岐継手の相貫切断は、鋼管自動切断機による
- (c) 高張力鋼のひずみきょう正は、冷間矯正とする

(3) 高力ボルト接合

- (a) 本総めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてならない
- (b) 高力ボルトの摩擦面の処理は黒皮などを産金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した赤さび状態であること。但し、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面荒さが、 $50\mu\text{mRz}$ 以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。
- (c) 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分に密着するよう注意して行う。

(4) 溶接接合

- (a) 平成12年建設省告示第1464号第二号イ、ロによる、溶接部の性能、溶着金属の性能を満足すること。
- (b) 溶接技能者
溶接技能者は施工する溶接に適合する JIS Z3801 (手溶接) または JIS Z3841 (半自動溶接) の溶接技術検定試験に合格し引き続き、半年以上溶接に従事している者とする。

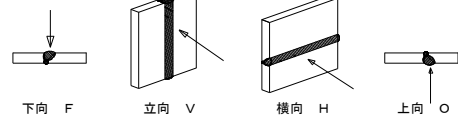
(c) 溶接機器

- (イ) 交流アーク溶接機 300A~500A
- (ロ) アークエアガウジング機 (直流)
- (ハ) サブマージアーク溶接機一式
- (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
- (ヒ) 溶接電流を測定する電流計
- (ヘ) 溶接棒乾燥機

(d) 溶接方法

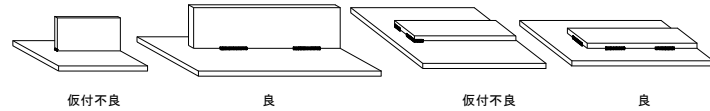
- アーク手溶接 (MC)
- セルフ (ノンガス) シールドアーク半自動溶接 (NGC)
- ガスシールドアーク半自動溶接 (GC)
- アークエアガウジング (AAG)

(e) 溶接姿勢

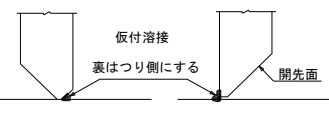


(f) 組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う

- (イ) 仮付け位置
組立て溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける

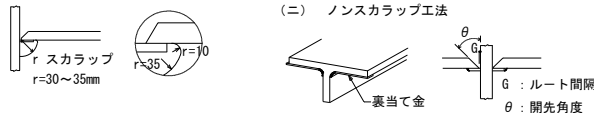


(ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



(e) 溶接施工

- (イ) エンドタブ
I 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタイプを取り付ける
II エンドタイプの材質は、母材と同質とする
III エンドタイプの長さは、MC: 35mm以上
NGC: 40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする
- IV プレス鋼板タブ、図形タブ使用のついでには、資料を提出して設計者、又は工事監理者の承認を得る
- (ロ) 裏当て金
材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上、巾は25mm以上を原則とする
但し、溶接性能が確認できれば監理者の承認を得て変更することができる
- (ハ) スカラップ半径は30~35mmと、10mmのダブルールとする
但し梁成がD=150mm未満の場合のスカラップはr=20mmとする



(ホ) 裏はつり

- 基準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を履行し、部材に確認マークをつける
- (ハ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆塗を塗布する。又、開先面をいためない様に養生を行う

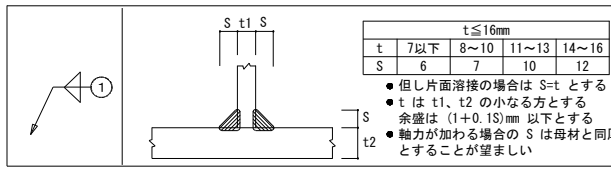
(5) 塗装

- コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

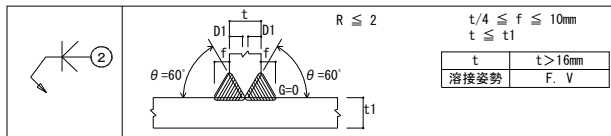
2. 溶接標準図

(注) f: 余盛 G: ルート間隔 R: フェース S: 脚長 (単位 mm)

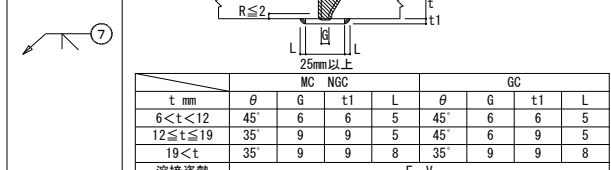
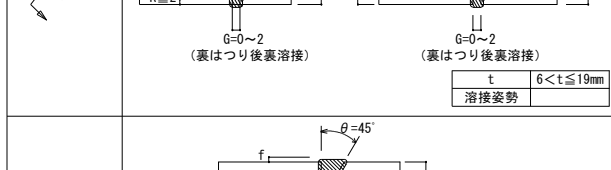
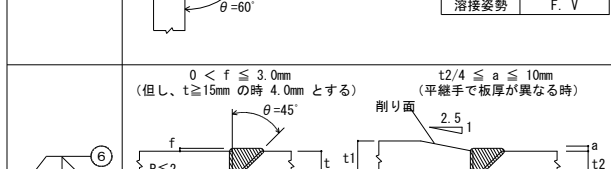
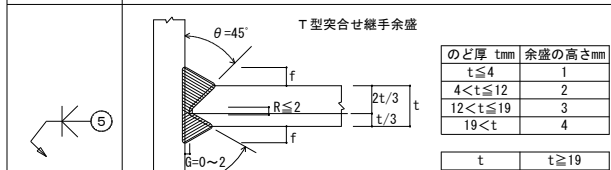
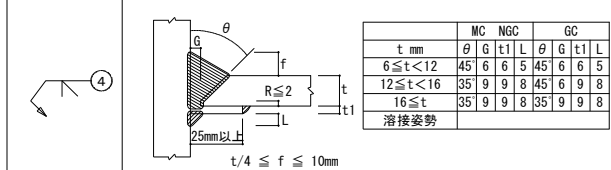
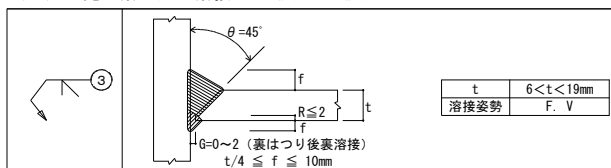
(1) 隅肉溶接



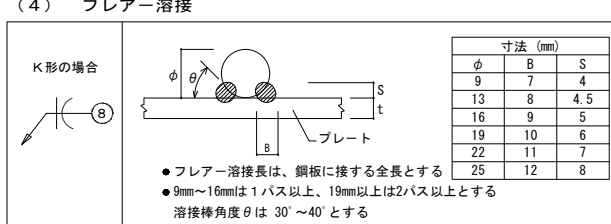
(2) 部分溶け込み溶接 (使用箇所に注意)



(3) 完全溶け込み溶接 (平継手 T型継手)

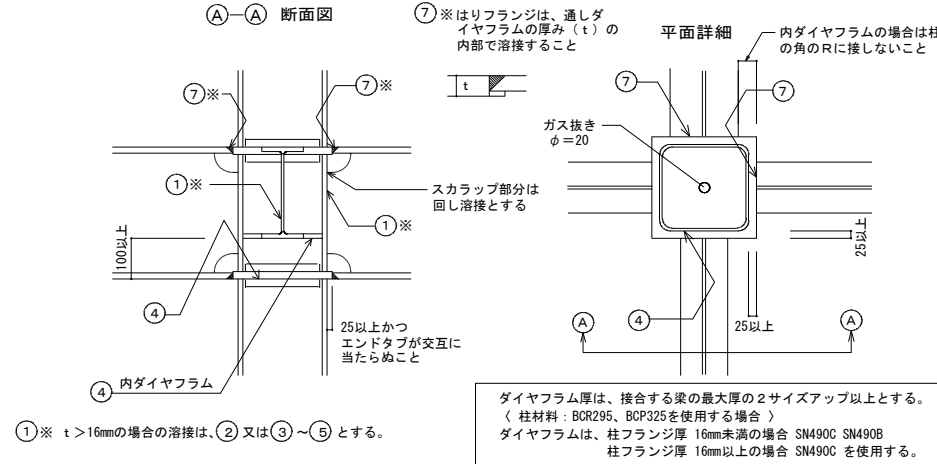
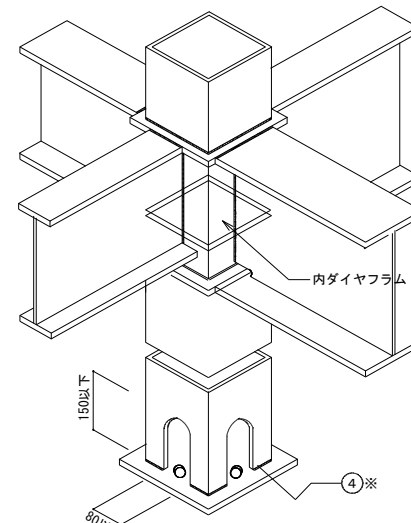


(4) フレア溶接



※ 溶接記号番号をO中に記入のこと

● BOX型 (通しダイヤフラムの場合)

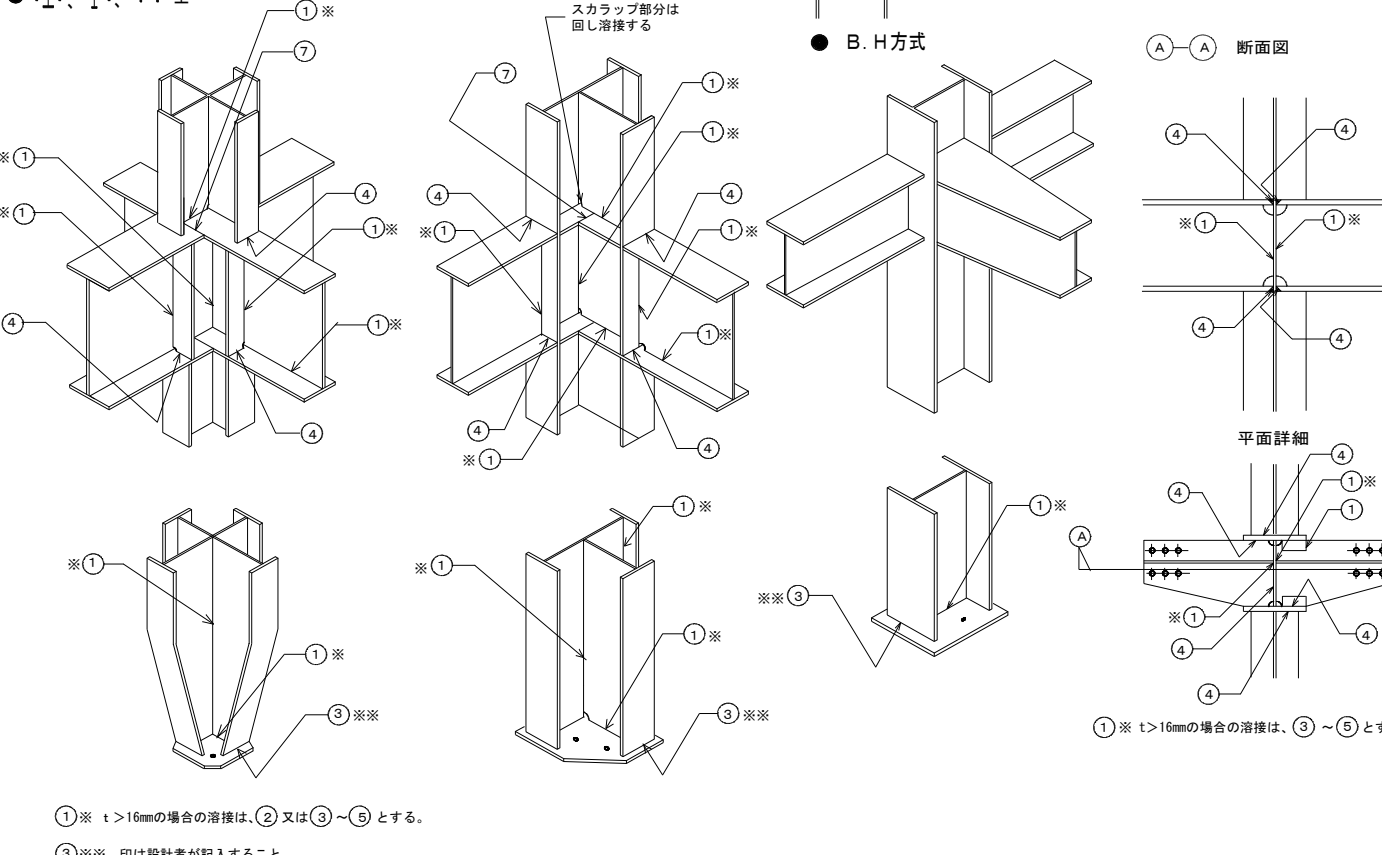


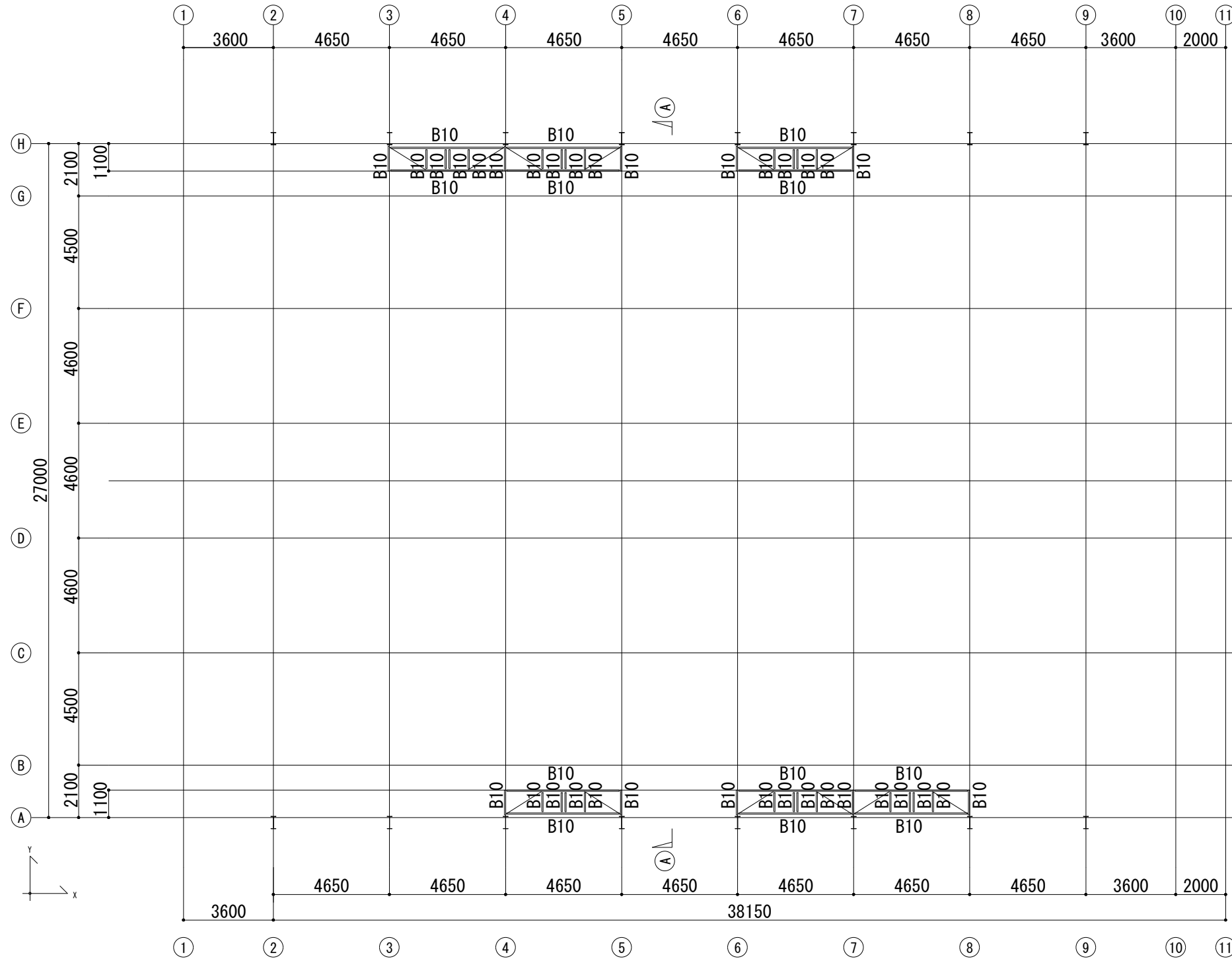
● 鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶接材料		入熱(kJ/cm)	パス間温度(°C)
	JIS Z 3211, 3212, 3214	YGW-11, 15 YGW-18, 19 YGA-50W, 50P		
400N級鋼	JIS Z 3312	YGW-11, 15 YGW-18, 19	40 以上	350 以下
	JIS Z 3315	YGA-50W, 50P	40 以上	350 以下
490N級鋼	JIS Z 3212, 3214	YGW-11, 15 YGW-18, 19	40 以上	350 以下
	JIS Z 3312	YGW-11, 15 YGW-18, 19	40 以上	350 以下

注) STKR, BCR, BCP材はJIS Z 3312、のみ使用
「構造設計特記仕様 6. 鉄骨工事 (2) 認定または登録工場」のグレード別に定められた適用範囲と溶接条件制限事項による

● H, H, H 型

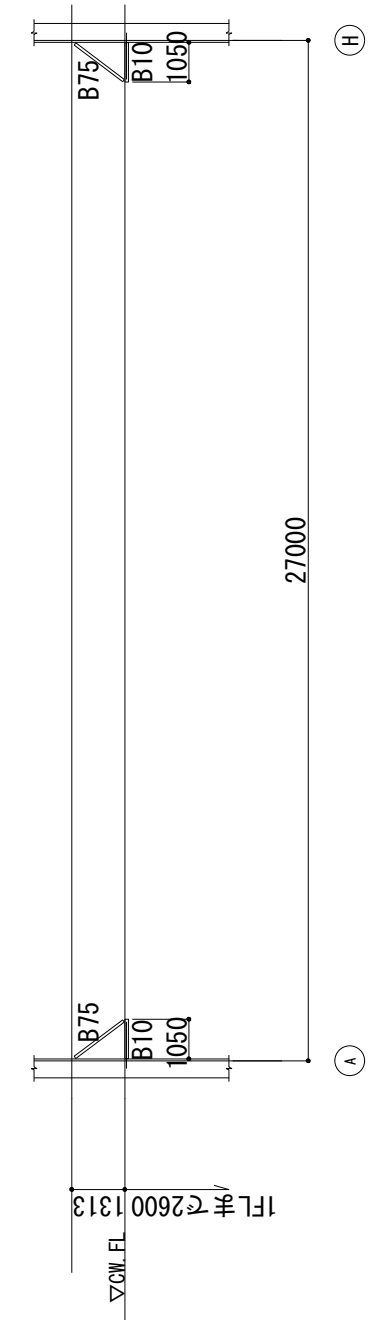




設備機器受け梁伏図 1/200

特記外は下記に依る

- ・鋼材SS400
- ・水平ブレース : HV1



A-A 矢視図 1/200

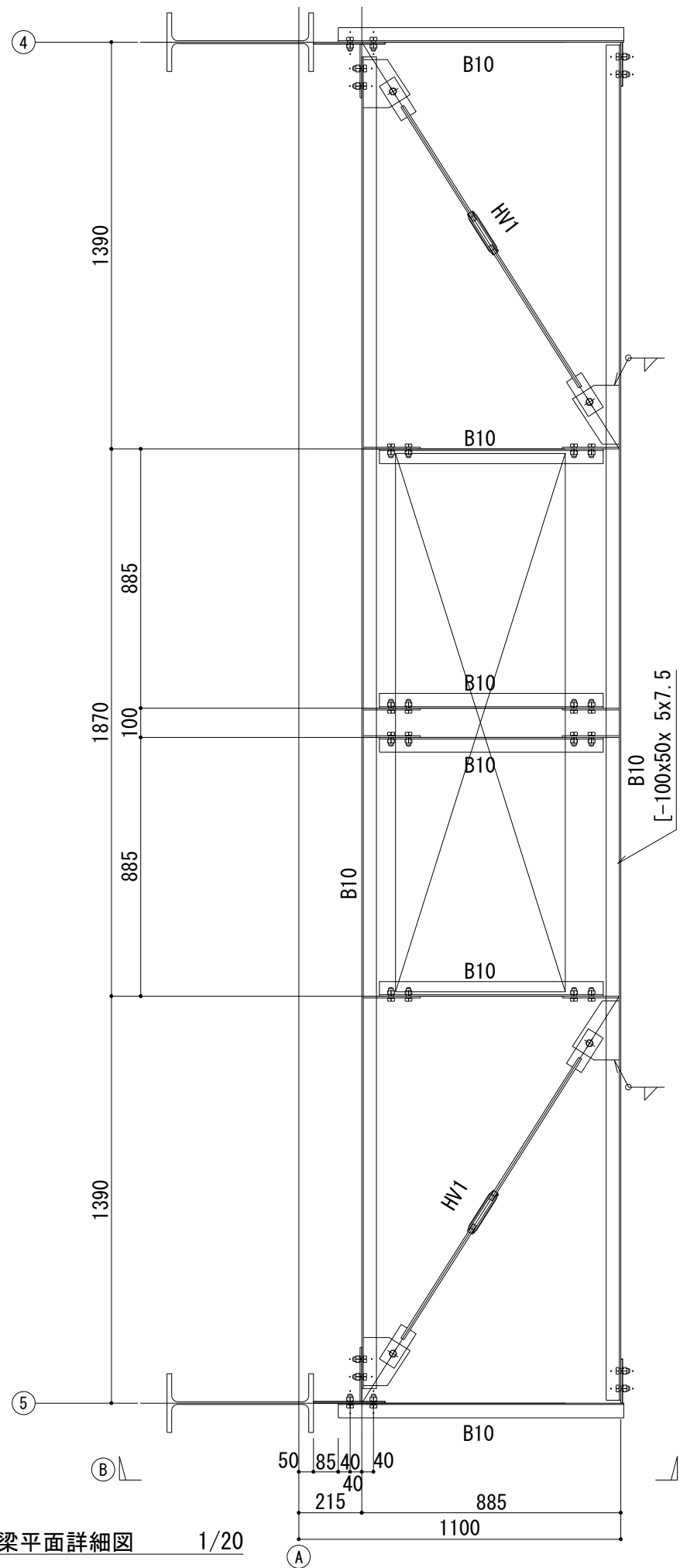
構造設計一級建築士 第 4387号
 一級建築士 (大臣) 登録第88697号 結城秀夫

備考	

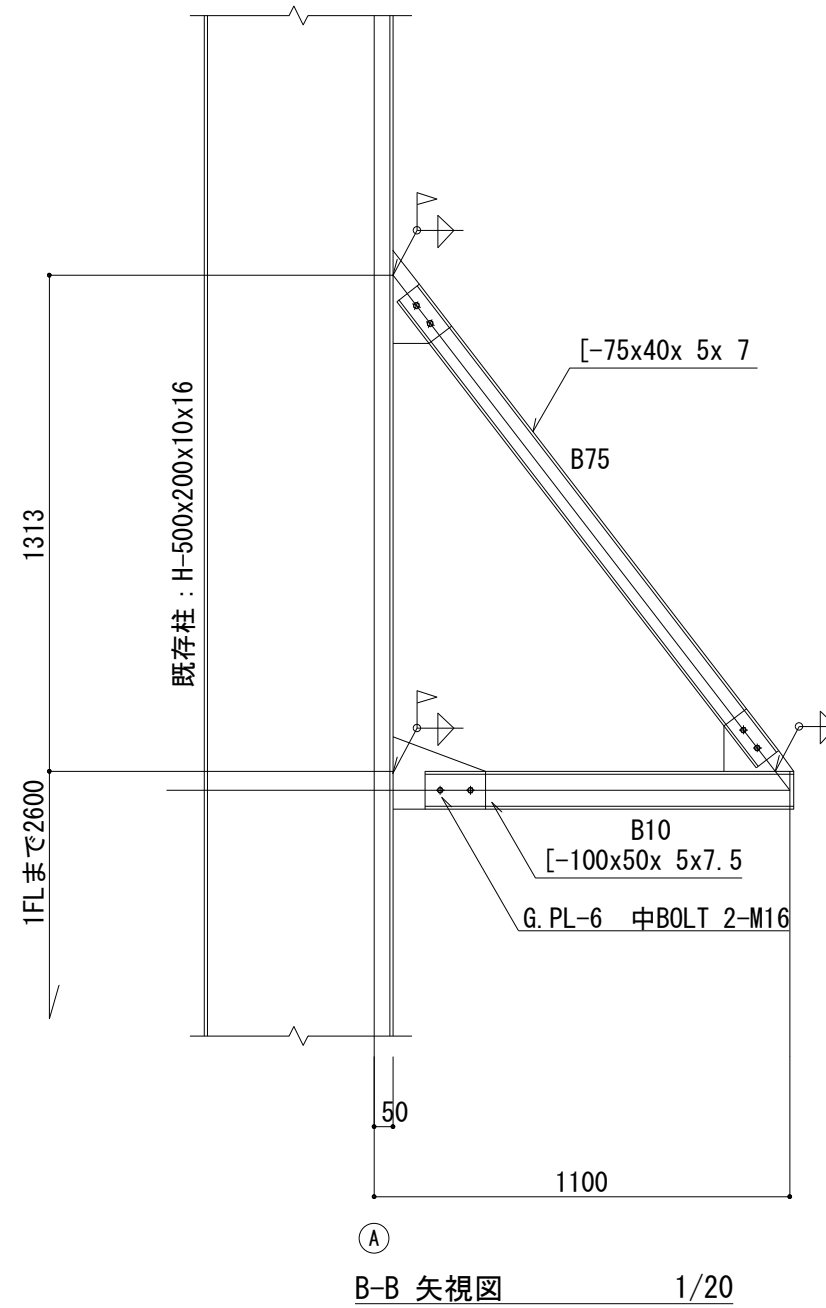
春日部市学校教育課
 教育施設課

工事名称 中学校等避難所空調設備設置工事 (大沼中学校)
 図面名称 1階平面図 (改修後)

図面番号 S - 03
 縮尺 A1: 1/100
 A3: 1/200



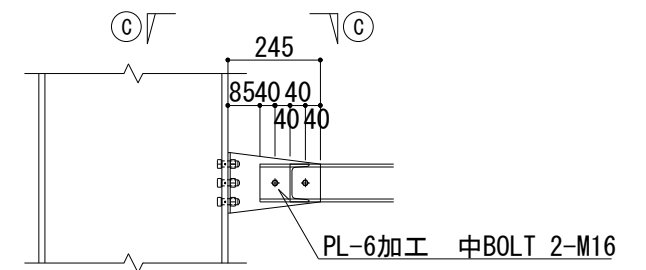
受け梁平面詳細図 1/20



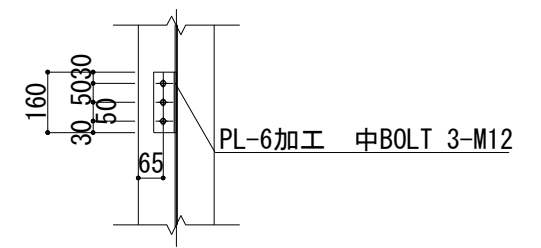
B-B 矢視図 1/20

溶接困難部分取合詳細図 1/20

・既存柱にBOLT接合



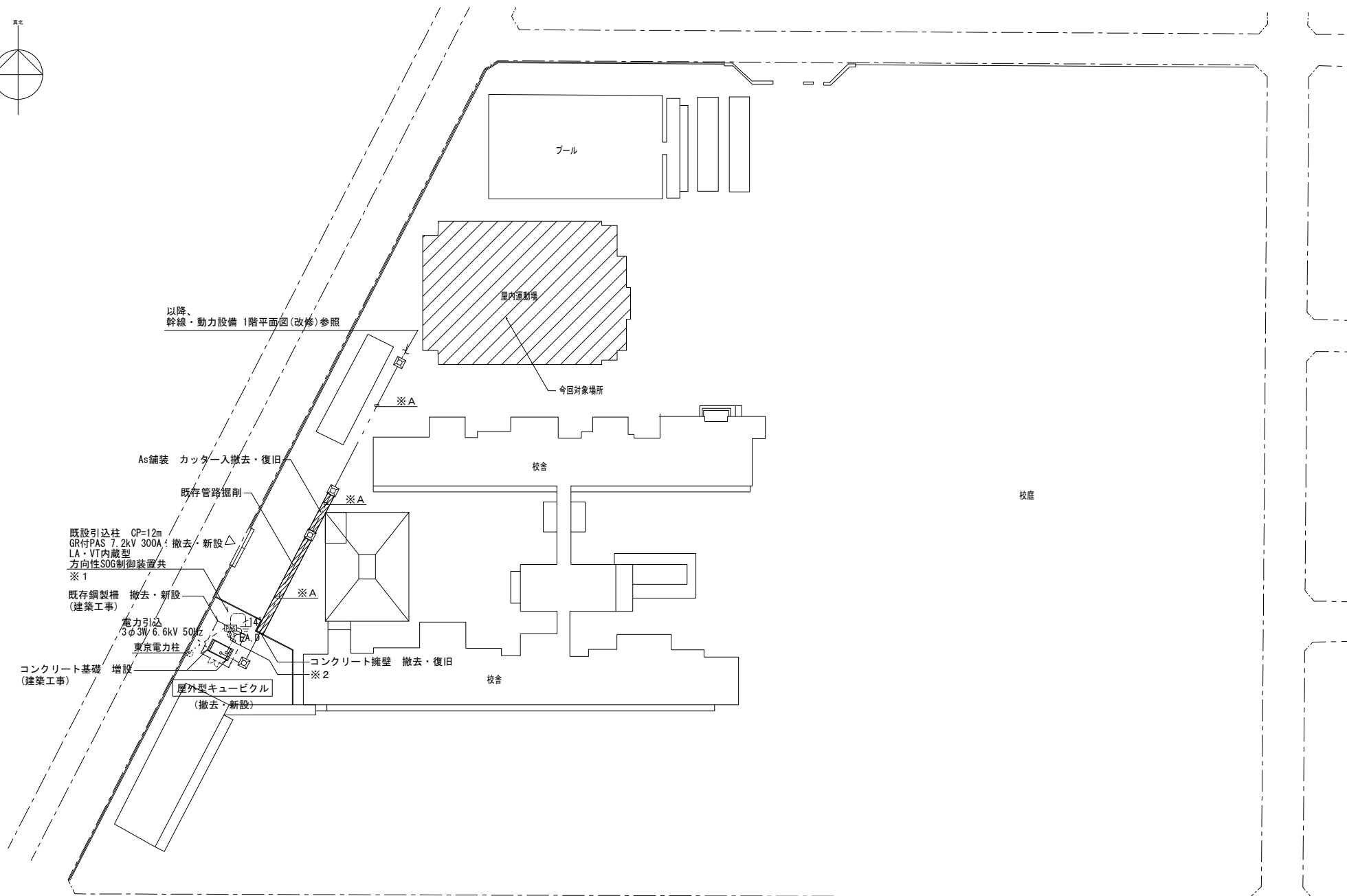
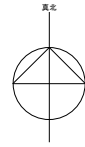
C-C 矢視図 1/20



D-D 矢視図 1/20

部材リスト			
符号	部材	仕口・継手	備考
B10	[-100x50x 5x7.5	G. PL-6 中BOLT 2-M16	
B75	[- 75x40x 5x 7	G. PL-6 中BOLT 2-M16	
HV1	B-M12	G. PL-6, 中BOLT 1-M16 ターンバックル付	

構造設計一級建築士 第 4387号
一級建築士(大臣)登録第88697号 結城秀夫



※1 露出配管・配線 (配線のみ撤去・新設)

電力引込	6.6kV CVT38° →6.6kV EM-CET(EE)38° (既設配管)
予備	空配管 (既設配管)
PAS警報	CVV 2° -2C (既設配管) →EM-CCE 2° -2C

※2 地中埋設配管・配線 (配線のみ撤去・新設)

電力引込	6.6kV CVT38° →6.6kV EM-CET(EE)38° (既設配管)
予備	空配管 (既設配管)
PAS警報	CVV 2° -2C (既設配管) →EM-CCE 2° -2C

※A GL-600 埋設配管配線

P-体-1	3φ200V EM-CET100° E14° (FEP80)	非常電源切替盤-1
P-体-2	3φ200V EM-CET100° E14° (FEP80)	非常電源切替盤-2

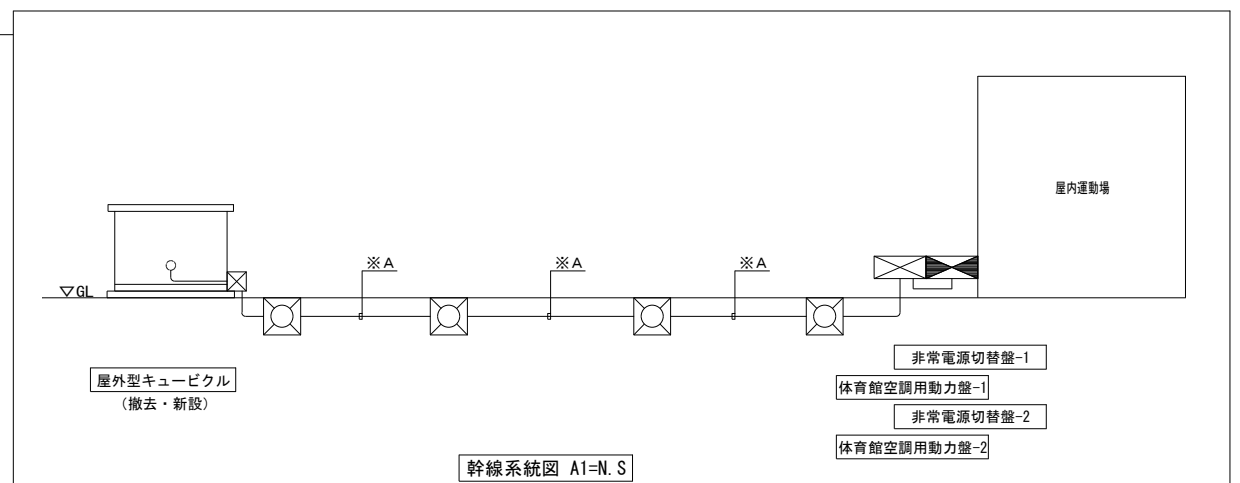
凡例

記号	名称	備考
☒	ブルボックス SS300x300x300 ET付	防水型 溶融垂鉛メッキ仕上げ
☒	ハンドホール H2-9	R2K-60
---	露出配管・配線	
---	地中埋設配管・配線	

注記

1. 地中埋設配管上部には、ケーブル埋設槽及び埋設シートを見込むこと。
2. 地中埋設配管は十分に水勾配を考慮した施工とすること。
3. ハンドホールでのケーブルジョイントは原則行わないこと。

配置図 S=1:500

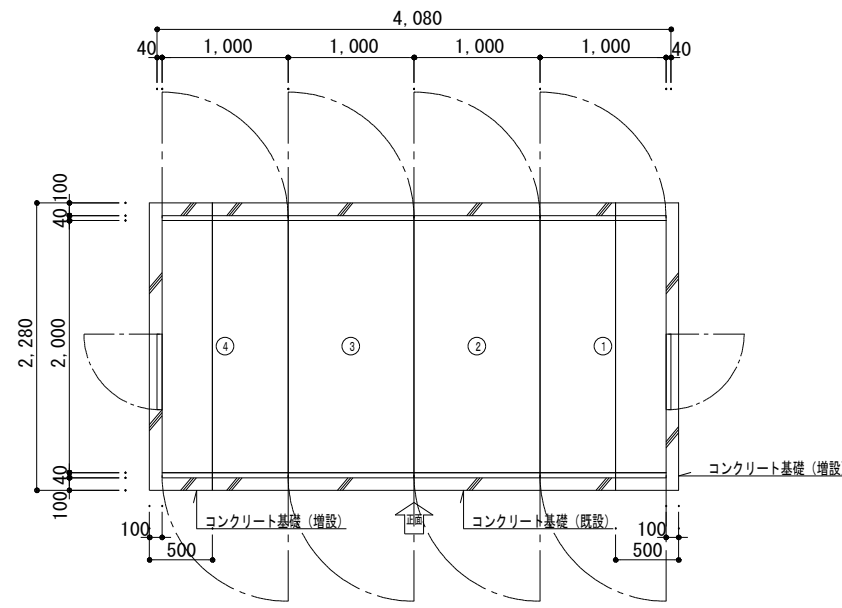
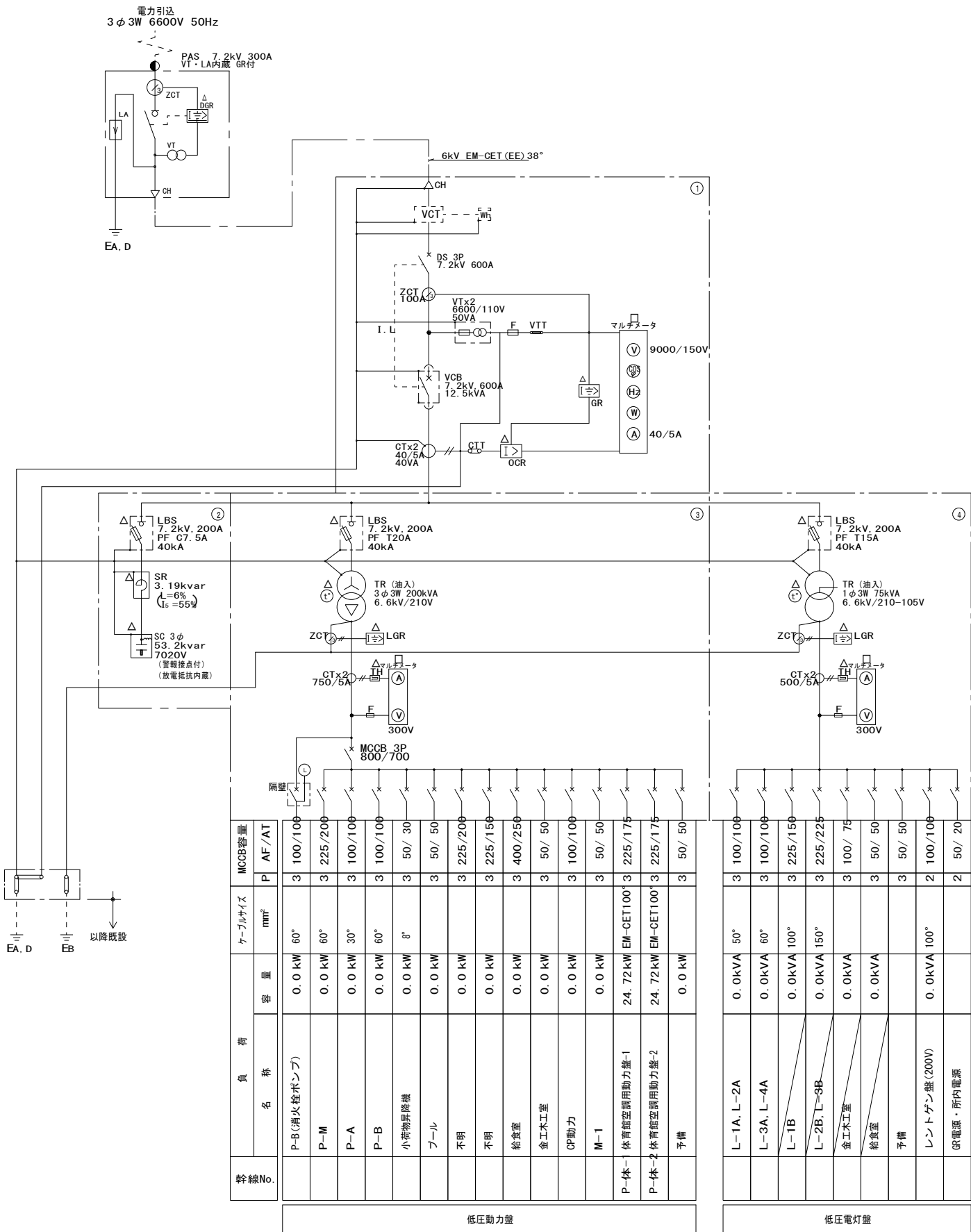


訂正	備考

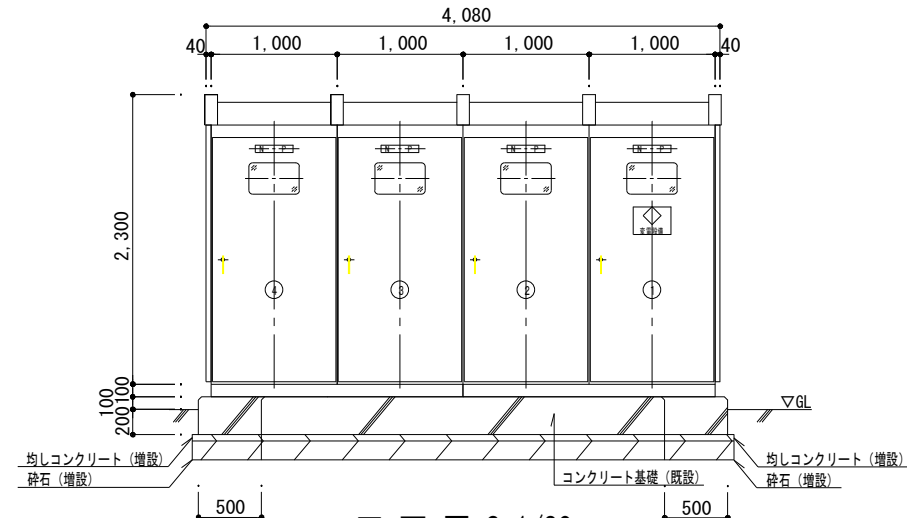
春日部市学校教育課
教育施設課

工事名称 中学校等避難所空調設備設置工事 (大沼中学校)
図面名称 外構図 (改修)

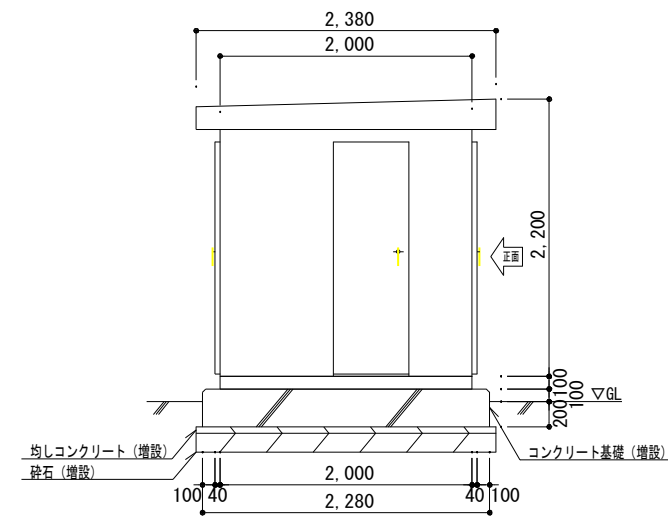
図面番号 E-03
縮尺 A1:500
A3:1000



平面図 S=1/30



正面図 S=1/30



側面図 S=1/30

凡例

記号	名称	備考
PAS	高圧交流真空中負荷開閉器	
CH	ケーブルヘッド	
D S	断路器	
P F	電力ヒューズ	
VCB	高圧真空遮断器	
C T	計器用変流器	
V T	計器用変圧器	
CTT	電流試験用端子	
VTT	電圧試験用端子	
V	電圧計	
A	電流計	
W h	電力計	
GR	地絡継電器	
OCR	過電流継電器	
LGR	低圧地絡継電器	
T H	サーマルリレー	
TR	変圧器	油入式
t°	ダイヤル温度計	
SC	進相コンデンサ	油入式
SR	直列リアクトル	油入式
MCCB	配線用遮断器	
△	警報表示	
□	計測	

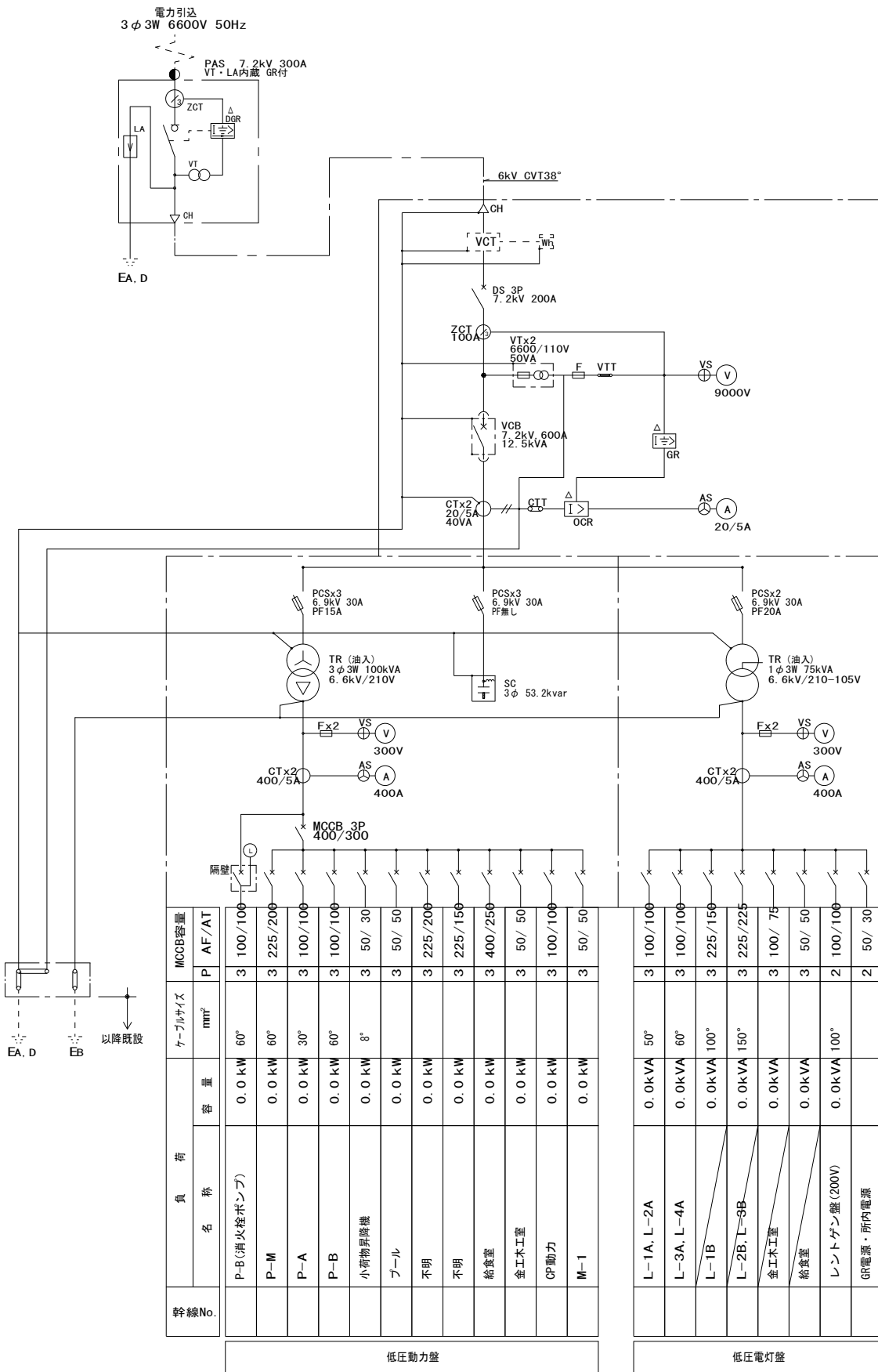
- 特記事項
- キュービクルは屋外型とし、JIS-C4620に準拠するほか、消防長が火災予防上支障がないと認める構造を有するものとする。
(消防設備用非常電源専用受電設備は消防庁告示第7号基準に則って設置する。)
又、キュービクル箱体は隙間のない様に設置し、ケーブル引込部、換気ガリ等は巴厘処理、メッシュ等の小動物対策を行うこと。
 - VCB (真空遮断器) は、手動操作型とする。
 - JIS, JEC, 電気設備技術基準に準拠するほか、十分な耐震対策を施すこと。
又、耐震計算書及び換気ファン計算書を提出すること。
 - 変圧器は油入トランス2014基準・ダイヤル温度計 (温度警報接点付) ・防振ゴム付とする。
 - キュービクル内に換気扇を取付け、サーモスイッチにより作動させる。(各バンク毎)
 - キュービクル内にLED照明器具を取付け、各箱体の扉の開閉に連動し、各箱体毎に点滅させる。
 - 表示灯はLEDランプとする。
 - チャンネルベースは溶融亜鉛メッキ仕上げとし、ボルト・ナット類はSUS製とする。
 - 予備品・付属品は下記とする。

1) ヒューズ類	: 100%
2) ジスコン・フック棒	: 1式
3) 換電器	: 1式
4) 絶縁ゴム手袋	: 1式
 - 下記場所には、非可逆性サーモラベル (70℃) を貼り付けのこと。
・トランス2次側接続端子
・低圧配電盤の1次側母線接続部、2次側MCCB端子 (100A以上)
 - 変圧器名称は2枚用意し、表面扉内側に添付すること。
 - 監督員・監理者・管理者立会いのもと製品検査を行うこと。
 - 基礎増設工事、フェンス改修工事は建築工事とする。

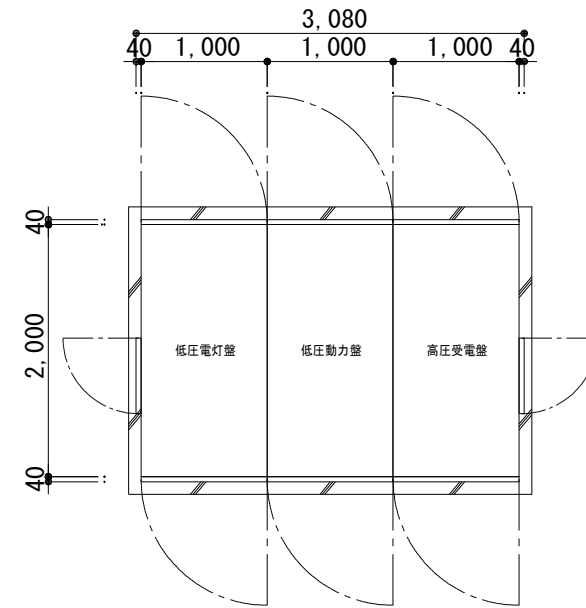
受変電設備機器一覧表

番号	名称	備考
①	高圧受電盤	
②	低圧動力盤	
③	低圧電灯盤	
④	高圧コンデンサ盤	

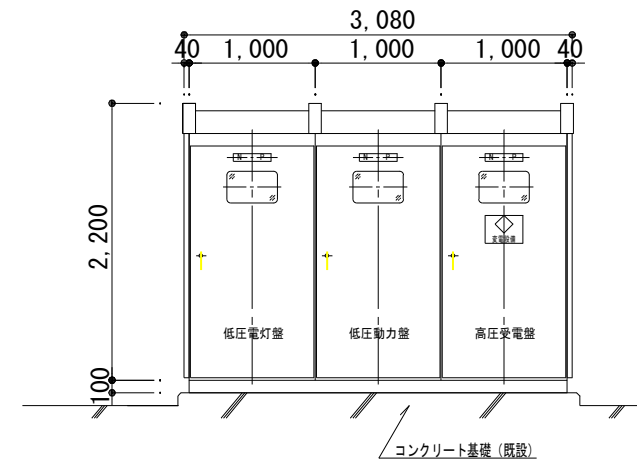
- 特記事項
- 図中の区分開閉器 (PAS)、高圧引込ケーブル、受変電設備を新設する。



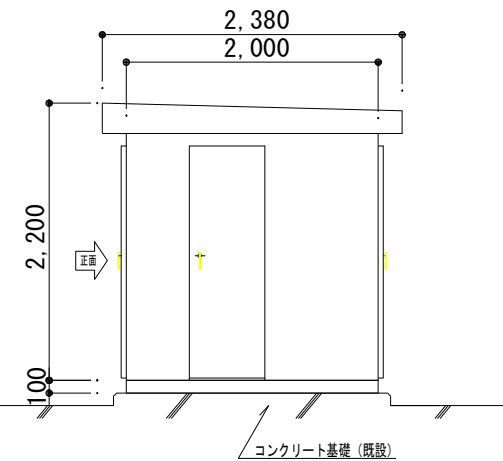
記号	名称	備考
PAS	高圧交流中負荷開閉器	
CH	ケーブルヘッド	
DS	断路器	
PF	電力ヒューズ	
VCB	高圧真空遮断器	
CT	計器用変流器	
VIT	計器用変圧器	
CTT	電流試験用端子	
VTT	電圧試験用端子	
V	電圧計	
A	電流計	
Wh	電力量計	
VS	電圧計切替スイッチ	
AS	電流計切替スイッチ	
GR	地絡継電器	
OCR	過電流継電器	
TR	変圧器	油入
SC	進相コンデンサ	油入
MCCB	配線用遮断器	
△	警報表示	



平面図 S=1/30



正面図 S=1/30



側面図 S=1/30

特記事項

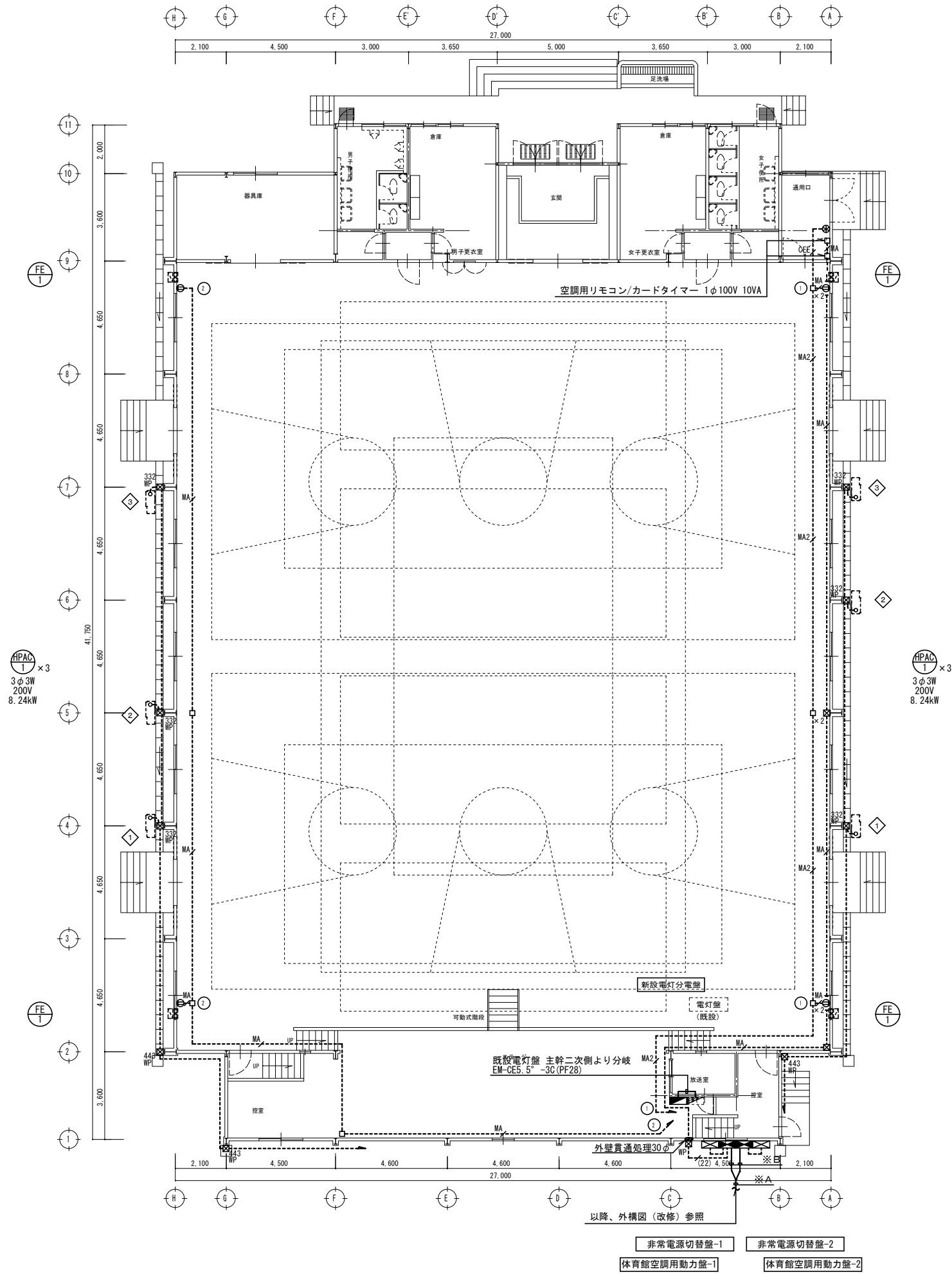
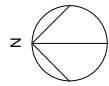
1. 図中の区分開閉器 (PAS)、高圧引込ケーブル、受変電設備を撤去する。

訂正	備考

春日部市学校教育課
教育施設課

工事名称 中学校等避難所空調設備設置工事 (大沼中学校)
図面名称 受変電設備 単線結線図・機器外形図 (撤去)

図面番号 E-05
縮尺 A1: -
A3: -



※A GL-600 埋設配管配線

P-体-1	3φ200V EM-CET100° E14° (FEP80)	非常電源切替盤-1
P-体-2	3φ200V EM-CET100° E14° (FEP80)	非常電源切替盤-2

※B 露出配管配線 (立上げ部)

P-体-1	3φ200V EM-CET100° E14° (G82)	非常電源切替盤-1
P-体-2	3φ200V EM-CET100° E14° (G82)	非常電源切替盤-2

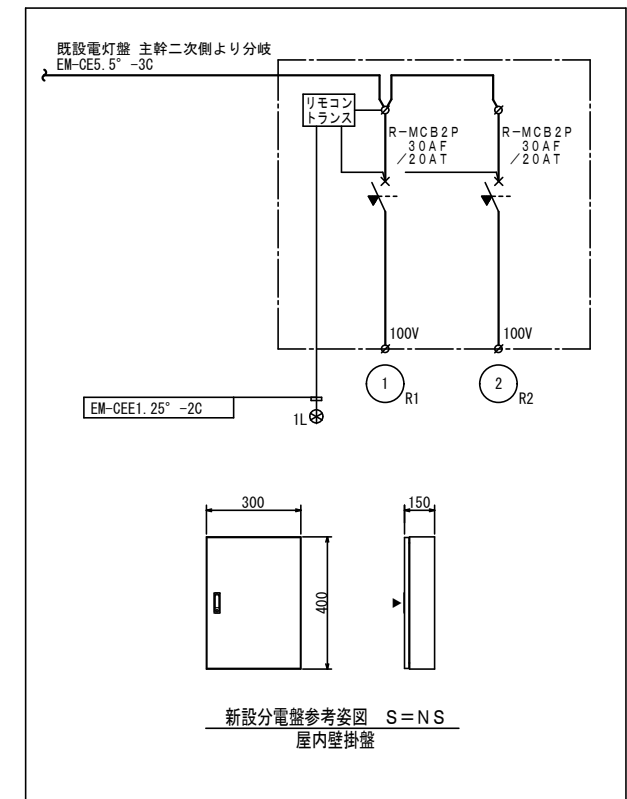
凡例

記号	名称	備考
■	新設非常電源切替盤	
□	新設動力分岐盤	
○	既設電灯分岐盤	
■	新設電灯分岐盤	仕様は新設分岐盤 結線図参照
□	新設プルボックス	仕様は注記参照
□	モール用ジョイントボックス	
○	露出コンセント 2P15Ax1 E極付	
⊕	リモコンスイッチ 1L	
---	露出配管・配線	
---	地中埋設配管・配線	

注記

- 動力分岐盤二次側配管・配線は、動力分岐盤負荷表を参照とする。
- 特記なき配管・配線は下記とする。
 - MA EM-EEF2.0-3C (MMA)
 - MA2 (EM-EEF2.0-3C (MMA)
EM-CEE1.25°-2C (MMA))
 - CEE EM-CEE1.25°-2C (MMA)
 - (22) EM-EEF2.0-3C (G22)
- プルボックスの仕様は下記による。(鋼板製)
 - 221 (傍記無しは 221とする。)
 - 高さ寸法: 100
 - よこ寸法: 200
 - たて寸法: 200
 (傍記WPは屋外型、溶融亜鉛メッキ仕上げとする)
- 屋外に使用する配管・ボックス・ボルト・ナット・支持材等は、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。

新設分岐盤 結線図



訂正	備考

非常電源切替盤-1	非常電源切替盤-2	体育館空調用動力盤-1	体育館空調用動力盤-2
-----------	-----------	-------------	-------------

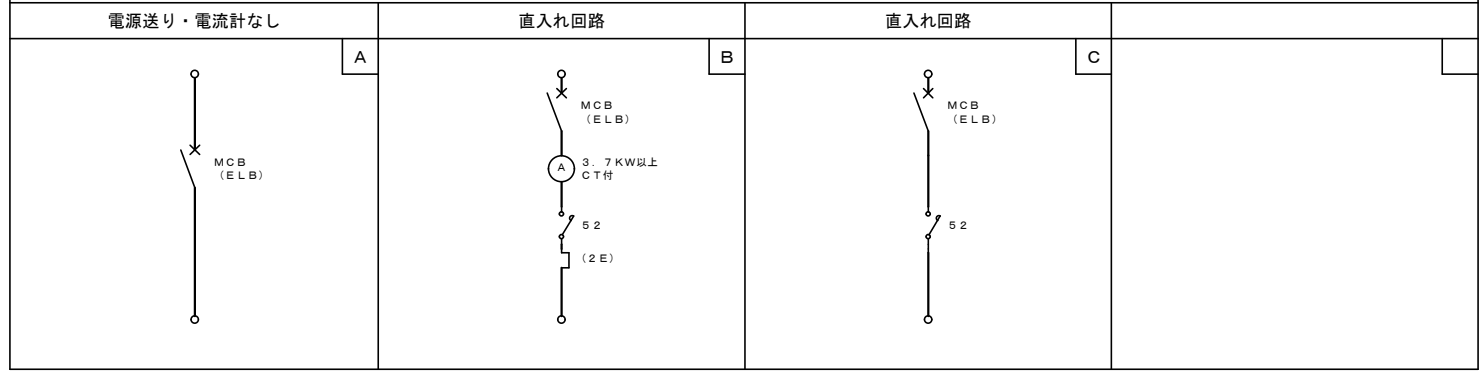
春日部市学校教育部
教育施設課

工事名称	中学校等避難所空調設備設置工事 (大沼中学校)	図面番号	E-06
図面名称	幹線・動力設備 1階平面図 (改修)	縮尺	A1:100 A3:200

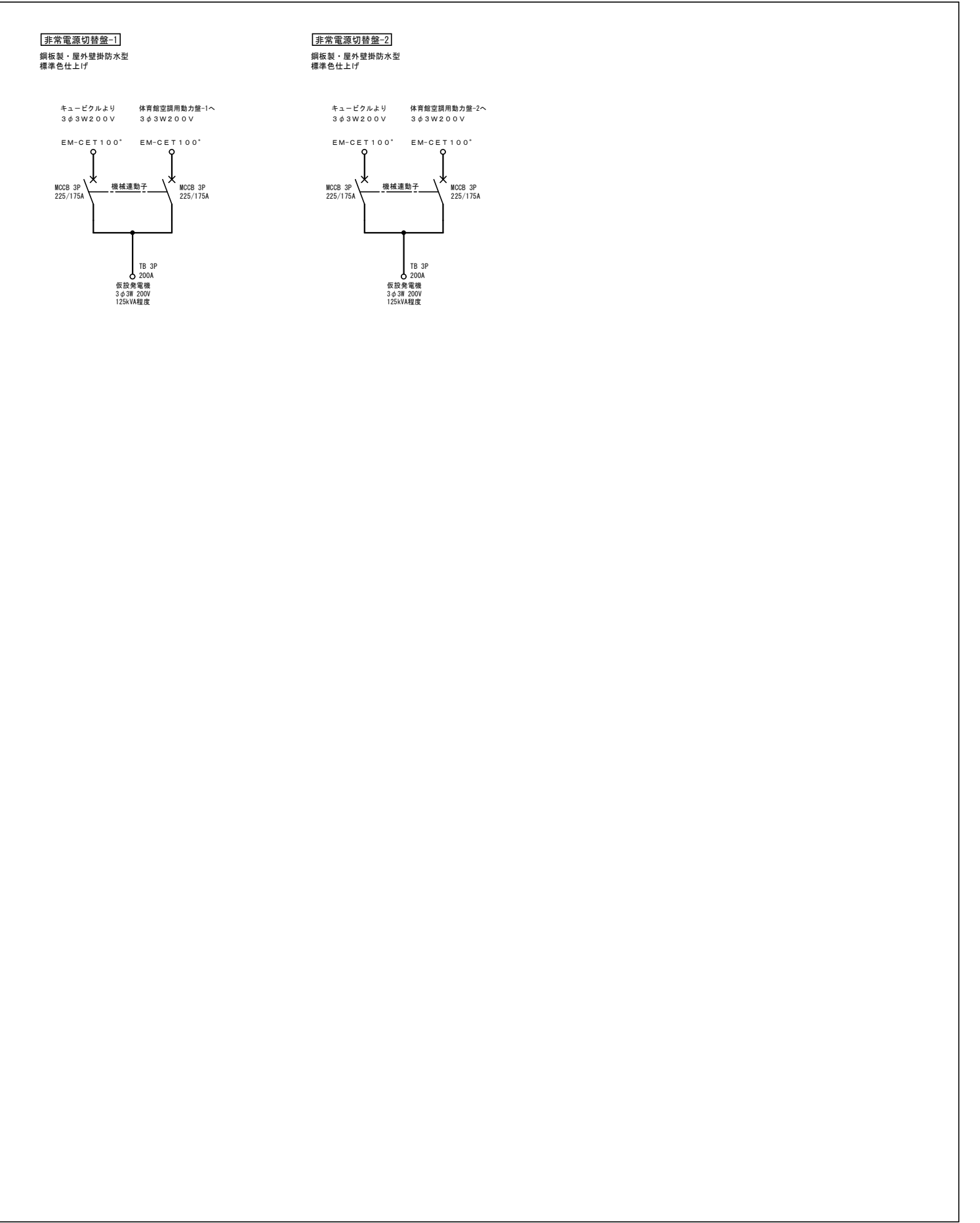
動力分岐盤負荷表

盤名称 盤形式 幹線番号 電気方式 幹線サイズ	主幹開閉器 合計負荷容量	回路 番号	負荷名称	容量 (KW)	分岐開閉器			配線サイズ	制御 方式	制御				遠方盤				備考			
					MCB	ELB				P 数 AF/AT	発 停	表 示 状 態	故 障	満 水	減 水	発 停	表 示 状 態		故 障	満 水	減 水
						AL無	AL付														
【体育館空調用動力盤-1】 銅板製・屋外壁掛防水型 標準色仕上げ																					
キューピクルより 3φ3W200V	エネルギーモニター	CT×2																			
EM-CET100° E14			MCB3P225AF/175AT																		
			計 24.72kW																		
			◇空調室外機 (HPAC-1)	8.24	○		3P100/100AT	EM-CET22°E5.5° (G54)	A							屋内運動場外部					
			◇空調室外機 (HPAC-1)	8.24	○		3P100/100AT	EM-CET22°E5.5° (G54)	A							屋内運動場外部					
			◇空調室外機 (HPAC-1)	8.24	○		3P100/100AT	EM-CET22°E5.5° (G54)	A							屋内運動場外部					
			エネルギーモニター用電源		○		2P 50/ 20AT	EM-EEF2.0-3C	A							1φ200V					
			空調リモコン/カードタイマー電源		○		2P 50/ 20AT	EM-EEF2.0-3C	A							1φ100V					
			ダウントランス 200/100V 200VA																		
【体育館空調用動力盤-2】 銅板製・屋外壁掛防水型 標準色仕上げ																					
キューピクルより 3φ3W200V	エネルギーモニター	CT×2																			
EM-CET100° E14			MCB3P225AF/175AT																		
			計 24.72kW																		
			◇空調室外機 (HPAC-1)	8.24	○		3P100/100AT	EM-CET14°E5.5° (G42)	A							屋内運動場外部					
			◇空調室外機 (HPAC-1)	8.24	○		3P100/100AT	EM-CET14°E5.5° (G42)	A							屋内運動場外部					
			◇空調室外機 (HPAC-1)	8.24	○		3P100/100AT	EM-CET14°E5.5° (G42)	A							屋内運動場外部					
			エネルギーモニター用電源		○		2P 50/ 20AT	EM-EEF2.0-3C	A							1φ200V					


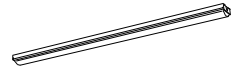
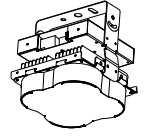

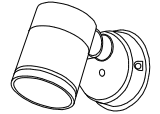
制御方式



非常電源切替盤結線図



照明器具姿図

C432	逆富士	FHF32Wx1相当	E432	トラフ	FHF32Wx1相当	G423	LED高天井器具 (ガード付)	L100	ダウンライト	FDL27Wx1相当	N100W	屋外スポットライト	IL100Wx1相当	
	W=150													
	LSS9-4-30 LN			LSS1-4-30 LN		LSR2M-200 LZ		LRS1-08 LN						
														
	XLX430AENP LE9 同等品 一般タイプ、3200lmタイプ 消費電力20.6W、定格出力型、電圧100~242V 本体：鋼板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵			XLX430NENP LE9 同等品 一般タイプ、3200lmタイプ 消費電力20.6W、定格出力型、電圧100~242V 本体：鋼板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵		NYM20212 LR9 同等品 光束21300lm、消費電力112W 電圧100~242V 昼白色、5000K、Ra70、中角タイプ、直付型 光源寿命60000時間（光束維持率85%）、電源内蔵型 本体：アルミ、パネル：ポリカーボネート（透明） アーム：亜鉛鋼板 約5~100%連続調光、落下防止ワイヤー付 器具本体（2.5kg）		XND1069WN LE9 同等品 LED内蔵<ワンコア（ひと粒）タイプ> 電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 5000K、Ra85、拡散タイプ 光源光束15度、光源寿命40000時間（光束維持率85%） 器具光束：1045lm、消費電力：7W、電圧：100~242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：鋼板（ホワイトつや消し仕上） 枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ150					XLGE1126 CE1 同等品 昼白色（5000K）、Ra83 器具光束710lm、消費電力7.7W、電圧100V 集光タイプ、防雨型、ネジ込み方式 アルミダイカスト（シルバーメタリック） パネル：アクリル（透明） 可動範囲上下110度、回転方向330度	

訂正

備考

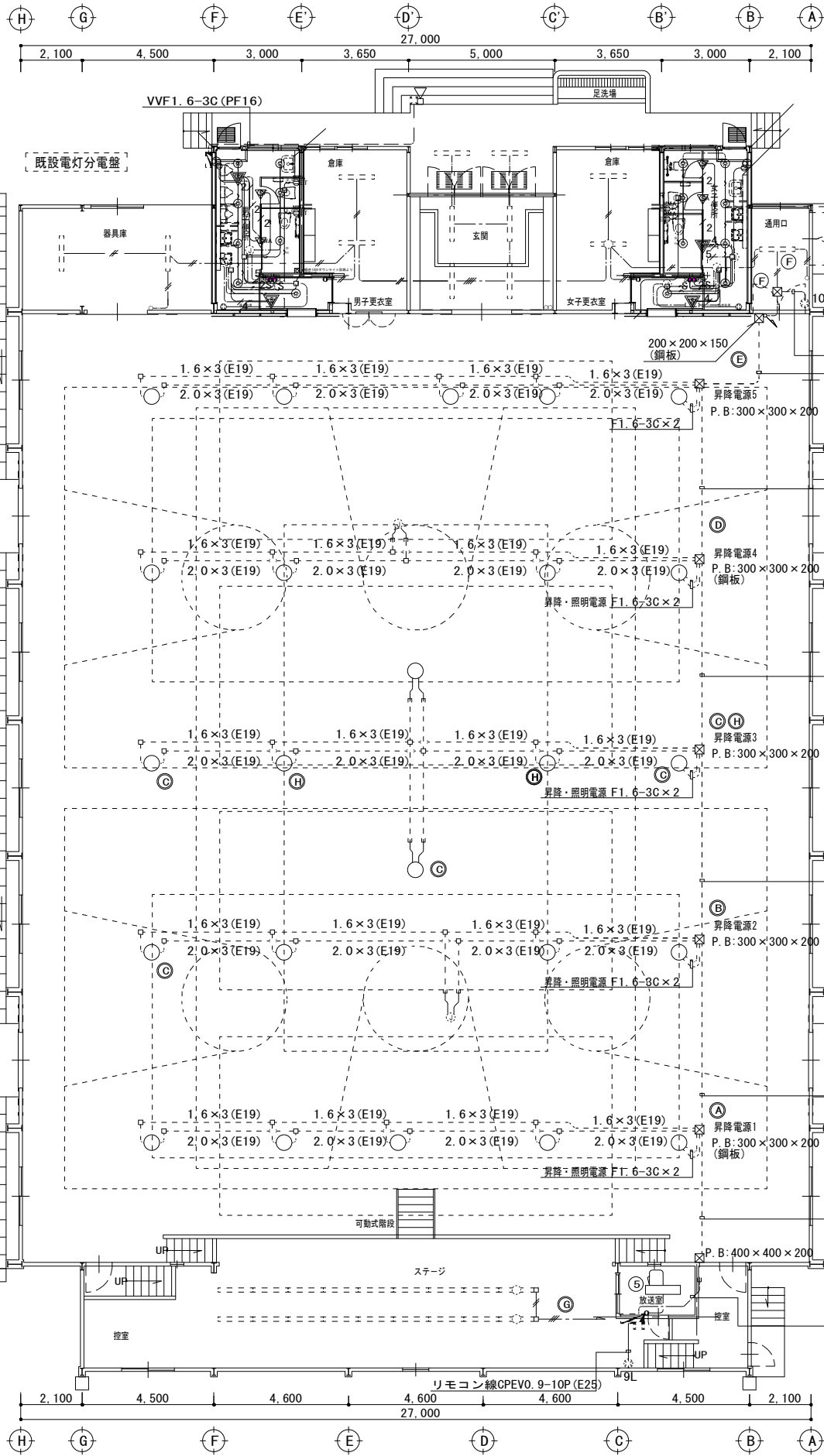
春日部市 学校教育部
教育施設課

工事名称 中学校等避難所空調設備設置工事(大沼中学校)
図面名称 照明器具姿図(改修)

図面番号 E-08
縮尺 A1: -
A3: -



倉庫・男子更衣室 C432 × 2
 外構 N100W × 1
 玄関外 C432 × 2
 玄関 C432 × 4
 倉庫・女子更衣室 C432 × 2



男子便所 A × 7
 器具庫 E432 × 2
 更衣室前室 A × 1

女子便所 A × 7
 更衣室前室 A × 1
 通用口 C432 × 1

アリーナ G423 × 24

リモコン線CPEV0.9-10P(E25)
 ② CV5.5°-3C, CVF2.0-2C(E31)

リモコン線CPEV0.9-10P(E25)
 昇降電源F1.6-3C E5.5°(E25)
 ② CV5.5°-3C×2(E39)
 ② CVF2.0-2C(E19)

リモコン線CPEV0.9-10P(E25)
 昇降電源F1.6-3C×2 E5.5°(E31)
 ① CV5.5°-3C(E25)
 ② CV5.5°-3C×2(E39)
 ② CVF2.0-2C(E19)

リモコン線CPEV0.9-10P(E25)
 昇降電源F1.6-3C×3 E5.5°(E39)
 ① ② CV5.5°-3C×2(E39)
 ② CVF2.0-2C(E19)

リモコン線CPEV0.9-10P(E25)
 昇降電源F1.6-3C×4 E5.5°(E51)
 ① ② CV5.5°-3C×3(E39)
 ② CVF2.0-2C(E19)

リモコン線CPEV0.9-10P(E25)
 昇降電源F1.6-3C×5 E5.5°(E51)
 ① ② CV5.5°-3C×4(E51)
 ② CV5.5°-3C×3(E39)
 ② CVF2.0-2C(E19)

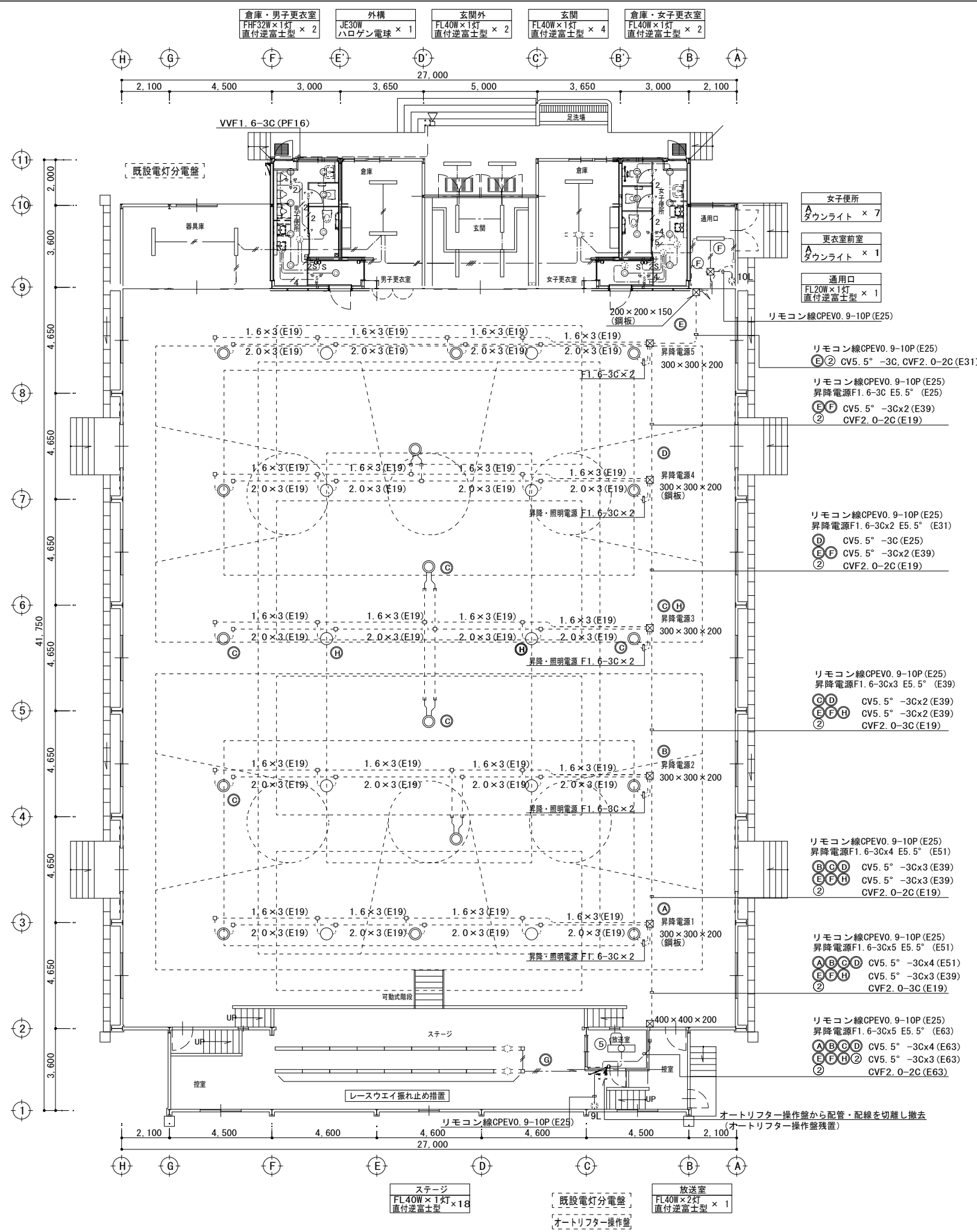
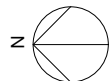
リモコン線CPEV0.9-10P(E25)
 昇降電源F1.6-3C×5 E5.5°(E63)
 ① ② CV5.5°-3C×4(E63)
 ② CV5.5°-3C×3(E63)
 ② CVF2.0-2C(E63)

凡例

記号	名称	備考
	電灯分電盤	既設
	LED器具(1灯相当)	新設
	LEDスポットライト	新設
	LED投光器	新設
	LEDダウンライト	新設
	リモコンスイッチ	既設
	壁埋込型スイッチ	既設
	壁埋込熱線センサ操作ユニット	1回路用
	壁埋込熱線センサ操作ユニット	2回路用
	熱線センサ付自動スイッチ親器	既設
	熱線センサ付自動スイッチ親器	既設
	プルボックス	既設
	ジャンクションボックス	既設
	アウトレットボックス	既設
	天井隠ぺい配管・配線	既設
	天井内ケーブル配線	既設
	床埋込配管・配線	既設
	露出配管・配線	既設

注記

- 図中太線のLED照明器具を新設する。
- 特記なき配管配線は下記による。(既設)
 - 1.6×2 (E19)
 - 2.0×2 (E19)
 - 2.0×3 (E19)
 - 2.0×2 (E19)
 - 2.0×3 (E19)
 - 2.0×4 (E25)
 - 2 EM-EEF1.6-2C (MMA)
 - 4 EM-EEF1.6-2C×2 (MMA)
 - 5 EM-EEF1.6-2C+3C (MMB)
 - EM-EEF2.0-3C (MMA)



- 男子便所
A ダウンライト × 7
- 器具庫
FL40W×1灯
直付逆富士型 × 2
- 更衣室前室
A ダウンライト × 1

- アリーナ
HID360W×1灯
メタルハイドランプ × 16
- HID360W×1灯
メタルハイドランプ × 10

- 女子便所
A ダウンライト × 7
- 更衣室前室
A ダウンライト × 1
- 通用口
FL20W×1灯
直付逆富士型 × 1

凡例

記号	名称	備考
	電灯分電盤	既設
	蛍光灯器具(1灯相当)天井付	撤去
	水銀灯 高天井器具	撤去
	白熱灯 ダウンライト	撤去
	リモコンスイッチ	既設 nLは点滅数を示す
	雙投型スイッチ	既設
	プルボックス	既設
	アウトレットボックス	既設
	天井隠ぺい配管・配線	既設
	天井内ケーブル配線	既設
	床埋込配管・配線	既設
	露出配管・配線	既設

注記

- 図中太線の照明器具を撤去する。
- 特記なき配管配線は下記による。(既設)
 - 1.6×2 (E19)
 - 2.0×2 (E19)
 - 2.0×3 (E19)
 - 2.0×2 (E19)
 - 2.0×3 (E19)
 - 2.0×4 (E25)
 - EM-EEF1.6-2C (MMA)
 - EM-EEF1.6-2C×2 (MMA)
 - EM-EEF1.6-2C+3C (MMB)
 - EM-EEF2.0-3C (MMA)

空調機器表

機器番号	機器名称 〔系統名〕	型式	室外機										室内機										防振装置 G:ゴム S:スプリング P:防振マシ	備考				
			設置階	台数	呼称能力 HP	冷房能力 kW	暖房能力 kW	消費電力 (50Hz) kW	ガス消費量 kW	電源		起動方式	設置階	台数	呼称能力 HP	冷房能力 kW	暖房能力 kW	送風機		消費電力 (50Hz) W	電源				起動方式	自然蒸発式 加湿量 kg/h	フィルター	コンクリート基礎 (建築工事)
										相	電圧 V							送風量 m³/h	機外静圧 Pa		相	電圧 V						
HPAC-1	空冷ヒートポンプ式エアコン (アリーナ)	壁掛天吊型 (ノズル式)	1F	6	9.0	25.0	28.0	8.24	-	3	200	直入	1F	6	9.0	25.0	28.0	4,800	80	-	-	-	-	-	標準	150H	G	ZAHP-P280-S1 (参考) 室外機送り (吹出し口は防球ネット付けとする)
<空冷ヒートポンプエアコン、ガスヒートポンプエアコンに関する特記事項> (1)冷房能力及び暖房能力は標準条件時 (4)設計外気温度条件 (6)機器の動力等は参考値とする (10)機器フェンスは建築工事とする。 (JIS B 8616、JIS B 8627)の能力を示す。 夏期(冷房時) 34.8℃ DB、58.0% 冬期(暖房時) 1.7℃ DB、41.7% (7)冷媒はR32とする。 (11)高調波対策仕様とする。 (2)室内機と室外機との選り配線工事は冷媒配管共巻きとする。 (5)設計室内温度条件 (8)室内機1台に対しリモコンスイッチ1個設置とする。 (12)風向き変更ルーバーを付属とする。 (3)室外機は高効率型とする。 夏期(冷房時) 26.0℃ DB、19.5 WB 冬期(暖房時) 22.0℃ DB、14.5 WB (9)リモコン(個別)は固定とする (13)デマンドメーター付風とする。																												

換気機器表

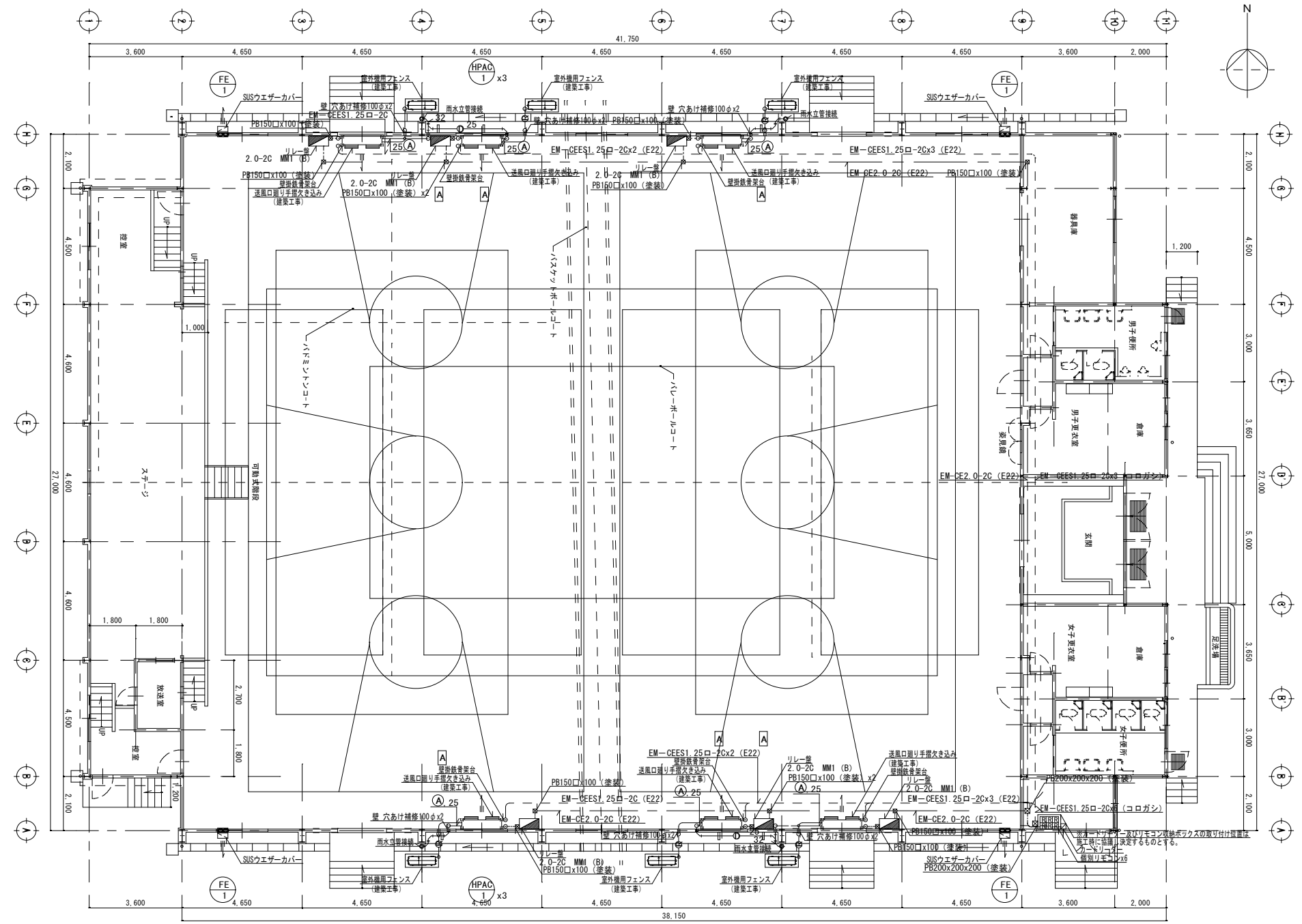
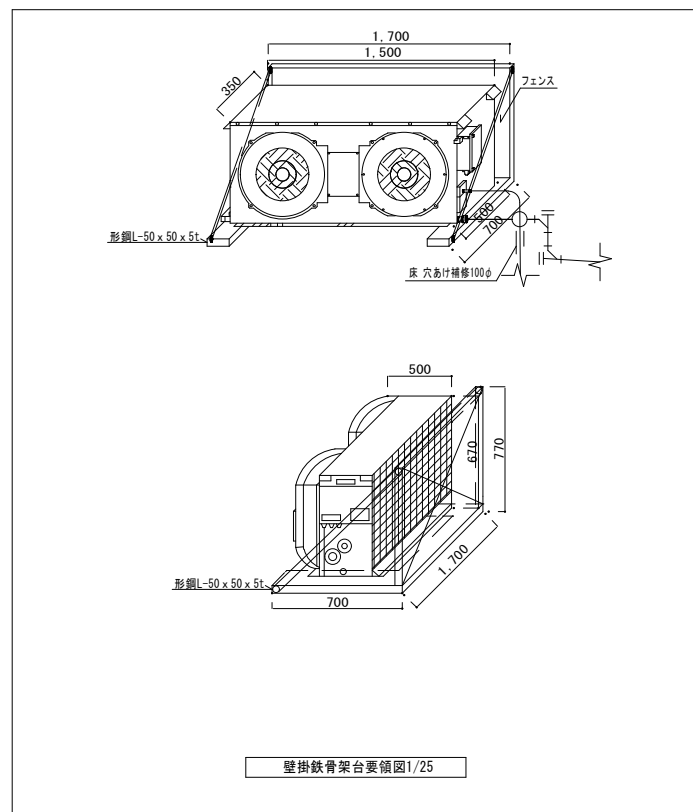
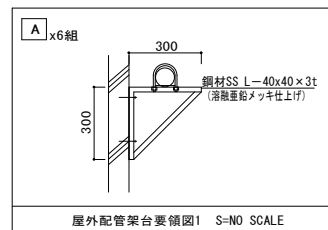
機器番号	機器名称 (系統名)	設置階	台数	機器仕様				電動機 (50Hz)						インタイロック・連動	遠方 発 運 警 報	防振装置 G:ゴム S:スプリング P:ゴムパット	24 時間 換気	備考					
				消費ボックス	据床付	番 手	風量 m³/h	静圧 Pa	消費電力 W	相	電圧 V	極 数	起動方式						保安電源				
FE-1	換気扇 (アリーナ)	1F	4	有圧換気扇 (低騒音形)	-	産	350φ	2000	50	130	1	100	-	直入	-	-	-	-	-	-	P	-	EW-35DSA2 (参考)

備考	

凡 例			
記号	種別	材質	備考
—R—	冷媒管	冷媒用被覆銅管	
—D—	ドレン管	耐火二層管 (屋内、屋外露出はVP)	
—	個別リモコンケーブル	電線管屋内露出 EM-CEES1.25ロ-2C (E22)	
—	個別リモコンケーブル	天井内 EM-CEES1.25ロ-2C (コログシ)	
—	渡り配線	冷媒管共巻き (EM-CEES1.25ロ-2C)	
[R]	個別リモコン	各系統ごとに空調機操作盤に設置	
—	カードリーダー電源ケーブル	電線管屋内露出 EM-CE2.0-2C (E22)	
—	カードリーダー電源ケーブル	天井内 EM-CE2.0-2C (コログシ)	
□	カードリーダー	壁掛け形	
▭	リレー盤	壁掛け形	
---□---	ブルボックス	屋内: 鋼板製 (塗装) 屋外: SUS (WP)	

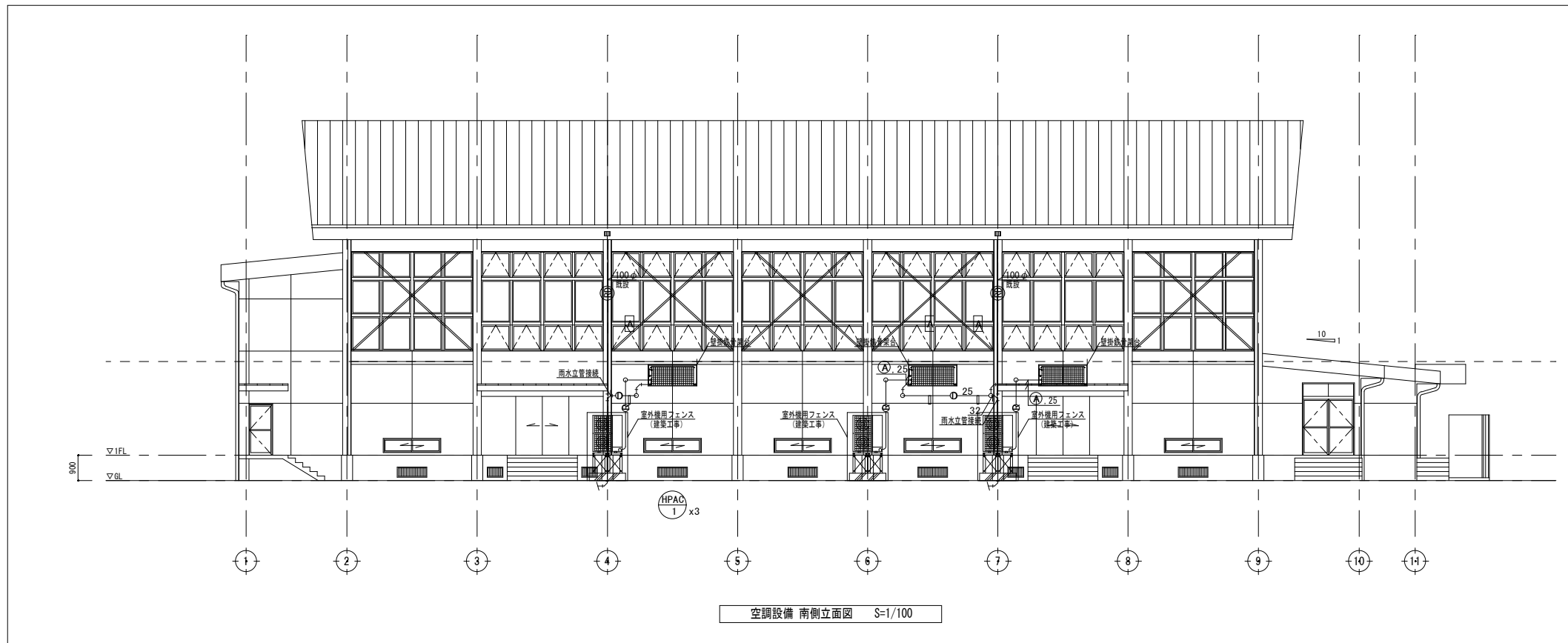
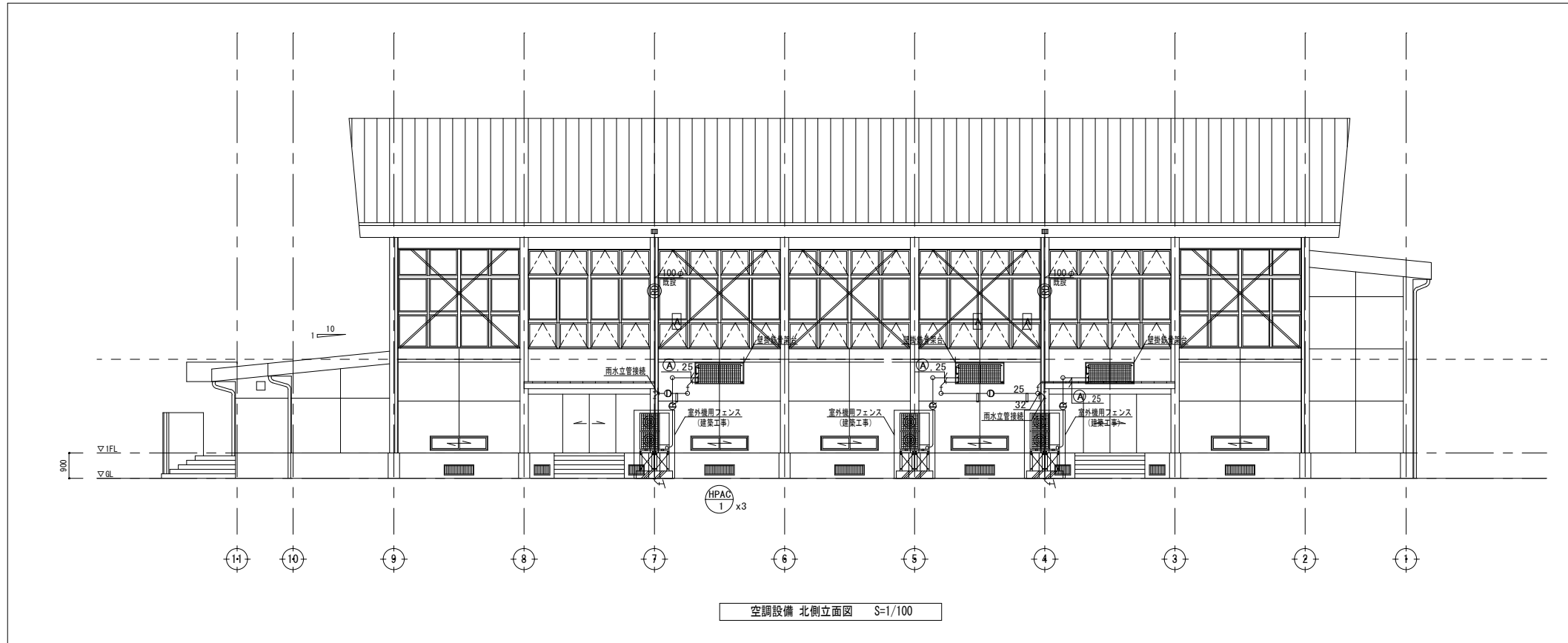
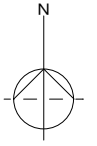
冷媒用断熱被覆銅管サイズ表

記号	液管	ガス管
(A)	9.5φ	22.2φ



空調設備 1階配管平面図 S=1/100

- <注記>
- 1) 特記無き配管はすべて天井配管とする
 - 2) ●印は防火区画貫通部を示し冷媒管は国土交通大臣認定工法とする
 - 3) 室内機・室外機の渡り配線は冷媒管共巻きとする
 - 4) 区画貫通部は不燃材料で埋めること
 - 5) 冷媒管の防火区画貫通部には450φの点検口を設ける



備考

春日部市学校教育課
教育施設課

工事名称 中学校等避難所空調設備設置工事 (大沼中学校)
図面名称 空調設備 配管立面図

縮尺 A1:1/100
A3:1/200

図面番号
M-06